

科目名	キャリア教育（１）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西本圭介
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで 主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワー ク力」を理解する。 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点口						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う・学校のルール	配布プリントを記入し次回提出
2		講義・演習	グループワーク:友達づくり	配布プリントを記入し次回提出
3		講義・演習	「主体性」:状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義・演習	「計画力」:起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
5		講義・演習	力を学ぶ スペシャリストになるために	配布プリントを記入し次回提出
6		講義・演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義・演習	プロとしての言葉遣いやマナーを学ぶ メールマナー・電話マナー	配布プリントを記入し次回提出
8		講義・演習	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義・演習	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
10		講義・演習	「計画力」:計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		講義・演習	「実行力」:目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義・演習	「課題発見力」:今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義・演習	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
15		講義・演習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育（2）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西本圭介
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 1年次後期では滋慶学園グループが必修で行っている「コミュニケーションスキルアップ検定」の問題内容を基に人間教育を行う。 また、キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。 「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。 コミュニケーションスキルアップ検定の合格。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点口						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える	配布プリントを記入し次回提出
2		講義・演習	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた校内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		講義・演習	「働きかけ力」:自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4		講義・演習	「創造力」:新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5		講義・演習	グループワーク:業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する/履歴書	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6		講義・演習	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた校内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7		講義・演習	自己理解 自己PR/プロフィールシート作成 <自己PR・趣味特技> <専門分野・関心事>	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8		講義・演習	社会人準備 ① マネー教育(収入と支出のバランスを学ぶ)	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9		講義・演習	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α 」を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
10		講義・演習	社会人準備 ③ 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α 」を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		講義・演習	社会人準備 ④ 社会保険や税の仕組みなどを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義・演習	社会人準備 ⑤ 社会人の基礎を身につける	配布プリントを記入し次回提出
13		講義・演習	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14		講義・演習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	キャリア教育（3）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	西本圭介
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会（クラス）」のなかの役割のなかで主体的に行 動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チーム ワーク力」を理解する。 「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点口						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義・演習	「主体性」: 状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		講義・演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義・演習	「傾聴力」: 人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義・演習	「発信力」: 伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		講義・演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義・演習	プロとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義・演習	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義・演習	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義・演習	「計画力」: 計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		講義・演習	「実行力」: 目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義・演習	「課題発見力」: 今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義・演習	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
15		講義・演習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育（４）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	西本圭介
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会（クラス）」のなかの役割のなかで主体的に行動 できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワー ク力」を理解する。 「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点口						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	合同企業説明会を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出
2		講義・演習	「チームワーク力」:現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
3		講義・演習	「働きかけ力」:自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4		講義・演習	「創造力」:新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5		講義・演習	ジョブカードを用い、職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6		講義・演習	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7		講義・演習	【履歴書の書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8		講義・演習	【履歴書の書き方】ジョブカード作成内、自分の長所・短所が伝えられるようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9		講義・演習	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
10		講義・演習	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
11		講義・演習	SMBCファイナンスの方をお招きし、マネー講座を開催、社会人になった時に掛かるお金について学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義・演習	社会に出る際のビジネスマナー・身なり・挨拶の大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義・演習	社会に出る際のビジネスマナー・メールのやり取り・座席位置	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14		講義・演習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
15		講義・演習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	キャリア教育（５）	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	西本圭介
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会（クラス）」のなかの役割のなかで 主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」 「チームワーク力」を理解する。 「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点□						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	新社会人の心得ワーク	新社会人の心得を使用し復習を行う。
2		講義・演習	ハートビーイングワーク	七つの習慣の実践作業
3		講義・演習	10年後の目標の立て方	キューブについて研究しレポートをまとめる。
4		講義・演習	5年後の目標の立て方	新社会人の心得を使用し復習を行う。
5		講義・演習	3年後の目標の立て方	セルフプレゼンテーション自主確認。
6		講義・演習	自分の世界観をまとめていく方法	七つの習慣の実践作業
7		講義・演習	キューブを使つてのコミュニケーションワーク	キューブについて研究しレポートをまとめる。
8		講義・演習	アンケート形式、プレゼンテーション	セルフプレゼンテーション自主確認。
9		講義・演習	パズルワーク	七つの習慣の実践作業
10		講義・演習	自分の世界観をまとめていく方法	新社会人の心得を使用し復習を行う。
11		講義・演習	キューブを使つてのコミュニケーションワーク	新社会人の心得を使用し復習を行う。
12		講義・演習	アンケート形式、プレゼンテーション	セルフプレゼンテーション自主確認。
13		講義・演習	ハートビーイングワーク	セルフプレゼンテーション自主確認。
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	キャリア教育（6）	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	西本圭介
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会（クラス）」のなかの役割のなかで 主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」 「チームワーク力」を理解する。 「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点口						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	新社会人の心得ワーク	新社会人の心得を使用し復習を行う。
2		講義・演習	ハートビーイングワーク	七つの習慣の実践作業
3		講義・演習	10年後の目標の立て方	キューブについて研究しレポートをまとめる。
4		講義・演習	5年後の目標の立て方	新社会人の心得を使用し復習を行う。
5		講義・演習	3年後の目標の立て方	セルフプレゼンテーション自主確認。
6		講義・演習	自分の世界観をまとめていく方法	七つの習慣の実践作業
7		講義・演習	キューブを使つてのコミュニケーションワーク	キューブについて研究しレポートをまとめる。
8		講義・演習	アンケート形式、プレゼンテーション	セルフプレゼンテーション自主確認。
9		講義・演習	パズルワーク	七つの習慣の実践作業
10		講義・演習	自分の世界観をまとめていく方法	新社会人の心得を使用し復習を行う。
11		講義・演習	キューブを使つてのコミュニケーションワーク	新社会人の心得を使用し復習を行う。
12		講義・演習	アンケート形式、プレゼンテーション	セルフプレゼンテーション自主確認。
13		講義・演習	ハートビーイングワーク	セルフプレゼンテーション自主確認。
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	キャリア教育（7）	必修 選択	必修	年次	4	担当教員	西本圭介
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会（クラス）」のなかの役割のなかで 主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」 「チームワーク力」を理解する。 「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点□						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	新社会人の心得ワーク	新社会人の心得を使用し復習を行う。
2		講義・演習	ハートビーイングワーク	七つの習慣の実践作業
3		講義・演習	10年後の目標の立て方	キューブについて研究しレポートをまとめる。
4		講義・演習	5年後の目標の立て方	新社会人の心得を使用し復習を行う。
5		講義・演習	3年後の目標の立て方	セルフプレゼンテーション自主確認。
6		講義・演習	自分の世界観をまとめていく方法	七つの習慣の実践作業
7		講義・演習	キューブを使つてのコミュニケーションワーク	キューブについて研究しレポートをまとめる。
8		講義・演習	アンケート形式、プレゼンテーション	セルフプレゼンテーション自主確認。
9		講義・演習	パズルワーク	七つの習慣の実践作業
10		講義・演習	自分の世界観をまとめていく方法	新社会人の心得を使用し復習を行う。
11		講義・演習	キューブを使つてのコミュニケーションワーク	新社会人の心得を使用し復習を行う。
12		講義・演習	アンケート形式、プレゼンテーション	セルフプレゼンテーション自主確認。
13		講義・演習	ハートビーイングワーク	セルフプレゼンテーション自主確認。
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	キャリア教育（８）	必修 選択	必修	年次	4	担当教員	西本圭介
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会（クラス）」のなかの役割のなかで 主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」 「チームワーク力」を理解する。 「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点□						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	新社会人の心得ワーク	新社会人の心得を使用し復習を行う。
2		講義・演習	ハートビーイングワーク	七つの習慣の実践作業
3		講義・演習	10年後の目標の立て方	キューブについて研究しレポートをまとめる。
4		講義・演習	5年後の目標の立て方	新社会人の心得を使用し復習を行う。
5		講義・演習	3年後の目標の立て方	セルフプレゼンテーション自主確認。
6		講義・演習	自分の世界観をまとめていく方法	七つの習慣の実践作業
7		講義・演習	キューブを使つてのコミュニケーションワーク	キューブについて研究しレポートをまとめる。
8		講義・演習	アンケート形式、プレゼンテーション	セルフプレゼンテーション自主確認。
9		講義・演習	パズルワーク	七つの習慣の実践作業
10		講義・演習	自分の世界観をまとめていく方法	新社会人の心得を使用し復習を行う。
11		講義・演習	キューブを使つてのコミュニケーションワーク	新社会人の心得を使用し復習を行う。
12		講義・演習	アンケート形式、プレゼンテーション	セルフプレゼンテーション自主確認。
13		講義・演習	ハートビーイングワーク	セルフプレゼンテーション自主確認。
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	Digital Foundation(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	増田祐生
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得し、 講義では、デザイン技術を、演習を中心に、使用頻度の高いアプリケーションを用いてスキル習得していく。						
到達目標	Macを自由に扱えるようになる。履修者全員がデジタルポートフォリオを所持できるようになる。 Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。(レタッチ中心) Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。(ベジェ曲線操作、デザイン中心) STUDIOを利用した自身のデジタルポートフォリオ(web)の運営ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Keynote基本操作理解。文字入力、サイズ、アニメーション。Keynote(自己紹介PPT)を使用して資料を作成しプレゼンする	【事前動画説明】macの基本操作方法 Keynoteの機能説明と基本操作方法	
2		講義・演習	ワードエクセル基本操作理解。ワード(ビジネス文章)/エクセル(タイムテーブル)提出 優秀資料のプレゼン発表する	【事前動画説明】Word(文書作成)、Excel(表の作成、表計算)の操作方法	
3		講義・演習	PhotoshopとIllustratorの違いを文字入力で理解。基本操作(ワークスペース、ツールバー、パレット、画面拡張、新規作成、保存)【Ai】図形	【事前動画説明】PhotoshopとIllustratorのワークスペース、ツールバー、パレットなど基本操作方法	
4		講義・演習	【Ai】基本操作 選択、図形、バウンディングボックス、カラー、変形、重ね順、図形応用、ダイレクト選択ツール、スタイライズ、パスファインダ、整列、テキスト入力、グループ化、ベジェ曲線、スウォッチ、模様、グラデーション	【事前動画説明】Aiを使用して作れるものの紹介、操作方法	
5		講義・演習	【Ps】レタッチと保存方法。画像変形、写真補正、カラーモード、解像度、フォーマット	【事前動画説明】Psを使用して作れるものの紹介、操作方法	
6		講義・演習	【Ai】配置画像を用いたフライヤーデザイン、クリッピングマスク、目を引くデザインとは何か。(コンセプト～ラフ作成・色理解～提案～レイアウトデザイン～ブラッシュアップ)	【事前動画説明】センスを身につけるために見てほしいものの解説。イベントフライヤーやアーティストサイトのデザイン紹介と解説。好きなデザイン画像やURL、フライヤーや雑誌、グッズなどを収集する。	
7		講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたフライヤー作成。イベントのロゴマーク	【事前動画説明】ロゴ制作の操作方法 演習: イベントロゴ案を授業前に数種類考えておく。	
8		講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたフライヤー作成(レイアウトデザイン～ブラッシュアップ) よいデザイン、正確なデータ作成とは何かを考えて仕上げる	【事前動画説明】入稿方法。作成したフライヤーデータを印刷会社に入稿できるデータに整える。画像形式、データ名、トリムマーク、PDF	
9		講義・演習	【Ps】【Ai】オリジナルのLINEスタンプ作成、Psでの描画表現、Aiのブラシツール、アートボード、保存形式を指定して書き出し	【事前動画説明】LINEスタンプの登録方法。事前にLINEスタンプをLINEクリエイターズマーケットへ登録する。	
10		講義・演習	【STUDIO】自身のポートフォリオサイト作成の基礎。SNSアイコン等に使用できるデータ作成。リサイズ、フォーマット、商用利用可能素材。	【事前動画説明】素材の著作権について。いらすとやの素材など、商用に利用できるものの検索方法とDL方法	
11		講義・演習	【STUDIO】自身のポートフォリオサイトを作成、STUDIO基本操作習得。TOP画像と初回授業で作成した自己紹介Keynoteの更新、素材を集める。	【事前動画説明】ポートフォリオサイトの紹介。どういう点がポイントになるのか、どのような機能が使用されているかを解説、操作方法。	
12		講義・演習	【STUDIO】サイトの構成を考え、用意した素材を利用して作成し、完成させる。	【事前動画説明】ポートフォリオの中に入れる写真や動画の選定、レタッチ、保存形式指定など下準備を整える。	
13		講義・演習	ポートフォリオサイトの提出 到達度テスト	【事前動画説明】前期で習得してきたスキルを一通り復習する。 【事後動画説明】テスト正解解説	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			定期的にメディアやサイト、店舗で雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みをよく考える		
【使用教科書・教材・参考書】					
Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション					

科目名	Digital Foundation(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	増田祐生
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	写真やビデオ等の映像機器及び映像編集ソフトを用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。						
到達目標	履修者全員が動画制作をできるようになる。 Adobe AfterEffectsの基本操作ができるようになる。(アニメーション作成・エフェクト適用・実写合成中心) Adobe Premiereの基本操作ができるようになる。(カット編集中心) Youtubeに動画投稿し、自身が制作した動画を他社に共有できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	【Ae】AfterEffectsの基本操作理解。 新規プロジェクト作成、コンポジション作成、平面作成、テキスト入力、図形作成、素材読み込み。最終課題説明。	【事前動画説明】AEを使用して作れるものの紹介、基本操作方法
2		講義・演習	【Ae】キーフレームアニメーションの理解。 基本的なパラメータを使用したキーフレームアニメーションの作成、動画書き出し方法を学ぶ。	【事前動画説明】AEの基本的なパラメータ操作方法、キーフレーム設定方法、動画の書き出し方法
3		講義・演習	【Ae】トランジションの作成。 キーフレームアニメーションを用いてトランジション映像を作成し、発表をする。	【事前動画説明】トランジションの作成チュートリアル
4		講義・演習	【Ae】テキストアニメーションを理解し、リリックビデオ制作に役立つ機能を取得する。	【事前動画説明】リリックビデオの紹介、エフェクトやテキストアニメーションプリセットの操作方法
5		講義・演習	【Ae】テキストアニメーションを理解し、リリックビデオ制作に役立つ機能を取得する。 エフェクトやテキストアニメーションプリセットを利用し、短いリリックビデオを作成・発表する。	【事前動画説明】エフェクトやテキストアニメーションプリセットの操作方法の続き
6		講義・演習	【Ae】エフェクトを理解し、ダンスビデオ制作に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材にエフェクトを適用し、エフェクトの機能を学ぶ。	【事前動画説明】エフェクトを利用した動画の紹介、エフェクトの操作方法
7		講義・演習	【Ae】エフェクトを理解し、ダンスビデオ制作に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材にエフェクトを適用し、動画を作成、発表する。	【事前動画説明】エフェクトの操作方法の続き
8		講義・演習	【Ae】自動トラッキング機能について理解し、実写合成に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材と入力したテキストを合成する。	【事前動画説明】自動トラッキングのチュートリアル
9		講義・演習	【Pr】Premiereの基本操作理解。 新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、字幕入力、色調補正、動画書き出し。Youtubeに動画を投稿しURLを共有する。	【事前動画説明】Premiereを使用して作れるものの紹介、基本操作方法。Youtubeへの動画投稿方法。
10		講義・演習	最終課題選定。リリックビデオ・ダンスビデオ、実写合成から最終課題のジャンルを選択し、映像の構成を考える。 アイデア出し～絵コンテ制作について理解し、完成させる。	【事前動画説明】最終課題の各ジャンルの参考映像を紹介。 アイデア出しの方法、絵コンテの書き方を解説。
11		講義・演習	個人制作	個人制作
12		講義・演習	個人制作	個人制作
13		講義・演習	個人制作と最終課題の提出(Youtubeに投稿しリンクを提出する) 到達度テスト	【事前動画説明】後期で習得してきたスキルを一通り復習する。 【事後動画説明】テスト正解解説
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			定期的にメディアやサイト、店舗で雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みをよく考える	
【使用教科書・教材・参考書】				
Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション				

科目名	Basic Keyboard (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	熊谷 穰
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	キーボードによる基礎的な奏法の習得、バックイング能力の向上を目指す。受講者のこれまでの楽器経験やその習熟度は様々であるため、POPSの範疇における音楽理論やコードの知識において学生それぞれの目的に合わせたアドバイスを行う。						
到達目標	マスターリズム譜を読み、各々でキーボード・バックイングや簡単な楽曲アレンジができるようになる。						
評価方法と基準	平時の出席、取り組み、課題提出の状況と内容による						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	単音と和音 五線譜 コードとコード進行 ボイシング展開の基礎	それぞれの用語について知る□
2		講義・演習	練習課題曲1、構成音とその関係性	課題曲を通し、基礎的なコードについて知る□
3		講義・演習	バックイングパターン1、構成音とボイシング展 開	コードの展開系を習得する 基本形と垣根の ないものとして理解することが理想□
4		講義・演習	バックイングパターン1、メジャーコードとマイ ナーコード	バックイングパターンの練習に加え、メジャーコードとマイ ナーコードの、鍵盤上での違いを知る
5		講義・演習	バックイングパターン1、様々なコード進行	バックイングパターンの練習を、様々なコード進行を用いて 行う。習熟度に差があるため、初心者へのフォローを重点 的に行う
6		講義・演習	バックイングパターン2□	様々な楽曲で用いられるバックイングパターンの一例を知 る。前回までと比べ、右手、左手のコンビネーションが多 様化する
7		講義・演習	中間発表	ここまでの成果を実際に発表して今後に活か す
8		講義・演習	バックイングパターン2、四和音について知る□	バックイングパターンの練習に加え、 四和音の構成音と鍵盤での弾き方を知る□
9		講義・演習	バックイングパターン2、パラディドルリズム□	課題で用いられている多様なリズムを、 譜面を用いて理論的かつ体感的に習得する□
10		講義・演習	バックイングパターン2、様々なコード進行□	バックイングパターンの練習を、四和音を含んだ様々な コード進行を用いて行う 習熟度に差があるため、初心者 へのフォローを重点的に行う
11		講義・演習	練習課題曲2□	マスターリズム譜の読み方を知る。課題曲の コード分析に取り掛かる
12		講義・演習	練習課題曲2□	ここまで学んだパターンを用いて練習する□
13		講義・演習	中間発表	ここまでの成果を実際に発表して今後に活か す
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業と練習の中で疑問点や、自身で苦手とする点を洗い出す	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキストのオンライン受け取りができるデバイス(PC、iPadなど)				

科目名	Basic Keyboard (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	熊谷 穰
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	キーボードによる基礎的な奏法の習得、バックイング能力の向上を目指す。受講者のこれまでの楽器経験やその習熟度は様々であるため、POPSの範疇における音楽理論やコードの知識において学生それぞれの目的に合わせたアドバイスを行う。						
到達目標	マスターリズム譜を読み、各々でキーボード・バックイングや簡単な楽曲アレンジができるようになる。						
評価方法と基準	平時の出席、取り組み、課題提出の状況と内容による						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	練習課題曲1、オンコード□	オンコードについて理解し、演奏できるようになる□
2		講義・演習	練習課題曲1、特殊なコード□	特殊なコード(dim,aug,sus4など)を理解する□
3		講義・演習	練習課題曲1、イントロ、リフを演奏する□	コードバックングに加え、楽曲中で必要なフレーズを演奏する□
4		講義・演習	練習課題曲2、打鍵について□	弾き語りすることを見据え、打鍵の強さによって変化する音を感じとる□
5		講義・演習	練習課題曲2、演奏フォームについて□	肌力や姿勢、椅子への座り方を意識し、演奏フォームの見直しを簡単な実験を通じて行う
6		講義・演習	練習課題曲3□	譜読みを行う名曲のコード進行を学ぶ□
7		講義・演習	中間発表	ここまでの成果を実際に発表して今後に活かす
8		講義・演習	練習課題曲3、ボイスिंगでの表現□	ボイスिंगの変化によって変わるバックキングの響きを感じとる□
9		講義・演習	練習課題曲4、ディグリーコードを用いた移調□	自身で弾き語りすることを見据え、マスターリズム譜から移調する方法を知る□
10		講義・演習	練習課題曲4、コードアレンジの方法□	循環コードを用いた課題曲を題材に簡単なコードアレンジの方法を学ぶ
11		講義・演習	練習課題曲4、セカンダリードミナント□	セカンダリードミナントや代理コードを耳で聞いて違いがわかるようになる□
12		講義・演習	マスターリズム譜の作り方	既得の歌詞にコード性やリズム面からマスターリズム譜面を作成する方法を学ぶ。直接的にキーボードとの関連はないが
13		講義・演習	試験と復習□	学んだスキルを生かして実演する今後に向けた課題を洗い出す□
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業と練習の中で疑問点や、自身で苦手とする点を洗い出す	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキストのオンライン受け取りができるデバイス(PC、iPadなど)				

科目名	Private Lesson(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山内 薫
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	プライベートレッスンでは、基礎的な運指やリズムトレーニング、スケール練習、音楽理論の応用、グルーヴ強化、楽曲分析、即興演奏、機材の使い方、表現力向上などを学び、個々のレベルや目標に合わせた指導を行います。						
到達目標	学生の目標に応じた指導を行い、求めるレベルへの到達をサポートします。						
評価方法と基準	評価は、技術の向上度、リズムや表現力の安定性、課題への取り組み姿勢、楽曲理解度、即興演奏の適応力などを基準とし、学生の目標達成度や成長過程を総合的に判断して行われます。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	初回は各自のフォームチェックと今後のポイントを話し合う。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
2		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
3		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
4		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
5		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
6		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
7		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
8		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
9		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
10		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
11		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
12		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
13		講義・演習	最終日はこれまでの学習成果を確認し、今後の課題や目標を明確にし、学生が自立して学習を続けられるようサポートします。	自身の成長を振り返り、習得した技術や課題を整理し、最終日に演奏する楽曲やフレーズを準備する。レッスンのフィードバックをもとに、今後の練習計画を立て、継続的なスキル向上を目指す。	
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Private Lesson(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山内 薫
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	プライベートレッスンでは、基礎的な運指やリズムトレーニング、スケール練習、音楽理論の応用、グルーヴ強化、楽曲分析、即興演奏、機材の使い方、表現力向上などを学び、個々のレベルや目標に合わせた指導を行います。						
到達目標	学生の目標に応じた指導を行い、求めるレベルへの到達をサポートします。						
評価方法と基準	評価は、技術の向上度、リズムや表現力の安定性、課題への取り組み姿勢、楽曲理解度、即興演奏の適応力などを基準とし、学生の目標達成度や成長過程を総合的に判断して行われます。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	初回は各自のフォームチェックと今後のポイントを話し合う。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
2		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
3		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
4		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
5		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
6		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
7		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
8		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
9		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
10		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
11		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
12		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。	
13		講義・演習	最終日はこれまでの学習成果を確認し、今後の課題や目標を明確にし、学生が自立して学習を続けられるようサポートします。	自身の成長を振り返り、習得した技術や課題を整理し、最終日に演奏する楽曲やフレーズを準備する。レッスンのフィードバックをもとに、今後の練習計画を立て、継続的なスキル向上を目指す。	
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンを確認します。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Chart writing arrangement(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宇津本直 紀
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。 本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフを理解し説明できる。音名を理解し言える。	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習しレポート作成五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習復習しレポート作成
2		講義・演習	音名、音符、休符を理解し言える。音符、休符を理解し説明できる。	音名、音符、休符の表し方と連符を復習しレポート作成、音符、休符の表し方と連符を復習しレポート作成
3		講義・演習	拍子、複合拍子を理解し説明できる。記譜法、臨時記号を理解し説明できる。	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習しレポート作成
4		講義・演習	反復記号を理解し説明できる。音程を理解し説明できる。	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるよう復習しレポート作成、反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるよう復習しレポート作成
5		講義・演習	音程を理解し説明できる。音程を理解し説明できる。	音程(度数の数え方、全音と半音)を復習しレポート作成、音程(2.3.6.7度、＃ ♭あり)を復習しレポート作成
6		講義・演習	メジャースケールを理解し説明できる。	メジャースケールの仕組みを復習し、復習しレポート作成、5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で復習しレポート作成
7		講義・演習	マイナースケールを理解し説明できる。	調号を用いてナチュラルマイナースケールを復習しレポート作成、ハーモニックマイナー、メロディックマイナースケールを復習しレポート作成
8		講義・演習	スコアリーディングを理解し説明できる。中間テスト	総復習をし、理解度を高めレポート作成
9		講義・演習	奏法を理解しその説明ができる。近親調を理解しその説明ができる	省略記号、奏法記号、装飾記号を復習しレポート作成、それぞれの調の関係性を理解し復習しレポート作成
10		講義・演習	移調を理解しその説明ができる、トライアドを理解しその説明ができる	五線を用いて移調を理解し復習しレポート作成、コードの概念とトライアドの構造をを理解し復習しレポート作成
11		講義・演習	7thコードを理解しその説明ができる、7thコードの復習とdim7を理解しその説明ができる	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようにしを理解し復習しレポート作成、トライアド、7thコード、dimコードの構造をを理解し復習しレポート作成
12		講義・演習	転回形を理解しその説明ができる、その他のコードを理解しその説明ができる	転回形の表記方法を復習し、G-clefでの簡単なヴォイスिंगが出来るように理解し復習、add9、sus4、6thコードを復習し実際に弾いてを理解し復習しレポート作成
13		講義・演習	テンションを理解しその説明ができる	9th、11th、13thのテンションコードをを理解し復習しレポート9th、11th、13thのテンションコードをを理解し復習しレポート作成
14		講義・演習	スコアリーディングを理解しその説明ができる、まとめ、期末予備テスト	総復習をし、を理解し復習しレポート作成、復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15		講義・演習	期末テスト、総復習	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	Chart writing arrangement(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宇津本直紀
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。 本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習を理解し説明できる。メジャーダイアトニックコードを理解し説明できる。	MT I & II の内容を復習し、理解度を高めダイアトニックコードのコードネーム、ディグリーネームを復習し、理解度を高めレポート作成	
2		講義・演習	メジャーダイアトニックコードの機能を理解し説明できる。ドミナントモーションを理解し説明できる。	各機能の意味を理解し、主要和音(スリーコード)と代理和音を復習理解度を高めドミナントモーションを復習し、響きを聴いて理解度を高めレポート作成	
3		講義・演習	マイナーダイアトニックコードを理解し説明できる。	ダイアトニックコードの仕組みを五線譜に書けるよう理解度を高めマイナーダイアトニックコードの仕組みを五線譜に書けるよう理解度を高める	
4		講義・演習	マイナーダイアトニックコードの機能を理解し説明できる。	マイナーコードが持つ機能を理解し復習レポート作成、前回までの理解し復習レポート作成	
5		講義・演習	ケーデンスを理解し説明できる。	終止形、ドミナントモーション、トゥーフアイブ、偽終止についてを理解し復習セカンダリードミナントについてを理解し復習レポート作成	
6		講義・演習	代理コード(裏コード)を理解し説明できる。定番コードパターンを理解し説明できる。	V7の代理コードを理解し、V7と代理コードを弾き比べてを理解し復習コードパターンを使って曲を作ってを理解し復習レポート作成	
7		講義・演習	クリシェを理解し説明できる。パッシングコードを理解し説明できる。	クリシェの手法を使ってアレンジしてを理解し復習レポート作成、パッシングの手法を使ってアレンジしてを理解し復習レポート作成	
8		講義・演習	代理コード(裏コードを含むダイアトニック外の代理コード)を理解し説明できる。借用和音を理解し説明できる。	メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードとダイアトニック外の代理コードを使ってを理解し復習レポート作成	
9		講義・演習	転調を理解し説明できる。アナライズを理解し説明できる。	転調のパターンを知り、実践を理解し復習楽譜と音源から楽曲分析を理解し復習レポート作成	
10		講義・演習	ヴォイスングを理解し説明できる。アペイラブルノートスケール(メジャー)を理解し説明できる。	ケーデンスを実際に5線に書けるようにするを理解し復習コードスケールを使ってフレーズを作ってを理解し復習レポート作成	
11		講義・演習	アペイラブルノートスケール(マイナー)を理解し説明できる。ドミナントスケールを理解し説明できる。	コードスケールを使ってフレーズを作ってを理解し復習V7に適したスケールを使ってフレーズを作ってを理解し復習レポート作成	
12		講義・演習	コードに適したスケールを理解し説明できる。その他のスケールを理解し説明できる。	それぞれのコードに適したスケールを使ってフレーズを作って理解し復習前回までに学んだスケール以外のスケールを使ってアレンジし理解し復習レポート作成	
13		講義・演習	スコアリーディングを理解し説明できる。	復習をしを理解し復習今までの内容を復習し理解度を高める 期末テストを理解し復習レポート作成	
14		講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策をし期末テストを振り返る。	
15		講義・演習	テスト返却と総復習	実際に楽譜を読み、自分なりに分析し、表現に繋げる応用力を身に付けレポート作成する。	
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		
【使用教科書・教材・参考書】					
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業					
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷					

科目名	Theory and notation (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大貫和紀
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	楽譜制作ソフトの定番であるSibeliusの使い方をマスターするとともに、アレンジを構築する際にDAWで音を探しながら行う方法から脱却し頭の中のイメージから構築する方法を習得する						
到達目標	Sibeliusの使い方を理解し入力ができるようにする。管楽器の特性を理解して2管のアレンジができるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	リードシートの作成方法について	リードシートの作成方法について 振り返りと自習。
2		講義・演習	リードシートの作成の演習	リードシートの作成の演習 振り返りと自習。
3		講義・演習	リードシート+ピアノ伴奏譜の作成について	リードシート+ピアノ伴奏譜の作成について 振り返りと自習。
4		講義・演習	リードシート+ピアノ伴奏譜の作成の演習	リードシート+ピアノ伴奏譜の作成の演習 振り返りと自習。
5		講義・演習	リズム譜の作成	リズム譜の作成 振り返りと自習。
6		講義・演習	リードシート+ピアノ+リズム譜を作成	リードシート+ピアノ+リズム譜を作成 振り返りと自習。
7		講義・演習	ギター譜を作成について	ギター譜を作成について 振り返りと自習。
8		講義・演習	ギター譜を作成の演習	ギター譜を作成の演習 振り返りと自習。
9		講義・演習	イントロを作成について	イントロを作成について 振り返りと自習。
10		講義・演習	アウトロを作成について	アウトロを作成について 振り返りと自習。
11		講義・演習	管楽器のレンジとトランスポーズ	管楽器のレンジとトランスポーズ 振り返りと自習。
12		講義・演習	ユニゾンとガイドトーンのアレンジ	ユニゾンとガイドトーンのアレンジ 振り返りと自習。
13		講義・演習	前期のアレンジ課題の提出	レポート提出
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Theory and notation (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大貫和紀
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	楽譜制作ソフトの定番であるSibeliusの使い方をマスターするとともに、アレンジを構築する際にDAWで音を探しながら行う方法から脱却し頭の中のイメージから構築する方法を習得する						
到達目標	Sibeliusの使い方を理解し、管楽器の特性を理解して5管+ストリングスのアレンジができるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	インストゥルメンテーションを理解する。	インストゥルメンテーションを理解する。 振り返りと自習。
2		講義・演習	管弦楽器によるSolo Unisonのアレンジ	管弦楽器によるSolo Unisonのアレンジ 振り返りと自習。
3		講義・演習	2part Soliの構築が出来る様になる。	2part Soliの構築が出来る様になる。 振り返りと自習。
4		講義・演習	4way close Drop2 Drop3 Drop2+4のVoicing の構築	4way close Drop2 Drop3 Drop2+4のVoicing の構築 振り返りと自習。
5		講義・演習	4part Soliの構築が出来る様になる。	4part Soliの構築が出来る様になる。 振り返りと自習。
6		講義・演習	3part Soliの構築が出来る様になる。	3part Soliの構築が出来る様になる。 振り返りと自習。
7		講義・演習	5part Soliの構築が出来る様になる。	5part Soliの構築が出来る様になる。 振り返りと自習。
8		講義・演習	Spread voicingとアプローチノート	Spread voicingとアプローチノート 振り返りと自習。
9		講義・演習	Guide Tone backing	Guide Tone backing 振り返りと自習。
10		講義・演習	Inner voicing embellishment	Inner voicing embellishment 振り返りと自習。
11		講義・演習	5管と弦を含むアレンジ1	5管と弦を含むアレンジ1 振り返りと自習。
12		講義・演習	5管と弦を含むアレンジ2	5管と弦を含むアレンジ2 振り返りと自習。
13		講義・演習	後期アレンジ課題提出	レポート提出
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Self accompaniment(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	日高優貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	アコースティックギターを使用して自己表現を試みるシンガーソングライターをサポート 授業進行状況により作詞作曲のディレクション						
到達目標	自信を持って自作曲を表現できるようにする						
評価方法と基準	弾き語りに必要とされるアコースティックギターの演奏技術 平常点(受講姿勢、復習状況、出席率)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	講義1年間の説明。生徒のプレイアビリティ診断。	資料をもとに予習・復習・練習を要する
2		講義・演習	アコースティックギターに必要な道具の紹介、説明	資料をもとに予習・復習・練習を要する
3		講義・演習	作成した資料を用いてローポジションでのコード紹介	資料をもとに予習・復習・練習を要する
4		講義・演習	3コード紹介	資料をもとに予習・復習・練習を要する
5		講義・演習	ダイアトニックコード紹介、説明	資料をもとに予習・復習・練習を要する
6		講義・演習	ストローク紹介、説明	資料をもとに予習・復習・練習を要する
7		講義・演習	カポタスト使用方法や目的を説明	資料をもとに予習・復習・練習を要する
8		講義・演習	アルペジオ奏法を紹介、説明	資料をもとに予習・復習・練習を要する
9		講義・演習	指弾きについて1	資料をもとに予習・復習・練習を要する
10		講義・演習	指弾きについて2	資料をもとに予習・復習・練習を要する
11		講義・演習	選択した楽曲演奏1	資料をもとに予習・復習・練習を要する
12		講義・演習	選択した楽曲演奏2	資料をもとに予習・復習・練習を要する
13		講義・演習	選択した楽曲演奏3	資料をもとに予習・復習・練習を要する
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
teamsにて共有				

科目名	Self accompaniment(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	日高優貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	アコースティックギターを使用して自己表現を試みるシンガーソングライターをサポート 授業進行状況により作詞作曲のディレクション						
到達目標	自信を持って自作曲を表現できるようにする						
評価方法と基準	弾き語りに必要とされるアコースティックギターの演奏技術 平常点(受講姿勢、復習状況、出席率)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ネットアーティスト ゼミ A (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	蒔万澤倫子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	VTuberやVsingerとして配信活動を行うにあたっての実践的な内容と戦い方、心構えなどを学んでもらいます。伝達方法の違いはあれど、発信者として必要不可欠となってくる、機材、ソフトウェアの知識とリスナーの付け方と接し方、そして、メンタルの強さを養うのが目的です。レッドオーシャンと化した配信界を舞台に、その中でも外でも折れない心を持ち1人歩いていく力を身につけていきます。						
到達目標	継続する力、諦めない心を身につける。配信の基礎的知識を身につける。自身の向き不向きを知り、それに合わせた戦い方が出来るようになる。						
評価方法と基準	小テスト 50% レポート50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介 オリエンテーション	匿名アーティストとしての「名前」「キャラ設定」「自己紹介文」を作成し提出(200～300字)
2		講義・演習	配信の基本の基本	好きなVTuberまたは配信者1人を選び、活動スタイルや工夫をまとめたレポート(A4 1枚)提出
3		講義・演習	VTuberの基礎知識	自分のVTuber像(性格・設定・声質など)を整理した「キャラクター設計シート」を作成
4		講義・演習	VTubeスタジオ実習①	VTube Studioでの立ち上げ／基本操作画面のスクショと操作感の感想を提出
5		講義・演習	VTubeスタジオ実習②	表情／動きのバリエーションを研究し、「配信で使いたい動きTOP3」を動画 or シートでまとめて提出
6		講義・演習	LIVE2Dの基礎知識	LIVE2Dの構造や使われ方について調べ、「自分の理想キャラの表情・動き案」提出(ラフ画OK)
7		講義・演習	配信準備① プラットフォームと立ち絵	配信する予定プラットフォームの比較表を作成(2～3種類)＋使いたい理由を書く
8		講義・演習	配信準備② デビューまでにやると良いこと	「VTuberデビュー準備チェックリスト(15項目)」を作成し提出
9		講義・演習	配信準備③ 機材・PCについて	自分が使う(または理想の)配信機材・PC環境のスペック表を作成
10		講義・演習	配信技術① 話題 雑談 話し方	雑談配信の台本(3分想定)を作成し、音声収録して提出(mp3形式など)
11		講義・演習	配信技術②ゲーム配信 歌枠 企画枠	「やってみたい配信枠」の企画シート(内容・時間・準備・サムネ案)を作成
12		講義・演習	配信技術③リスナーさんとの関わり方	コメント返しの練習として「リスナーの想定コメント」に対して返答文を10パターン作成
13		講義・演習	配信技術④収益化 職業ライバー	「収益化までのステップ表」を作成し、月1～3年の目標を数字で記入したプラン表を提出
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ネットアーティスト ゼミ A (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	蒔万澤倫子
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	VTuberやVsingerとして配信活動を行うにあたっての実践的な内容と戦い方、心構えなどを学んでもらいます。伝達方法の違いはあれど、発信者として必要不可欠となってくる、機材、ソフトウェアの知識とリスナーの付け方と接し方、そして、メンタルの強さを養うのが目的です。レッドオーシャンと化した配信界を舞台に、その中でも外でも折れない心を持ち1人歩いていく力を身につけていきます。						
到達目標	継続する力、諦めない心を身につける。配信の基礎的知識を身につける。自身の向き不向きを知り、それに合わせた戦い方が出来るようになる。						
評価方法と基準	小テスト 50% レポート50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り・後期の内容オリエンテーション	前期で制作した要素を振り返り、「今後の目標3つ」と「強化したいこと1つ」を記入して提出
2		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio使い方 仕組み	自宅または学校PCでOBSを立ち上げ、スクリーンショット付きの「操作レポート」を作成(基本設定・映像・音声)
3		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio 応用 プラグイン	実際に入れてみたいプラグイン1つを選び、使い方・用途をA4 1枚にまとめる(日本語可)
4		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio 配信画面の作り方	自分の配信用シーン構成を考え、シーン図(またはスライド)を提出(シーン名・用途・素材構成など)
5		講義・演習	配信者兼クリエイターのすすめ①	「歌・絵・動画・文章など、自分ができるorやってみたい表現」について1つ選び、具体例と実施方法をまとめる
6		講義・演習	配信者兼クリエイターのすすめ②	週1〜2で続けられそうな配信や投稿プランを立て、「1ヶ月スケジュール表」を提出
7		講義・演習	外部依頼・クリエイターとの関わり方	「他者にイラストや楽曲を依頼するときの連絡文」をテンプレート形式で作成(依頼目的・報酬・締切など)
8		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism① 基礎	Cubismをインストール(または動画視聴)し、機能の感想や気づきを記入して提出
9		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism② 角度と動き	モデリング用の「正面→左右の顔向きラフ案」を紙またはデジタルで作成・提出(簡易でOK)
10		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism③顔のパーツ	顔パーツ(目・口・眉)の動き案(分割・動き方・イメージ)をスライドまたは図解で提出
11		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism④ 体のパーツ	上半身または腕の動き案と、どの動きにどの用途があるかをセットで資料にして提出
12		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism⑤ 物理演算と機能	「髪」「アクセサリ」など、物理演算で動かしたい部分の演出案をスライドで作成・提出
13		講義・演習	総まとめ これまでの学習を踏まえて	自分の「VTuber活動企画書」(A4スライド5〜10枚程度)を作成して最終発表(匿名・仮想キャラでもOK)
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Music Theory (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北澤由佳
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。 本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフを理解し説明できる。	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習しレポート作成
2		講義・演習	音名を理解し言える。	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習復習しレポート作成
3		講義・演習	音名、音符、休符を理解し言える。	音名、音符、休符の表し方と連符を復習しレポート作成
4		講義・演習	音符、休符を理解し説明できる。	音符、休符の表し方と連符を復習しレポート作成
5		講義・演習	拍子、複合拍子を理解し説明できる。	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習しレポート作成
6		講義・演習	記譜法、臨時記号を理解し説明できる。	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるよう復習しレポート作成
7		講義・演習	反復記号を理解し説明できる。	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるよう復習しレポート作成
8		講義・演習	音程を理解し説明できる。	音程（度数の数え方、全音と半音）を復習しレポート作成
9		講義・演習	音程を理解し説明できる。	音程（2.3.6.7度、＃♭あり）を復習しレポート作成
10		講義・演習	音程を理解し説明できる。	音程（1.4.5.8度、＃♭あり）を復習しレポート作成
11		講義・演習	メジャースケールを理解し説明できる。	メジャースケールの仕組みを復習し、復習しレポート作成
12		講義・演習	メジャースケールを理解し説明できる。	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で復習しレポート作成
13		講義・演習	マイナースケールを理解し説明できる。	調号を用いてナチュラルマイナースケールを復習しレポート作成
14		講義・演習	マイナースケールを理解し説明できる。	ハーモニックマイナー、メロディックマイナースケールを復習しレポート作成
15		講義・演習	期末テスト	テスト学習し、レポート作成
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Music Theory (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北澤由佳
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。 本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習を理解し説明できる。	MT I & II の内容を復習し、理解度を高めレポート作成
2		講義・演習	メジャーダイアトニックコードを理解し説明できる。	ダイアトニックコードのコードネーム、ディグリーネームを復習し、理解度を高めレポート作成
3		講義・演習	メジャーダイアトニックコードの機能を理解し説明できる。	各機能の意味を理解し、主要和音(スリーコード)と代理和音を復習理解度を高めレポート作成
4		講義・演習	ドミナントモーションを理解し説明できる。	ドミナントモーションを復習し、響きを聴いて理解度を高めレポート作成
5		講義・演習	マイナーダイアトニックコードを理解し説明できる。	ダイアトニックコードの仕組み(ナチュラルマイナー)を五線譜に書けるよう理解度を高めレポート作成
6		講義・演習	マイナーダイアトニックコードを理解し説明できる。	マイナーダイアトニックコードの仕組みを五線譜に書けるよう理解度を高めレポート作成
7		講義・演習	マイナーダイアトニックコードの機能を理解し説明できる。	マイナーコードが持つ機能を理解し復習レポート作成
8		講義・演習	マイナーダイアトニックコードの機能を理解し説明できる。	前回までのを理解し復習レポート作成
9		講義・演習	ケーデンスを理解し説明できる。	終止形、ドミナントモーション、トゥーフाइブ、偽終止についてを理解し復習レポート作成
10		講義・演習	ケーデンスを理解し説明できる。	セカンダリドミナントについてを理解し復習レポート作成
11		講義・演習	代理コード(裏コード)を理解し説明できる。	V7の代理コードを理解し、V7と代理コードを弾き比べてを理解し復習レポート作成
12		講義・演習	定番コードパターンを理解し説明できる。	コードパターンを使って曲を作ってを理解し復習レポート作成
13		講義・演習	クリシェを理解し説明できる。	クリシェの手法を使ってアレンジしてを理解し復習レポート作成
14		講義・演習	パッシングコードを理解し説明できる。	パッシングの手法を使ってアレンジしてを理解し復習レポート作成
15		講義・演習	期末テスト	これまでの確認
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ear Training (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北澤由佳
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	出席点100点満点と期末試験100点満点の合計を2分割し、60点以上を合格とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定を理解し説明できる	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるように理解しレポートにまとめる。
2		講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を歌い音程感を身に付けを理解し説明できる	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習し理解しレポートにまとめる。
3		講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定を理解し説明できる	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習し理解しレポートにまとめる。
4		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り を理解し説明できる	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習し理解しレポートにまとめる。
5		講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 を理解し説明できる	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習し理解しレポートにまとめる。
6		講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱を理解し説明できる	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習し理解しレポートにまとめる。
7		講義・演習	前回までの内容を復習すを理解し説明できる	今までの内容を復習し次の授業に備える
8		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱を理解し説明できる	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習し理解しレポートにまとめる。
9		講義・演習	8分休符（裏打ち）のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 を理解し説明できる	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習し理解しレポートにまとめる。
10		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 を理解し説明できる	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習し理解しレポートにまとめる。
11		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 を理解し説明できる	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習し理解しレポートにまとめる。
12		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major.minorのコード判定を理解し説明できる	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習し理解しレポートにまとめる。
13		講義・演習	中間予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習し理解しレポートにまとめる。
14		講義・演習	中間テスト	テスト準備対策をする
15		講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習し理解しレポートにまとめる。
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ear Training (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北澤由佳
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二						
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	出席点100点満点と期末試験100点満点の合計を2分割し、60点以上を合格とする。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り (GMajor、2声メロディーは三連符導入、2声ハーモニーは2度音程導入)を理解し説明ができる。	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
2		講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り (GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅣ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分けを理解し説明ができる。	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
3		講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り (GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅣ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分けを理解し説明ができる。	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
4		講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り (GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅥmを含む聴き分けを理解し説明ができる。	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
5		講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り (GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅥmを含む聴き分けを理解し説明ができる。	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
6		講義・演習	曲を題材にしたリズム打ち、リズム書き取り、メロディー書き取り メロディー書き取り(6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅥmを含む聴き分けを理解し説明ができる。	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
7		講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備え確認理解しレポート作成	
8		講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り (Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分けを理解し説明ができる。	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
9		講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り (Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
10		講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り (Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分けを理解し説明ができる。	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
11		講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り (Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
12		講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り (Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分けを理解し説明ができる。	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
13		講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習確認理解しレポート作成	
14		講義・演習	期末テスト	総復習を行い中間テストに備える確認理解しレポート作成	
15		講義・演習	テスト返却、総復習	聴こえる音やリズムを正しく楽譜に書き、コードの響きや種類を聴き分けられる	
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Music History (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西田 剛
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、アメリカの黒人音楽の重要な柱であるジャズについて概要(起源から発展)を学びます。 その歴史の中で、ニューオリンズジャズ、スイング、モダンジャズ、フュージョンなどに触れ、形式を理解するとともに、音楽的な視野を広めます。						
到達目標	ジャズの進化とともにアメリカの黒人音楽について深い理解を示すことができる。それは、楽曲を聴いた時の分析力となり、その曲の歴史的な位置づけ・意味合いがわかるようになる。 そして、自分の作品とジャズを深いレベルで結びつけることができるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 出席数40%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業の進め方、資料、音楽、DVD、実演の確認 アメリカの歴史・地理的な特徴を理解する	レベルチェック: 小テスト	アメリカの黒人音楽の進化において重要な都市はどこか?
2		講義・演習	19世紀のアメリカの音楽。	アメリカ音楽の父 スティーブンフォスター Stephen Fosterについて	
3		講義・演習	ジャズ、ラグタイム、ブルース、その他の音楽 や活動のルーツ。	ジャズ発祥の地であるニュー・オーリンズが、歴 史上どのような都市であったか?	ジャズが生まれた当時、どのような音楽が主 となる楽器は? 音楽的特徴は?
4		講義・演習	ニューオリンズジャズ	ルイ・アームストロング	
5		講義・演習	スウィングとビッグバンドジャズ。	カンザスシティ、フランク・シナトラ、チャーリー ジャクソンなどに広がったスウィングについて	スウィングの歴史と特徴
6		講義・演習	ここまでのポイント整理	モダンジャズの登場	モダンジャズの登場
7		講義・演習	ビバップ	第二次大戦後に生まれた新しいスタイルのジャズ「ビバ ップ」について、スウィングとの違い・特徴を考察する。	ビバップの登場と特徴
8		講義・演習	ハードバップ、アフロキューバンジャズ、ウェス トコーストジャズ	ビバップ以降活躍した音楽家(M.ディヴィス、C.パーカー、D.ガレスピー、C.モ ンクなど)	ビバップ以降活躍した音楽家(M.ディヴィス、C.パーカー、D.ガレスピー、C.モ ンクなど)
9		講義・演習	モードジャズ、フリージャズ	ビバップからフリージャズに至るジャズの進化	ビバップからフリージャズに至るジャズの進化
10		講義・演習	ビバップ以降、ジャズとロックの融合。	J.コルトレーン	J.コルトレーン
11		講義・演習	フュージョン、今日のジャズ。	ビートルズの登場など若者の関心が、ジャズからロックへ以降する中で新し いジャズを生み出した改革者を知る。 キーワード: クロスオーバー	ビートルズの登場など若者の関心が、ジャズからロックへ以降する中で新し いジャズを生み出した改革者を知る。 キーワード: クロスオーバー
12		講義・演習	テスト	マイルス・デイビスの影響カ ハービー・ハンコック、ウェザー・リポートなどを考察する。	マイルス・デイビスの影響カ ハービー・ハンコック、ウェザー・リポートなどを考察する。
13		講義・演習	振り返り	ニューオリンズジャズ～スウィング～ビバップ以降～フュージョンの流れを時代 背景や、 それぞれ主となる楽器、音楽の特徴などを説明できる。	ニューオリンズジャズ～スウィング～ビバップ以降～フュージョンの流れを時代 背景や、 それぞれ主となる楽器、音楽の特徴などを説明できる。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出
準備学習 時間外学習			興味の幅を広げることが何よりも大切。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Music History (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西田 剛
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、アメリカの黒人音楽の発展において重要なコンポーザーと、その功績を学びます。 学習していく中で、ジャズ、ブルース、ロック、ファンク、ブラックコンテンポラリー、ポップスの発展を理解するとともに、音楽的な視野を広めます。						
到達目標	現代のポップスの礎となっているアメリカの黒人音楽を創り上げた偉大な作曲家について深い理解を示すことができる。それは、現代のポップスを聴いた時の分析力となり、その音楽のルーツがわかるようになる。 そして、自分の作品とルーツとなる音楽を深いレベルで結びつけることができるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト80% 2) 平常点20%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	授業の進め方(資料、音楽、DVD、実演)の確認 デュエック・ジャズ	レベルチェック:小テスト ラグタイムについて	
2		講義・演習	Duke Ellington (1899-1974) Greatest Composer/Band leader	ニューヨークジャズ、ビッグバンドジャズ、ダンスとの関連について学ぶ。	
3		講義・演習	ルイ・アームストロング Louis Armstrong (1901-1971) Birth of Jazz	ニューオリンズNO.1のトランペッター、歌手としてのルイ・アームストロングについて学習。	
4		講義・演習	ロバート・ジョンソン Robert Johnson (1911-1938) Roots of Rock	デルタブルースとは何か？彼がなぜロックのルーツと呼ばれるのか？学習。	
5		講義・演習	チャーリー・パーカー Charlie Parker (1920-1955) Master of Jazz	ビバップについて、しっかりと復習する。以降の音楽への影響は何か？考察する。	
6		講義・演習	マイルス・デイビス Miles Davis (1926-1991) African-American Jazz	マイルスがジャズの発展と、どう関わっていたのか？活動した年代と変化について学習する。	
7		講義・演習	ジェームス・ブラウン James Brown (1933-2006) God father of Soul	ソウルミュージック、ファンクの誕生 人種問題も含め功績を理解する。	
8		講義・演習	クインシー・ジョーンズ Quincy Jones (1933-) The Producer	プロデューサーの仕事とは何か？クインシーの残した作品からプロデューサーの仕事を考える。	
9		講義・演習	ジミ・ヘンドリックス Jimi Hendrix (1942-1970) Guitar Hero	エレキギターの可能性を最大限引き出した彼の功績を再考し、未来を探る。	
10		講義・演習	ステヴィー・ワンダー Stevie Wonder (1950-) Magic of Songwriting	音楽性だけではなく、作詞、作曲の天才的な家なのだろうか？ セシル・デビルを分析かつ考察してみよう	
11		講義・演習	マイケル・ジャクソン Michael Jackson (1958-2009) King of Pops	その名の通り キングオブポップス 彼を育んだ音楽、彼の作品、さらには現代のポップスへの影響力を学ぶ。	
12		講義・演習	テスト		
13		講義・演習	振り返り	ニューオリンズジャズ～スイング～ビバップ以降～フュージョンの流れを時代背景や、それぞれ主となる楽器、音楽の特徴などを説明できる。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			興味の幅を広げることが何よりも大切。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	ビジネス基礎（1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代は、今までの常識や成功事例が通用しないVUCA（Volatility/変動性、Uncertainty/不確実性、Complexity/複雑性、Ambiguity/曖昧性）の時代。特に、学生が将来にわたってキャリア形成を考えるプロセスにおいては、教科書的知識では対応不可能。よって、本講義では、現実の職業生活に関する広範な知識の提供と、自ら考える習慣・態度の形成を目的とする。また、近年一般的になってきているリモートコミュニケーションを、授業内でのワーク、発表などを通じ実践する機会を設ける。講義全体を通して、理論に加えて、具体的な事例を多数取り上げることで、社会生活に容易に展開できる構成とする。						
到達目標	①キャリアデザインの概念を理解し、自身の価値観や職業観を知る ②キャリアデザインにおける様々な視点を学び、自身のキャリアに活用できるようになる ③自身のキャリアデザインの実現に向けて行動できるようになる ④オンラインコミュニケーションの実践、習得 ⑤社会に出る際に、役立つ知識の習得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、講義の目的や達成レベルを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
2		講義・演習	“働き易い会社”とは。その特徴を事例から学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
3		講義・演習	組織の部門構成や機能を事例を基に理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
4		講義・演習	“企業”研究の方法として、具体的な調べ方を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
5		講義・演習	実在する企業を研究対象として、調べ、発表する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
6		講義・演習	エンプロイアビリティとは。自らの市場価値を理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
7		講義・演習	グローバル人材とは。具体的な活動事例から学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
8		講義・演習	“転職”に関し、メリット・デメリットを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
9		講義・演習	“起業”とは。具体的な活動事例から学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
10		講義・演習	オンラインコミュニケーションを体験しながら、学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
11		講義・演習	学生時代にやるべきことを理解し、行動する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
12		講義・演習	試験・レポート課題	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
13		講義・演習	これまでの授業のまとめ、質問と回答	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。				

科目名	ビジネス基礎（2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代は、今までの常識や成功事例が通用しないVUCA（Volatility/変動性、Uncertainty/不確実性、Complexity/複雑性、Ambiguity/曖昧性）の時代。特に、学生が将来にわたってキャリア形成を考えるプロセスにおいては、教科書的知識では対応不可能。よって、本講義では、現実の職業生活に関する広範な知識の提供と、自ら考える習慣・態度の形成を目的とする。また、近年一般的になってきているリモートコミュニケーションを、授業内でのワーク、発表などを通じ実践する機会を設ける。講義全体を通して、理論に加えて、具体的な事例を多数取り上げることで、社会生活に容易に展開できる構成とする。						
到達目標	①キャリアデザインの概念を理解し、自身の価値観や職業観を知る ②キャリアデザインにおける様々な視点を学び、自身のキャリアに活用できるようになる ③自身のキャリアデザインの実現に向けて行動できるようになる ④オンラインコミュニケーションの実践、習得 ⑤社会に出る際に、役立つ知識の習得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	働く上で必要となる能力“職業人能力”について学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
2		講義・演習	将来にわたって理解すべき、“お金”について学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
3		講義・演習	アート系エンターテインメント施設訪問	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
4		講義・演習	事例解説／アート系エンターテインメント施設の運営	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
5		講義・演習	自分史の作成を通して、自身の特性を理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
6		講義・演習	適職診断ツールの活用を通して、職業選択を考える	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
7		講義・演習	ネット社会におけるマナー・ルールを学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
8		講義・演習	仕事と生活の調和『ワークライフバランス』を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
9		講義・演習	メンタルヘルスを学び、こころの健康について考える	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
10		講義・演習	人生100年時代のライフデザインについて考える	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
11		講義・演習	働く視点で、Society5.0/SDGsを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
12		講義・演習	試験・レポート課題	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
13		講義・演習	これまでの授業のまとめ、質問と回答	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。				

科目名	Global Communication (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	be 動詞 (am, are) を使って自己紹介 (国籍や出身) する、または出身地を尋ねる会話を練習、疑問代名詞 [What] を使って、自分の個人情報相手を伝え、また相手の情報を聞く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	ホテルにチェックインする際の会話を練習する、個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティで新しい人に出会う」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	be動詞を使って、家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、友達や家族について説明する		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	年齢や誕生日について聞く、話す、写真に写っている友達のことについて話す、友達についての紹介文を書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較する」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	名詞の所有を表す[s] と[s']を使って、自分の家について話す、[it is]を使って、家具について話す、		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する、分からない単語について質問する、ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「好きな音楽について」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	一般動詞「現在形」を使って、お気に入りの物について話す、一般動詞の「現在形」の疑問文を使って、どのようにテクノロジーを使用しているのかを話す		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	コミュニケーション手段について話す、相手の話を聞いていることを示す、商品のレビューを読む、書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「異なる週の活動について比較する」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	「現在形」肯定文、否定文を使って、平日、週末の行動について話す、「現在形」疑問文を使って、時間・自分のルーティン(日課)について話す		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する、自分の行動についてのレポートを読む、書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak: 前期発表		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】					
EVOLVE 1					

科目名	Global Communication (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「現在進行形」肯定文を使って、家事や自宅での行動について話す 「現在進行形」疑問文を使って、旅行について質問する、または答える	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	電話で情報を共有する会話を練習する、今起こっていることについてのブログを読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「最近の生活について」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	[Can / Can' t] (能力) を使って、自分の能力や才能について話す [Can / Can' t] (可能性) を使って、職場や学校でできること、できないことについて話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する、インターネット上で自分の考えをコメントする	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	[this] と [these] を使って、休暇、旅行について話す [like to, want to, need to, have to] を使って、旅行計画を立てる	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する場所についての説明を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	[be going to] を使って、週末のアウトドア（野外）プランについて話す、[be going to]（疑問文）を使って、異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する オンラインでの招待状を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画する」・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す、be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、記憶にある色について話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	自分の記憶を表現し、映画、俳優について話す 過去の思い出として保管している物についてEメールを書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak:後期発表	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1				

科目名	日本語講座 (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	神田智子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職・デビュー活動に必要な日本語能力を養います。 * 前期は、日本の就職活動の概要理解、業界・企業・職種研究、企業担当者やOB・OG訪問、インターンシップ準備などを行い、日本で働くことをイメージできるようにします。また日本語能力試験の対策を行います。 * 後期は、日本語能力試験対策及び、就職・デビューに関わる面接対策等を行います。						
到達目標	1. 日本の企業や業界について理解する。 2. OB・OG訪問やインターンシップを通じて日本での就業を体験し、就職への具体的なイメージを掴む。 3. 日本語で履歴書が書けるようになる。 4. 面接に対応できる日本語力やビジネスマナーを身に付ける。 5. 日本語能力試験N1への合格、または同等の日本語力を身につける。						
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)と前期・後期末試験について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	日本の就職・デビュー活動の概要	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
2		講義・演習	履歴書①基本情報の書き方	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
3		講義・演習	業界研究 調査①	業界の自主研究及び資料作成
4		講義・演習	業界研究 調査②	業界の自主研究及び資料作成
5		講義・演習	企業研究 調査① 好きなアーティストの所属先	企業の自主研究及び資料作成
6		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	企業の自主研究及び資料作成
7		講義・演習	N1の試験についての心構え～ 例題①	〈課題〉資料作成
8		講義・演習	レベルチェックテスト(20～30分) テスト答え合わせ解説 N1 状況状態に関する語彙	建前、矛盾 チームワークなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
9		講義・演習	N1文法 導入文型 ～とあって、～ならでは、～にもまして、～からして 例文作成、会話練習 N1語彙 人を見て思う感情表現語彙	あさましい めざましい 根拠り業掘りなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
10		講義・演習	N1文法 導入文型 ～を余儀なくされる ～たりとも ～きらいがある ～あっての 例文作成会話練習 N1相手を気遣う語彙	あいにく 何気ない 独自の などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
11		講義・演習	N1文法 導入文型 ～をよそに ～なりに ～ないでもない ～すら～なかった 例文作成、会話練習 N1困惑する感情の語彙 実践問題	不審な 閉口する 反発する などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
12		講義・演習	N1文法 導入文型 文法～とは(驚き)～がはやいか ～そばから ～ずにはおかない 例文作成、会話練習 N1時間 時期の語彙 。夏休みに向けて	適宜、時折 古参の などの語彙を使う状況を挙げ例文作成 読解問題宿題。夏休み課題の取り組み
13		講義・演習	振り返り。N1 試験について	夏休み課題の復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
『外国人留学生のための就活ガイド』				

科目名	日本語講座(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	神田智子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職に有利なJLPTN1取得を目標とし、特に出題されやすい接続詞を抜粋して導入、定着を目指す。併せてすべての基礎となる語彙力向上も目標とする またN1レベルの文法や語彙の使い分けも身につける * 講習ごとに語彙テストを行い、また「使える」語彙力を前提に積極的に会話練習を行う * わかりやすく導入するために例文提示と例文作成を行う						
到達目標	1. JLPTN1合格を目指す 2. 正しい接続詞の使い方を学び、実際に使えるようにする 3. 実際に使える語彙を増やす 読める漢字を増やす						
評価方法と基準	1・前期 期末試験の得点 2・N1レベル文法の習得度 N1レベル語彙の実践問題 正解率 3・出席率 授業態度 以上を基準として総合的に評価する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	N1文法 導入文型 ～ともなると ～もさることながら ～に即した ～をにおいて他にない 例文作成、会話練習 N1相手に対応する語彙	報いる 用心する 勘違い などの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
2		講義・演習	N1文法 導入文型 ～までもなく ～いかな ～とは言えないまでも ～とい～とい 例文作成、会話練習 N1将来未来の語彙	果てしなく 遠からず 粘り強く などの語彙を使う状況を考え 例文作成 読解問題宿題
3		講義・演習	N1文法 導入文型～のをいいことに ～にもほどがある ～ならまだしも ～以前の 例文作成、会話練習 N1物に働きかける語彙	活性化 正常化 目に見えて などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
4		講義・演習	N1文法 導入文型 ～たら～たで ～ようものなら ～ならいざしらず ～にこしたことはない 例文作成、会話練習 N1経済の語彙	不況 不振 盛況などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
5		講義・演習	N1文法 導入文型～とはいえ ～といったところだ ～に～ない ～にかこつけて 例文作成、会話練習 N1仕事の語彙	打ち込んでいる 立て込んでいる 乗り切る などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
6		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 語彙	文法例文作成 + 読解問題宿題
7		講義・演習	N1模擬試験問題 語彙 漢字	語彙例文作成 + 読解問題宿題
8		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 漢字	文法例文作成 + 読解問題宿題
9		講義・演習	N1試験対策	レポート提出
10		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	レポート提出
11		講義・演習	インターンシップ② プロフィールシート作成	〈課題〉資料作成
12		講義・演習	企業に入ってからのこと。OB OGIに聞きたいこと。	レポート提出
13		講義・演習	1年のまとめをプレゼンテーションする。	レポート提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
『外国人留学生のための就活ガイド』				

科目名	韓国語Optional(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	徐慧精
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) ハングルの表記を覚える。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、目標設定	プリントで練習する。
2		講義・演習	基本母音を知る。	書く練習と発音の練習をする。
3		講義・演習	子音 + 母音 の組み合わせを読む。	書く練習と単語を覚える。
4		講義・演習	激音について	書く練習と発音の練習をする。
5		講義・演習	濃音について	書く練習と発音の練習をする。
6		講義・演習	バッチム	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
7		講義・演習	合成母音	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
8		講義・演習	発音の変化	発音の練習をする。
9		講義・演習	簡単な会話	会話の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	単語や簡単な会話を覚える。
11		講義・演習	-입니다 / -입니까?	文章を作る練習をする。
12		講義・演習	韓国語で自己紹介をする。	自己紹介を書く。
13		講義・演習	発表会と話し合い	聴いて書く。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅰ & ワークブック、プリント。				

科目名	韓国語Optional(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	徐慧精
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習をする。	プリントでの復習。
2		講義・演習	-이 / 가 아닙니다.	否定文の練習をする。
3		講義・演習	職業について	会話の練習をする。
4		講義・演習	部屋の中を観察してみよう。	新しい単語を学ぶ。
5		講義・演習	簡単な質問ができる。	相手の話を聞いて返答をする。
6		講義・演習	家族関係が分かる。	文章を作る。授業内容の復習をする。
7		講義・演習	地名や場所名を覚える。	プリントで単語を覚える。
8		講義・演習	約束について会話する。	会話の練習をする。
9		講義・演習	位置に関する説明ができる。	作文の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	復習をする。
11		講義・演習	動画をみて見よう。	聴いて書く練習をする。
12		講義・演習	学んだ単語を確認しよう。	学んだ単語の復習をする。
13		講義・演習	一年間を振り返る。	会話の練習をする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅰ & ワークブック、プリント。				

科目名	Self accompaniment(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	日高優貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	アコースティックギターを使用して自己表現を試みるシンガーソングライターをサポート 授業進行状況により作詞作曲のディレクション						
到達目標	自信を持って自作曲を表現できるようにする						
評価方法と基準	弾き語りに必要とされるアコースティックギターの演奏技術 平常点(受講姿勢、復習状況、出席率)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	講義1年間の説明。生徒のプレイアビリティ診断。	資料をもとに予習・復習・練習を要する
2		講義・演習	アコースティックギターに必要な道具の紹介、説明	資料をもとに予習・復習・練習を要する
3		講義・演習	作成した資料を用いてローポジションでのコード紹介	資料をもとに予習・復習・練習を要する
4		講義・演習	3コード紹介	資料をもとに予習・復習・練習を要する
5		講義・演習	ダイアトニックコード紹介、説明	資料をもとに予習・復習・練習を要する
6		講義・演習	ストローク紹介、説明	資料をもとに予習・復習・練習を要する
7		講義・演習	カポタスト使用方法や目的を説明	資料をもとに予習・復習・練習を要する
8		講義・演習	アルペジオ奏法を紹介、説明	資料をもとに予習・復習・練習を要する
9		講義・演習	指弾きについて1	資料をもとに予習・復習・練習を要する
10		講義・演習	指弾きについて2	資料をもとに予習・復習・練習を要する
11		講義・演習	選択した楽曲演奏1	資料をもとに予習・復習・練習を要する
12		講義・演習	選択した楽曲演奏2	資料をもとに予習・復習・練習を要する
13		講義・演習	選択した楽曲演奏3	資料をもとに予習・復習・練習を要する
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
teamsにて共有				

科目名	Self accompaniment(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	日高優貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	アコースティックギターを使用して自己表現を試みるシンガーソングライターをサポート 授業進行状況により作詞作曲のディレクション						
到達目標	自信を持って自作曲を表現できるようにする						
評価方法と基準	弾き語りに必要とされるアコースティックギターの演奏技術 平常点(受講姿勢、復習状況、出席率)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vocal Reading (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	熊谷 穰
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	実技と筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	G メジャースケールについて説明できる。	G メジャースケール復習レポート作成
2		講義・演習	コードシンボルとコードサウンド、分散和音と音程	G メジャースケール(1) コードシンボルとコードサウンド、分散和音と音程復習レポート作成
3		講義・演習	G メジャースケールについて説明できる。	G メジャースケール復習レポート作成
4		講義・演習	B♭ メジャースケールについて説明できる。	B♭ メジャースケール復習レポート作成
5		講義・演習	B♭ メジャースケール(2) メジャーダイアトニックスケールとコード進行について説明できる。	B♭ メジャースケール(2) メジャーダイアトニックスケールとコード進行復習レポート作成
6		講義・演習	A マイナースケールについて説明できる。	A マイナースケール復習レポート作成
7		講義・演習	A マイナースケールについて説明できる。	A マイナースケール復習レポート作成
8		講義・演習	中間試験及び中間課題の提出。	中間試験及び中間課題準備
9		講義・演習	A♭メジャースケール。メジャーキーでのノンダイアトニックコードについて説明できる。	A♭メジャースケール。メジャーキーでのノンダイアトニックコード復習レポート作成
10		講義・演習	E マイナースケールについて説明できる。	E マイナースケール復習レポート作成
11		講義・演習	Dメジャースケールについて説明できる。 E♭メジャースケール。マイナーダイアトニックハーモニーについて説明できる。	Dメジャースケール復習レポート作成 E♭メジャースケール。マイナーダイアトニックハーモニー復習レポート作成
12		講義・演習	Dマイナースケールについて説明できる。 種々の調、音階、拍子記号、リズムによる練習について説明できる。。	Dマイナースケール復習レポート作成 種々の調、音階、拍子記号、リズムによる復習レポート作成
13		講義・演習	期末試験と復習	種々の調、音階、拍子記号、リズムによる復習レポート作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			聴力、音感に関するスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vocal Reading (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	熊谷 穰
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	G メジャースケールについて説明できる。	G メジャースケール復習レポート作成
2		講義・演習	コードシンボルとコードサウンド、分散和音と音程	G メジャースケール(1) コードシンボルとコードサウンド、分散和音と音程復習レポート作成
3		講義・演習	G メジャースケールについて説明できる。	G メジャースケール復習レポート作成
4		講義・演習	B♭ メジャースケールについて説明できる。	B♭ メジャースケール復習レポート作成
5		講義・演習	B♭ メジャースケール(2) メジャーダイアトニックスケールとコード進行について説明できる。	B♭ メジャースケール(2) メジャーダイアトニックスケールとコード進行復習レポート作成
6		講義・演習	A マイナースケールについて説明できる。	A マイナースケール復習レポート作成
7		講義・演習	A マイナースケールについて説明できる。	A マイナースケール復習レポート作成
8		講義・演習	中間試験及び中間課題の提出。	中間試験及び中間課題準備
9		講義・演習	A♭メジャースケール。メジャーキーでのノンダイアトニックコードについて説明できる。	A♭メジャースケール。メジャーキーでのノンダイアトニックコード復習レポート作成
10		講義・演習	E マイナースケールについて説明できる。	E マイナースケール復習レポート作成
11		講義・演習	Dメジャースケールについて説明できる。 E♭メジャースケール。マイナーダイアトニックハーモニーについて説明できる。	Dメジャースケール復習レポート作成 E♭メジャースケール。マイナーダイアトニックハーモニー復習レポート作成
12		講義・演習	Dマイナースケールについて説明できる。]種々の調、音階、拍子記号、リズムによる練習について説明できる。	Dマイナースケール復習レポート作成 種々の調、音階、拍子記号、リズムによる復習レポート作成
13		講義・演習	期末試験及び期末課題の提出。	期末課題の提出。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			聴力、音感に関するスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Private Lesson(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	斉藤 純
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	パークリー音楽大学進学を目指すドラマーのための総合的なドラムスキルの強化、アンサンブル演奏に対応する考え方やスキル、即興演奏方法と技術、アメリカン・ジャズスタイルの習得を行うプライベートレッスン。						
到達目標	学生が持ち込む課題や悩みを解決しつつ、Berkeley音楽大学の受験に必要な演奏技術、リズム感、即興力を養い、合格に向けた実践的なスキルを習得することを目指す。						
評価方法と基準	演奏技術の向上、課題解決の達成度、即興力の発展度を基準とし、予習復習などプライベートレッスンへの取り組みの姿勢等を総合的に評価し、Berkeley受験に必要なレベルに達しているかを判断する。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	初回は学生の現状把握、課題や目標の確認、レッスンプランの策定。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
2		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
3		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
4		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
5		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
6		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
7		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
8		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
9		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
10		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
11		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
12		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
13		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Private Lesson(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	斉藤 純
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	パークリー音楽大学進学を目指すドラマーのための総合的なドラムスキルの強化、アンサンブル演奏に対応する考え方やスキル、即興演奏方法と技術、アメリカン・ジャズスタイルの習得を行うプライベートレッスン。						
到達目標	学生が持ち込む課題や悩みを解決しつつ、Berkeley音楽大学の受験に必要な演奏技術、リズム感、即興力を養い、合格に向けた実践的なスキルを習得することを目標とする。						
評価方法と基準	演奏技術の向上、課題解決の達成度、即興力の発展度を基準とし、予習復習などプライベートレッスンへの取り組みの姿勢等を総合的に評価し、Berkeley受験に必要なレベルに達しているかを判断する。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	初回は学生の現状把握、課題や目標の確認、レッスンプランの策定。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
2		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
3		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
4		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
5		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
6		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
7		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
8		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
9		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
10		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
11		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
12		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
13		講義・演習	毎回学生からの質疑応答をもとに指導内容を調整し、問題解決のために適切な課題を出しながら学習を進めます。	学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			学生は事前に疑問点や課題を整理し、課題は個々の目標に応じて提示され、次のレッスンで確認します。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	クリエイティブワークショップ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	金子勝洋
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業は、音楽理論の基礎を学びながら小作品を制作、発表する。それらを通して、ミュージシャンとしての基礎力向上と、自己表現力を育むことを目標としている。ヴォーカリストは耳を使って音楽をすることに長けており、音楽理論に触れる機会が少ない傾向にある。そのため、創作を通して、音楽理論やハーモニー楽器に触れて、広い視野で音楽を理解する力を養う。そして、他人の評価に挫けたり、全てを委ねてしまうことなく、自らの表現を恐れずに発信できるミュージシャンへと成長することを促す。						
到達目標	①小作品の制作を通して、音楽理論の基礎をより深く理解する。②自分の制作の経緯、意図、想いを言語化し発表する。③授業外で時間の調整を行い、多様なスケジュールの下でも、課題を期日までに創る。④定期的なプレゼンテーションを通して、自分の作品が他者の目に晒されることの緊張や不快感と向き合い、自分らしい対処法を見つける。⑤0から1を創る経験を通して、身の回りにある音楽に対して、尊ぶ気持ちを養う。						
評価方法と基準	①1学期を通して、最低3回のプレゼンテーションを行う。②学期末に1コーラス以上の作品を提出する。③授業が全ての生徒にとってセーフスペースになるよう貢献する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	イントロダクション	
2		講義・演習	インターバルの復習、Top Liningの実践	課題制作
3		講義・演習	テスト、Show vs Tellを理解する	課題制作
4		講義・演習	トライアドコードの復習、比喩のgroup work	課題制作
5		講義・演習	7thコードの復習、ここまでのまとめの小作曲	課題制作
6		講義・演習	メジャーコード、ワンコードの作曲	課題制作
7		講義・演習	マイナーコード、ワンコードの作曲2	課題制作
8		講義・演習	メジャーコード進行を作って小作曲	課題制作
9		講義・演習	マイナーコード進行を作って小作曲	課題制作
10		講義・演習	キーカラーを理解し小作曲	課題制作
11		講義・演習	期末課題に向けてQ&A	期末課題制作
12		講義・演習	作品提出、期末課題プレゼン1	プレゼン準備
13		講義・演習	期末課題プレゼン2	プレゼン準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイティブワークショップ(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	金子勝洋
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業は、音楽理論の基礎を学びながら小作品を制作、発表する。それらを通して、ミュージシャンとしての基礎力向上と、自己表現力を育むことを目標としている。ヴォーカリストは耳を使って音楽をすることに長けており、音楽理論に触れる機会が少ない傾向にある。そのため、創作を通して、音楽理論やハーモニー楽器に触れて、広い視野で音楽を理解する力を養う。そして、他人の評価に挫けたり、全てを委ねてしまうことなく、自らの表現を恐れずに発信できるミュージシャンへと成長することを促す。						
到達目標	①小作品の制作を通して、音楽理論の基礎をより深く理解する。②自分の制作の経緯、意図、想いを言語化し発表する。③授業外で時間の調整を行い、多様なスケジュールの下でも、課題を期日までに創る。④定期的なプレゼンテーションを通して、自分の作品が他者の目に晒されることの緊張や不快感と向き合い、自分らしい対処法を見つける。⑤0から1を創る経験を通して、身の回りにある音楽に対して、尊ぶ気持ちを養う。						
評価方法と基準	①1学期を通して3～4回以上プレゼンをする(回数はクラスによって異なる)②学期末にオリジナル曲をパフォーマンスする。 ③授業が全ての生徒にとってセーフスペースになるよう貢献する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習		
2		講義・演習		
3		講義・演習		
4		講義・演習		
5		講義・演習		
6		講義・演習		
7		講義・演習		
8		講義・演習		
9		講義・演習		
10		講義・演習		
11		講義・演習		
12		講義・演習		
13		講義・演習		
14		講義・演習		
15		講義・演習		
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ネットアーティスト ゼミ A (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	蒔万澤倫子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	VTuberやVsingerとして配信活動を行うにあたっての実践的な内容と戦い方、心構えなどを学んでもらいます。伝達方法の違いはあれど、発信者として必要不可欠となってくる、機材、ソフトウェアの知識とリスナーの付け方と接し方、そして、メンタルの強さを養うのが目的です。レッドオーシャンと化した配信界を舞台に、その中でも外でも折れない心を持ち1人歩いていく力を身につけていきます。						
到達目標	継続する力、諦めない心を身につける。配信の基礎的知識を身につける。自身の向き不向きを知り、それに合わせた戦い方が出来るようになる。						
評価方法と基準	小テスト 50% レポート50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介 オリエンテーション	匿名アーティストとしての「名前」「キャラ設定」「自己紹介文」を作成し提出(200～300字)
2		講義・演習	配信の基本の基本	好きなVTuberまたは配信者1人を選び、活動スタイルや工夫をまとめたレポート(A4 1枚)提出
3		講義・演習	VTuberの基礎知識	自分のVTuber像(性格・設定・声質など)を整理した「キャラクター設計シート」を作成
4		講義・演習	VTubeスタジオ実習①	VTube Studioでの立ち上げ／基本操作画面のスクショと操作感の感想を提出
5		講義・演習	VTubeスタジオ実習②	表情／動きのバリエーションを研究し、「配信で使いたい動きTOP3」を動画 or シートでまとめて提出
6		講義・演習	LIVE2Dの基礎知識	LIVE2Dの構造や使われ方について調べ、「自分の理想キャラの表情・動き案」提出(ラフ画OK)
7		講義・演習	配信準備① プラットフォームと立ち絵	配信する予定プラットフォームの比較表を作成(2～3種類)＋使いたい理由を書く
8		講義・演習	配信準備② デビューまでにやると良いこと	「VTuberデビュー準備チェックリスト(15項目)」を作成し提出
9		講義・演習	配信準備③ 機材・PCについて	自分が使う(または理想の)配信機材・PC環境のスペック表を作成
10		講義・演習	配信技術① 話題 雑談 話し方	雑談配信の台本(3分想定)を作成し、音声収録して提出(mp3形式など)
11		講義・演習	配信技術②ゲーム配信 歌枠 企画枠	「やってみたい配信枠」の企画シート(内容・時間・準備・サムネ案)を作成
12		講義・演習	配信技術③リスナーさんとの関わり方	コメント返しの練習として「リスナーの想定コメント」に対して返答文を10パターン作成
13		講義・演習	配信技術④収益化 職業ライバー	「収益化までのステップ表」を作成し、月1～3年の目標を数字で記入したプラン表を提出
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ネットアーティスト ゼミ A (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	蒔万澤倫子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	VTuberやVsingerとして配信活動を行うにあたっての実践的な内容と戦い方、心構えなどを学んでもらいます。伝達方法の違いはあれど、発信者として必要不可欠となってくる、機材、ソフトウェアの知識とリスナーの付け方と接し方、そして、メンタルの強さを養うのが目的です。レッドオーシャンと化した配信界を舞台に、その中でも外でも折れない心を持ち1人歩いていく力を身につけていきます。						
到達目標	継続する力、諦めない心を身につける。配信の基礎的知識を身につける。自身の向き不向きを知り、それに合わせた戦い方が出来るようになる。						
評価方法と基準	小テスト 50% レポート50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り・後期の内容オリエンテーション	前期で制作した要素を振り返り、「今後の目標3つ」と「強化したいこと1つ」を記入して提出
2		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio使い方 仕組み	自宅または学校PCでOBSを立ち上げ、スクリーンショット付きの「操作レポート」を作成(基本設定・映像・音声)
3		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio 応用 プラグイン	実際に入れてみたいプラグイン1つを選び、使い方・用途をA4 1枚にまとめる(日本語可)
4		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio 配信画面の作り方	自分の配信用シーン構成を考え、シーン図(またはスライド)を提出(シーン名・用途・素材構成など)
5		講義・演習	配信者兼クリエイターのすすめ①	「歌・絵・動画・文章など、自分ができるorやってみたい表現」について1つ選び、具体例と実施方法をまとめる
6		講義・演習	配信者兼クリエイターのすすめ②	週1〜2で続けられそうな配信や投稿プランを立て、「1ヶ月スケジュール表」を提出
7		講義・演習	外部依頼・クリエイターとの関わり方	「他者にイラストや楽曲を依頼するときの連絡文」をテンプレート形式で作成(依頼目的・報酬・締切など)
8		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism① 基礎	Cubismをインストール(または動画視聴)し、機能の感想や気づきを記入して提出
9		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism② 角度と動き	モデリング用の「正面→左右の顔向きラフ案」を紙またはデジタルで作成・提出(簡易でOK)
10		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism③顔のパーツ	顔パーツ(目・口・眉)の動き案(分割・動き方・イメージ)をスライドまたは図解で提出
11		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism④ 体のパーツ	上半身または腕の動き案と、どの動きにどの用途があるかをセットで資料にして提出
12		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism⑤ 物理演算と機能	「髪」「アクセサリ」など、物理演算で動かしたい部分の演出案をスライドで作成・提出
13		講義・演習	総まとめ これまでの学習を踏まえて	自分の「VTuber活動企画書」(A4スライド5〜10枚程度)を作成して最終発表(匿名・仮想キャラでもOK)
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Music Theory (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北澤由佳
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。 本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	ダイアトニック・コード・プログレッション、コードスケールを理解し説明できる。	ダイアトニック・コード・プログレッション、コードスケールの復習レポート作成	
2		講義・演習	コンポジションとしての転調、アレンジングとしての転調を理解し説明できる。	コンポジションとしての転調、アレンジング復習レポート作成	
3		講義・演習	コード進行の分析と創作、その概要と技法を理解し説明できる。	コード進行の分析と創作復習レポート作成	
4		講義・演習	メロディーとハーモニーの関係を理解し説明できる。	メロディーとハーモニーの関係における復習レポート作成	
5		講義・演習	メロディーとハーモニーの関係を理解し説明できる。	メロディーとハーモニーの関係における復習レポート作成	
6		講義・演習	”ヴォイス・リーディング”と”ガイド・トーン・ライン”作曲、編曲、即興演奏を理解し説明できる。	”ヴォイス・リーディング”と”ガイド・トーン・ライン”作曲、編曲、即興演奏復習レポート作成	
7		講義・演習	中間テスト、及び中間課題の復習	中間テスト、及び中間課題の説明と準備。	
8		講義・演習	中間確認試験と復習	中間課題レポートの提出準備	
9		講義・演習	メロディーの作法:メロディーの分析を理解し説明できる。	メロディーの作法:メロディーの分析復習レポート作成	
10		講義・演習	メロディーの作法:メロディーの装飾を理解し説明できる。	メロディーの作法:メロディーの装飾復習レポート作成	
11		講義・演習	メロディーの作法:モチーフの概要を理解し説明できる。	メロディーの作法:モチーフの概要復習レポート作成	
12		講義・演習	メロディーの作法:モチーフを発展させるその技法を理解し説明できる。	メロディーの作法:モチーフを発展させるその技法復習レポート作成	
13		講義・演習	ハーモニー(コード進行)の装飾:パッシング・コード、アプローチ・コードを理解し説明できる。	ハーモニー(コード進行)の装飾:パッシング・コード、アプローチ・コード復習レポート作成	
14		講義・演習	学期末テスト、及び学期末課題の説明と準備。	学期末テスト、及び学期末課題の説明と準備。	
15		講義・演習	期末確認試験と復習	期末課題レポートの提出準備	
準備学習 時間外学習			業界で資料する音楽理論の習得。準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Music Theory (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北澤由佳
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。 本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	メロディー、コード進行の分析、メロディーとコード進行の関係、メロディーの作法を理解し説明ができる。	メロディー、コード進行の分析、メロディーとコード進行の関係、メロディーの作法の復習レポート作成
2		講義・演習	ノン・ファンクショナル・ドミナント・セヴンス・コードを理解し説明ができる。	ダイアトニック・ハーモニーの拡張 ①ノン・ファンクショナル・ドミナント・セヴンス・コード復習レポート作成
3		講義・演習	モーダルインターチェンジを理解し説明ができる。	モーダルインターチェンジ復習レポート作成
4		講義・演習	ハイブリッド・ヴォイスिंगを理解し説明ができる。	ハイブリッド・ヴォイスिंग復習レポート作成
5		講義・演習	リハーモニゼーションⅠを理解し説明ができる。	リハーモニゼーションⅠ 復習レポート作成
6		講義・演習	リハーモニゼーションⅡを理解し説明ができる。	リハーモニゼーションⅡ 復習レポート作成
7		講義・演習	リハーモニゼーションⅡを理解し説明ができる。	中間テスト、及び中間課題の説明と準備。
8		講義・演習	中間確認試験と復習	中間課題レポートの提出準備
9		講義・演習	モーダル・ハーモニーを理解し説明ができる。	モーダル・ハーモニー復習レポート作成
10		講義・演習	モーダルライティング、オスティナート、ペダルポイントを理解し説明ができる。	モーダルライティング、オスティナート、ペダルポイント復習レポート作成
11		講義・演習	ヴォイスिंगのテクニックを理解し説明ができる。	ヴォイスिंगのテクニックの復習レポート作成
12		講義・演習	コンスタント・ストラクチャーをはじめとした、ポスト・ビバップ・ハーモニーを理解し説明ができる。	コンスタント・ストラクチャーをはじめとした、ポスト・ビバップ・ハーモニー復習レポート作成
13		講義・演習	最新の拡張された、ハーモニー、メロディー、リズム的なコンセプトを理解し説明ができる。	最新の拡張された、ハーモニー、メロディー、リズム的なコンセプト復習レポート作成
14		講義・演習	ヴォイスिंगのテクニックを理解し説明ができる。	学期末テスト、及び学期末課題の説明と準備。
15		講義・演習	期末確認試験と復習	期末課題レポートの提出準備
準備学習 時間外学習			業界で資料する音楽理論の習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ear Training (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北澤由佳
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。 本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、 現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	筆記よる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	イヤートレーニング2を理解し説明できる。	授業概要の説明とイヤートレーニング2の復習レポート作成
2		講義・演習	実際のメロディー:順次進行の多い、水平的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー:順次進行の多い、水平的なメロディーの復習レポート作成
3		講義・演習	実際のメロディー:順次進行の多い、水平的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー:順次進行の多い、水平的なメロディーの復習レポート作成
4		講義・演習	実際のメロディー:跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー:跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーの復習レポート作成
5		講義・演習	実際のメロディー:跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー:跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーの復習レポート作成
6		講義・演習	実際のメロディー:モチーフを発展させたメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー:モチーフを発展させたメロディーの復習レポート作成
7		講義・演習	実際のメロディー:モチーフを発展させたメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー:モチーフを発展させたメロディーの復習レポート作成
8		講義・演習	実際のメロディー:跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー:跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーの復習レポート作成
9		講義・演習	モード(ダイアトニック・コード・スケール):ミクソリディアンを理解し説明できる。	モード(ダイアトニック・コード・スケール):ミクソリディアンの復習レポート作成
10		講義・演習	モード(ダイアトニック・コード・スケール):リディアンを理解し説明できる。	モード(ダイアトニック・コード・スケール):リディアンの復習レポート作成
11		講義・演習	モード(ダイアトニック・コード・スケール):ドリアンを理解し説明できる。	モード(ダイアトニック・コード・スケール):ドリアンの復習レポート作成
12		講義・演習	モード(ダイアトニック・コード・スケール):フリジアンを理解し説明できる。	モード(ダイアトニック・コード・スケール):フリジアンの復習レポート作成
13		講義・演習	モード(ダイアトニック・コード・スケール):ロクリアンを理解し説明できる。	モード(ダイアトニック・コード・スケール):ロクリアンの復習レポート作成
14		講義・演習	ダイアトニック・モード(ダイアトニック・コード・スケール)を理解し説明できる。	ダイアトニック・モード(ダイアトニック・コード・スケール)の復習レポート作成
15		講義・演習	期末確認試験と復習	学期末課題の発表・提出。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ear Training (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北澤由佳
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。 本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、 現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	イヤートレーニング3を復習理解し説明ができる	イヤートレーニング3の復習・確認レポート作成
2		講義・演習	ペントニック・スケール(メジャー、マイナー)理解し説明ができる	ペントニック・スケール(メジャー、マイナー)の復習確認レポート作成
3		講義・演習	モード・スケールを繰り返し習得し理解し説明ができる	モード・スケール確認レポート作成
4		講義・演習	モード・スケールを繰り返し習得し理解し説明ができる	モード・スケール確認レポート作成
5		講義・演習	モード・スケールを繰り返し習得し理解し説明ができる	モード・スケール確認レポート作成
6		講義・演習	クロマチック・スケールとスケール・モードの習得し理解し説明ができる	クロマチック・スケールとスケール・モードの復習確認レポート作成
7		講義・演習	クロマチック・アプローチを含むメロディー習得し理解し説明ができる	クロマチック・アプローチを含むメロディー確認レポート作成
8		講義・演習	クロマチック・アプローチを含むメロディー習得し理解し説明ができる	クロマチック・アプローチを含むメロディー確認レポート作成
9		講義・演習	転調について実践習得し理解し説明ができる	転調について実践確認レポート作成
10		講義・演習	転調を含むメロディーを作って習得し理解し説明ができる	転調を含むメロディー確認レポート作成
11		講義・演習	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー習得し理解し説明ができる	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー確認レポート作成
12		講義・演習	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー習得し理解し説明ができる	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー確認レポート作成
13		講義・演習	無調的なメロディー習得し理解し説明ができる	無調的なメロディー確認レポート作成
14		講義・演習	無調的なメロディー習得し理解し説明ができる	無調的なメロディー確認レポート作成
15		講義・演習	期末確認試験と復習	学期末課題の発表・提出。
準備学習 時間外学習			聴力、音感に関するスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Music History (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西田 剛
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、ポップ・ロックミュージックの起こりから現代まで、その発達の歴史を深く学びます。 その歴史や文化に触れ、グローバルな視点でアメリカ・イギリス中心とした英語圏におけるポピュラー音楽の位置づけを概観することができる。						
到達目標	時代の流れに沿った、ロック・ポップスの発達を深く知ること、自分たちの作り出す音楽と、ロック・ポップスの歴史・進化を結び付け評価することができる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト80% 2) 平常点20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ロックミュージックのルーツ	ポピュラー音楽を学ぶ事＝アメリカの黒人音楽を知る～授業目的の確認 どのように学ぶのか？ 授業の進め方 (IT資料、音源、DVD、実演) の確認 オールディーズ資料としてアメリカングラフィティ考察
2		講義・演習	20世紀初期のポピュラーミュージック	最も代表的なアーチストジャズ・ビートルズ、ブルース、マイケル、マイケル、 ナ、ツェッペリンの共通点アメリカの黒人音楽を世界に広めたパフォーマー。 ブルースの特徴(コード進行、12小節)をクロスロード(ロバートジョンソン、エ リッククラプトン)を考察(パターンと音階を理解する)
3		講義・演習	ロックンロールの誕生	で、アメリカ黒人音楽であるR&Rを学ぶ。 また、自分のアタマで考えることを教える 例えばメンフィスは黒人が多く住 んでたと思えるのだ
4		講義・演習	フォークミュージックの再燃と公民権運動	ボブディランを中心にフォークソングを考察 代表曲: 風に吹かれて の歌詞 の内容を時代背景とともに理解する。 また、時代は異なるが、イマジン: ジョンレノン の歌詞の本質を学ぶ。
5		講義・演習	イギリス・ポップミュージックの台頭	ビートルズ～ イギリスアーチストのアメリカ市場への侵攻 ベビーブーム世代 当時の若者の考え方を学ぶ。
6		講義・演習	フラワームーヴメント	フラワームーヴメント、ヒッピー、LOVE&PEACE、公民権運動、ベトナム戦争 を、音楽に込められた若者のメッセージとともに説明できるようにする。
7		講義・演習	ポイント整理	R&Rの誕生からウッドストックまでの流れを、 しっかりと理解する。
8		講義・演習	パンクロック。ニューウェイブ	ロンドンパンク、セックス・ピストルズ、エルヴィス・プレスリー、フォーク・ロック エストウッド)～ニューウェイブの流れ と 70年代のポピュラー音楽の大きな流れ(ハードロック、ファンク、レゲエ、AOR などのジャンル)の確立)を対比させることができる
9		講義・演習	MTVの時代	80年代MTV 80年代ビルボードTOP10 マイケルジャクソン「スリラー」考察 MTVのスタートによりプロモーションのあり方自体に大きな変革をもたらした こと シンセサイザーの発達 女性アーチストの躍進にも注目する。
10		講義・演習	ヒップホップの誕生	アイズ・オブ・メン・イン・ザ・スカイ、アトミック・カウボーイ、ヒップホップの歴史を踏ま えて、ヒップホップとの関連 ヒップホップの始まり(ラップ、ブレイクダンス、グラ フィティ)を検証 その他 オールジャンルから超一流のアーティストが集結した「We Are The
11		講義・演習	21世紀の始まり	今世紀に入ってからポピュラー音楽の傾向を理解する 新たなメディア (Youtube) との向き合い方を各自で考える。
12		講義・演習	テスト	
13		講義・演習	振り返り	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Music History (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西田 剛
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二						
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、主にヨーロッパ及びアメリカで発生し発展してきた芸術音楽について概要を学びます。 その歴史(中世～20世紀)の中で対位法、オペラ、無調性音楽などに触れ、形式を理解するとともに、音楽的な視野を広めます。						
到達目標	西洋音楽の進化について深い理解を示すことができる。それは、楽曲を聴いた時の分析力となり、その曲の歴史的な位置づけ・意味合いがわかるようになる。 そして、自分の作品と西洋音楽を深いレベルで結びつけることができるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 平常点40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	中世の音楽 音楽の始まり～グレゴリオ聖歌 教会旋法	授業の進め方(資料、音源、DVD、実演)の確認 レベルチェック:小テスト 身近なクラシック曲(あし笛の踊り)
2		講義・演習	ルネッサンス期の音楽	配布プリント(年表、ルネサンス、バッハのメヌエット) 目標再確認、メヌエットで学ぶ対位法、ルネサンス音楽を聴く
3		講義・演習	バロック期の音楽(オペラ)	バロックという時代を知る。 オペラの始まり1600～バッハの死1750 名作: 蝶々夫人 椿姫 魔笛 コシ・ファン・トゥッテ 鑑賞 考察: オペラ歌手 ソプラノ(コロラトゥーラ、リリコ、などの違いを聴き分ける)
4		講義・演習	J.S.バッハの音楽	バロックとバッハ 時代と背景 対位法、カノン形式について学習する 主よ、人の望みの喜びよ バッハベルのカノン オペラとオラトリオ などフ リントに沿って学習
5		講義・演習	クラシック音楽”の時代(ハイドン、モーツァ ルト)	モーツァルトと古典派、ソナタ形式と交響曲の構成を理解する。その他、協奏 曲とはどんな音楽か説明できるようにする。
6		講義・演習	ここまでのポイント整理	カノン形式、ソナタ形式、交響曲の構成、オペラと オラトリオの違いなどを言葉で説明できる。
7		講義・演習	クラシック音楽”の時代(ベートーベン)	ベートーヴェンと古典派～ロマン派の流れを理解する 交響曲『運命』(ソナタ形式)、エリーゼのために、月光など代表曲。 ハイドン 『天地創造』(オラトリオ)
8		講義・演習	初期ロマン派の音楽(シューベルト、ペルリ オーズ)	ロマン派①シューベルト ペルリオーズなど考察 ショパン、シューマン、リスト、メンデルスゾーン(主だったピアノ曲) を聴き ピアノという楽器の歴史を理解する。
9		講義・演習	後期ロマン派の音楽(ワーグナー、マーラー)	ロマン派②ワーグナー、フェリクス、ゴットフリート・フックスと世、ワグネル ス、ドヴォルザーク 前週からの2週で、ロマン派の音楽が重視した人間の感情や個性を理解す る。
10		講義・演習	20世紀の音楽(ストラヴィンスキー)	1882～1971 初期の3 作品『火の鳥』、『ペト ルーシュカ』、『春の祭典』)
11		講義・演習	20世紀の音楽(シェーンベルグ) ケージ、ヴェーブルン 芸術音楽	シェーンベルクを中心に20世紀の音楽 12音技法の解 説 音列を知る その他(サティ、ラヴェルなど)
12		講義・演習	テスト	
13		講義・演習	振り返り	中世から20世紀までの時代を振り返り、曲の雰囲気やイデオロギがどのように 確認する。 オーケストラの基本編成や様々なジャンル(交響曲、協奏曲、ピアノ曲)を再 認識する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	City Pop Ensemble(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	○City Pop特有の音楽スタイル(リズム・コード・アレンジ)の理解を深める ○バンドアンサンブルにおける各パートの役割とバランスの習得 ○リズムセクション(ドラム・ベース)とハーモニー(鍵盤・ギター)の連携強化 ○楽曲の再現演奏を通じた表現力およびグルーブの向上 ○グループでの演奏を通じたコミュニケーション能力の向上						
到達目標	○City Pop特有のリズムやグルーブを理解し演奏に反映できる ○自分の担当パートの役割を理解し、他パートとバランスよく演奏できる ○バンド全体でタイミングを合わせたアンサンブルができる ○楽曲の構成(Aメロ・サビ等)を理解して演奏できる ○1曲以上を完成度高く合奏できる						
評価方法と基準	○出席重視(学校規定出席率の達成度合い) ○各回の演奏参加および取り組み姿勢 ○パート練習および課題への取り組み状況 ○最終演奏(アンサンブル)の完成度 ○グループ内での協調性・コミュニケーション						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業説明／楽曲紹介	City Pop楽曲を聴く
2		講義・演習	各パート基礎練習①	自パートの音を確認
3		講義・演習	各パート基礎練習②	担当フレーズ練習
4		講義・演習	リズムセクション合わせ	リズムを聴き込む
5		講義・演習	ハーモニー隊合わせ	コード進行確認
6		講義・演習	部分アンサンブル①(Aメロ)	Aメロ練習
7		講義・演習	部分アンサンブル②(サビ)	サビ練習
8		講義・演習	通し演奏①	曲全体を聴く
9		講義・演習	グルーヴ調整	ノリを意識して聴く
10		講義・演習	表現強化(ダイナミクス)	強弱を意識
11		講義・演習	通し演奏②	演奏イメージ整理
12		講義・演習	リハーサル	通し練習
13		講義・演習	最終発表・講評	振り返り準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	City Pop Ensemble(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	○City Pop Ensemble(3)で習得したアンサンブル基礎を発展させ、より完成度の高い演奏技術の習得 ○各パートの役割理解を深め、音量・音色・タイミングの精度向上を図る ○ダイナミクス(強弱)やニュアンスなど、楽曲表現の強化 ○楽曲全体の構成を意識した演奏(展開・緩急)の習得 ○複数曲に取り組み、対応力と安定した演奏力を身につける						
到達目標	○他パートとのバランスを考慮しながら安定した演奏ができる ○楽曲内の強弱やニュアンスを意識した表現ができる ○曲全体の構成を理解し、メリハリのある演奏ができる ○複数曲を通して安定したアンサンブル演奏ができる ○グループ内で主体的に調整・コミュニケーションができる						
評価方法と基準	○出席重視(学校規定出席率の達成度合い) ○授業内での演奏参加および取り組み姿勢 ○パート練習およびアンサンブルへの貢献度 ○リハーサルおよび最終演奏の完成度 ○グループ内での協働および改善への取り組み						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前回復習／課題共有／曲追加	(3)の演奏を振り返る
2		講義・演習	新曲パート確認	新曲を聴き込む
3		講義・演習	各パート練習(精度向上)	自パート練習
4		講義・演習	リズムセクション強化	リズムを重点的に聴く
5		講義・演習	ハーモニー調整	コード進行確認
6		講義・演習	部分アンサンブル①	難所を重点練習
7		講義・演習	部分アンサンブル②	フレーズ練習
8		講義・演習	通し演奏①(精度重視)	通し練習
9		講義・演習	ダイナミクス調整	強弱を意識して聴く
10		講義・演習	表現強化(ニュアンス)	参考音源を分析
11		講義・演習	通し演奏②(完成度向上)	改善点整理
12		講義・演習	リハーサル	本番イメージ
13		講義・演習	成果発表・講評	振り返り準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ビジネス基礎 (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代は、今までの常識や成功事例が通用しないVUCA(Volatility/変動性、Uncertainty/不確実性、Complexity/複雑性、Ambiguity/曖昧性)の時代。特に、学生が将来にわたってキャリア形成を考えるプロセスにおいては、教科書的知識では対応不可能。よって、本講義では、現実の職業生活に関する広範な知識の提供と、自ら考える習慣・態度の形成を目的とする。また、近年一般的になってきているリモートコミュニケーションを、授業内でのワーク、発表などを通じ実践する機会を設ける。講義全体を通して、理論に加えて、具体的な事例を多数取り上げることで、社会生活に容易に展開できる構成とする。						
到達目標	①キャリアデザインの概念を理解し、自身の価値観や職業観を知る ②キャリアデザインにおける様々な視点を学び、自身のキャリアに活用できるようになる ③自身のキャリアデザインの実現に向けて行動できるようになる ④オンラインコミュニケーションの実践、習得 ⑤社会に出る際に、役立つ知識の習得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、講義の目的や達成レベルを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
2		講義・演習	“働き易い会社”とは。その特徴を事例から学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
3		講義・演習	組織の部門構成や機能を事例を基に理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
4		講義・演習	“企業”研究の方法として、具体的な調べ方を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
5		講義・演習	実在する企業を研究対象として、調べ、発表する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
6		講義・演習	エンプロイアビリティとは。自らの市場価値を理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
7		講義・演習	グローバル人材とは。具体的な活動事例から学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
8		講義・演習	“転職”に関し、メリット・デメリットを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
9		講義・演習	“起業”とは。具体的な活動事例から学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
10		講義・演習	オンラインコミュニケーションを体験しながら、学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
11		講義・演習	学生時代にやるべきことを理解し、行動する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
12		講義・演習	試験・レポート課題	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
13		講義・演習	これまでの授業のまとめ、質問と回答	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。				

科目名	ビジネス基礎（4）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代は、今までの常識や成功事例が通用しないVUCA（Volatility/変動性、Uncertainty/不確実性、Complexity/複雑性、Ambiguity/曖昧性）の時代。特に、学生が将来にわたってキャリア形成を考えるプロセスにおいては、教科書的知識では対応不可能。よって、本講義では、現実の職業生活に関する広範な知識の提供と、自ら考える習慣・態度の形成を目的とする。また、近年一般的になってきているリモートコミュニケーションを、授業内でのワーク、発表などを通じ実践する機会を設ける。講義全体を通して、理論に加えて、具体的な事例を多数取り上げることで、社会生活に容易に展開できる構成とする。						
到達目標	①キャリアデザインの概念を理解し、自身の価値観や職業観を知る ②キャリアデザインにおける様々な視点を学び、自身のキャリアに活用できるようになる ③自身のキャリアデザインの実現に向けて行動できるようになる ④オンラインコミュニケーションの実践、習得 ⑤社会に出る際に、役立つ知識の習得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	働く上で必要となる能力“職業人能力”について学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
2		講義・演習	将来にわたって理解すべき、“お金”について学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
3		講義・演習	アート系エンターテインメント施設訪問	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
4		講義・演習	事例解説／アート系エンターテインメント施設の運営	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
5		講義・演習	自分史の作成を通して、自身の特性を理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
6		講義・演習	適職診断ツールの活用を通して、職業選択を考える	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
7		講義・演習	ネット社会におけるマナー・ルールを学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
8		講義・演習	仕事と生活の調和『ワークライフバランス』を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
9		講義・演習	メンタルヘルスを学び、こころの健康について考える	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
10		講義・演習	人生100年時代のライフデザインについて考える	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
11		講義・演習	働く視点で、Society5.0/SDGsを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
12		講義・演習	試験・レポート課題	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
13		講義・演習	これまでの授業のまとめ、質問と回答	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。				

科目名	キャリアデザイン (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト(枠組みの大転換)に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日の話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。						
到達目標	講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日の話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、講義の目的や達成レベルを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
2		講義・演習	マーケティング基礎 その1 "4つのP"を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
3		講義・演習	マーケティング基礎 その2 "STP"を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
4		講義・演習	マーケティング基礎 その3 "3C分析"を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
5		講義・演習	戦略的情報発信 広報(PR)を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
6		講義・演習	イノベーションを起こす"デザイン思考"を身に着ける	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
7		講義・演習	飲食ビジネスの仕組みを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
8		講義・演習	成功企業の事例解説(ファッションブランド)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
9		講義・演習	成功企業の事例解説(エンターテインメント企業)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
10		講義・演習	成功企業の事例解説(興行ビジネス)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
11		講義・演習	情報爆発時代のメディアリテラシーを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
12		講義・演習	試験・レポート課題	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
13		講義・演習	これまでの授業のまとめ、質問と回答	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。				

科目名	キャリアデザイン (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト(枠組みの大転換)に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日の話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。						
到達目標	講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日の話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	デジタルマーケティングを学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
2		講義・演習	パラダイムシフトにおける”アート思考”を理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
3		講義・演習	アート系エンターテインメント施設訪問	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
4		講義・演習	事例解説／アート系エンターテインメント施設の運営	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
5		講義・演習	商品開発のビジネスモデルを学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
6		講義・演習	広告実務と広告代理店の機能を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
7		講義・演習	エンタメビジネスに必須のスポンサー制度を理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
8		講義・演習	SDGsのビジネス展開を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
9		講義・演習	Society 5.0 未来社会の展望を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
10		講義・演習	企業研究の手法を事例で学ぶ(食品会社)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
11		講義・演習	企業研究の手法を事例で学ぶ(ファッションブランド)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
12		講義・演習	試験・レポート課題	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
13		講義・演習	これまでの授業のまとめ、質問と回答	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。				

科目名	Global Communication (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	be 動詞 (am, are) を使って自己紹介 (国籍や出身) する、または出身地を尋ねる会話を練習、疑問代名詞 [What] を使って、自分の個人情報相手を伝え、また相手の情報を聞く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	ホテルにチェックインする際の会話を練習する、個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティで新しい人に出会う」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	be動詞を使って、家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、友達や家族について説明する		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	年齢や誕生日について聞く、話す、写真に写っている友達のことについて話す、友達についての紹介文を書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較する」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	名詞の所有を表す[s] と [s] を使って、自分の家について話す、[it is] を使って、家具について話す、		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する、分からない単語について質問する、ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「好きな音楽について」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	一般動詞「現在形」を使って、お気に入りの物について話す、一般動詞の「現在形」の疑問文を使って、どのようにテクノロジーを使用しているのかを話す		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	コミュニケーション手段について話す、相手の話を聞いていることを示す、商品のレビューを読む、書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「異なる週の活動について比較する」・前期発表と運動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	「現在形」肯定文、否定文を使って、平日、週末の行動について話す、「現在形」疑問文を使って、時間・自分のルーティン(日課)について話す		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する、自分の行動についてのレポートを読む、書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak: 前期発表		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】					
EVOLVE 2					

科目名	Global Communication (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「現在進行形」肯定文を使って、家事や自宅での行動について話す 「現在進行形」疑問文を使って、旅行について質問する、または答える	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	電話で情報を共有する会話を練習する、今起こっていることについてのブログを読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「最近の生活について」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	[Can / Can' t] (能力) を使って、自分の能力や才能について話す [Can / Can' t] (可能性) を使って、職場や学校でできること、できないことについて話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する、インターネット上で自分の考えをコメントする	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	[this] と [these] を使って、休暇、旅行について話す [like to, want to, need to, have to] を使って、旅行計画を立てる	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する場所についての説明を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	[be going to] を使って、週末のアウトドア（野外）プランについて話す、[be going to]（疑問文）を使って、異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する オンラインでの招待状を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画する」・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す、be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、記憶にある色について話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	自分の記憶を表現し、映画、俳優について話す 過去の思い出として保管している物についてEメールを書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak:後期発表	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 2				

科目名	日本語講座 (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神田智子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職・デビュー活動に必要な日本語能力を養います。 * 前期は、日本の就職活動の概要理解、業界・企業・職種研究、企業担当者やOB・OG訪問、インターンシップ準備などを行い、日本で働くことをイメージできるようにします。また日本語能力試験の対策を行います。 * 後期は、日本語能力試験対策及び、就職・デビューに関わる面接対策等を行います。						
到達目標	日本国内での就職・デビュー活動に必要な日本語能力を養います。 * 前期は、日本の就職活動の概要理解、業界・企業・職種研究、企業担当者やOB・OG訪問、インターンシップ準備などを行い、日本で働くことをイメージできるようにします。また日本語能力試験の対策を行います。 * 後期は、日本語能力試験対策及び、就職・デビューに関わる面接対策等を行います。						
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)と前期・後期末試験について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	日本の就職・デビュー活動の概要	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
2		講義・演習	履歴書①基本情報の書き方	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
3		講義・演習	業界研究 調査①	業界の自主研究及び資料作成
4		講義・演習	業界研究 調査②	業界の自主研究及び資料作成
5		講義・演習	企業研究 調査① 好きなアーティストの所属先	企業の自主研究及び資料作成
6		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	企業の自主研究及び資料作成
7		講義・演習	N1の試験についての心構え～ 例題①	〈課題〉資料作成
8		講義・演習	レベルチェックテスト (20～30分) テスト答え合わせ解説 N1 状況状態に関する語彙	建前、矛盾 チームワークなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
9		講義・演習	N1文法 導入文型 ～とあって、～ならでは、～にもまして、～からして 例文作成、会話練習 N1語彙 人を見て思う感情表現語彙	あさましい めざましい 根拠り業掘りなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
10		講義・演習	N1文法 導入文型 ～を余儀なくされる ～たりとも ～きらいがある ～あっての 例文作成会話練習 N1相手を気遣う語彙	あいにく 何気ない 独自の などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
11		講義・演習	N1文法 導入文型 ～をよそに ～なりに ～ないでもない ～すら～なかった 例文作成、会話練習 N1困惑する感情の語彙 実践問題	不審な 閉口する 反発する などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
12		講義・演習	N1文法 導入文型 文法～とは(驚き)～がはやいか ～そばから ～ずにはおかない 例文作成、会話練習 N1時間 時期の語彙 。夏休みに向けて	適宜、時折 古参の などの語彙を使う状況を挙げ例文作成 読解問題宿題。夏休み課題の取り組み
13		講義・演習	振り返り。N1 試験について	夏休み課題の復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
『外国人留学生のための就活ガイド』				

科目名	日本語講座 (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神田智子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職に有利なJLPTN1取得を目標とし、特に出題されやすい接続詞を抜粋して導入、定着を目指す。併せてすべての基礎となる語彙力向上も目標とする またN1レベルの文法や語彙の使い分けも身につける * 講習ごとに語彙テストを行い、また「使える」語彙力を前提に積極的に会話練習を行う * わかりやすく導入するために例文提示と例文作成を行う						
到達目標	1. JLPTN1合格を目指す 2. 正しい接続詞の使い方を学び、実際に使えるようにする 3. 実際に使える語彙を増やす 読める漢字を増やす						
評価方法と基準	1・前期 期末試験の得点 2・N1レベル文法の習得度 N1レベル語彙の実践問題 正解率 3・出席率 授業態度 以上を基準として総合的に評価する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	N1文法 導入文型 ～ともなく ～もさることながら ～に即した ～を思い他にない 例文作成、会話練習 N1相手に対応する語彙	報いる 用心する 勘違い などの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
2		講義・演習	N1文法 導入文型 ～までもなく ～いかに ～とは言えないまでも ～とい～とい 例文作成、会話練習 N1将来未来の語彙	果てしなく 遠からず 粘り強く などの語彙を使う状況を考え 例文作成 読解問題宿題
3		講義・演習	N1文法 導入文型～のをいいことに ～にもほどがある ～ならまだしも ～以前の 例文作成、会話練習 N1物に働かせる語彙	活性化 正常化 目に見えて などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
4		講義・演習	N1文法 導入文型 ～たら～たで ～ようものなら ～ならいざしらず ～にこしたことはない 例文作成、会話練習 N1経済の語彙	不況 不振 盛況などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
5		講義・演習	N1文法 導入文型～とはいえ ～といったところだ ～に～ない ～にかこつけて 例文作成、会話練習 N1仕事の語彙	打ち込んでいる 立て込んでいる 乗り切る などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
6		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 語彙	文法例文作成 + 読解問題宿題
7		講義・演習	N1模擬試験問題 語彙 漢字	語彙例文作成 + 読解問題宿題
8		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 漢字	文法例文作成 + 読解問題宿題
9		講義・演習	N1試験対策	レポート提出
10		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	レポート提出
11		講義・演習	インターンシップ② プロフィールシート作成	〈課題〉資料作成
12		講義・演習	企業に入ってからのこと。OB OGIに聞きたいこと。	レポート提出
13		講義・演習	1年のまとめをプレゼンテーションする。	レポート提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
『外国人留学生のための就活ガイド』				

科目名	韓国語Optional(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	徐慧精
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) ハングルの表記を覚える。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、目標設定	プリントで練習する。
2		講義・演習	基本母音を知る。	書く練習と発音の練習をする。
3		講義・演習	子音 + 母音 の組み合わせを読む。	書く練習と単語を覚える。
4		講義・演習	激音について	書く練習と発音の練習をする。
5		講義・演習	濃音について	書く練習と発音の練習をする。
6		講義・演習	バッチム	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
7		講義・演習	合成母音	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
8		講義・演習	発音の変化	発音の練習をする。
9		講義・演習	簡単な会話	会話の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	単語や簡単な会話を覚える。
11		講義・演習	-입니다 / -입니까?	文章を作る練習をする。
12		講義・演習	韓国語で自己紹介をする。	自己紹介を書く。
13		講義・演習	発表会と話し合い	聴いて書く。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅰ & ワークブック、プリント。				

科目名	韓国語Optional(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	徐慧精
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習をする。	プリントでの復習。
2		講義・演習	-이 / 가 아닙니다.	否定文の練習をする。
3		講義・演習	職業について	会話の練習をする。
4		講義・演習	部屋の中を観察してみよう。	新しい単語を学ぶ。
5		講義・演習	簡単な質問ができる。	相手の話を聞いて返答をする。
6		講義・演習	家族関係が分かる。	文章を作る。授業内容の復習をする。
7		講義・演習	地名や場所名を覚える。	プリントで単語を覚える。
8		講義・演習	約束について会話する。	会話の練習をする。
9		講義・演習	位置に関する説明ができる。	作文の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	復習をする。
11		講義・演習	動画をみて見よう。	聴いて書く練習をする。
12		講義・演習	学んだ単語を確認しよう。	学んだ単語の復習をする。
13		講義・演習	一年間を振り返る。	会話の練習をする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅰ & ワークブック、プリント。				

科目名	プリプロダクションゼミ(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝守理
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	実際にクライアントさんから発注を頂いた案件を少人数のグループを組み試行錯誤しながら政策を進めていき作品を完成させる。						
到達目標	発注を頂いたクライアントさんからの採用をコンペで勝ち取る作品を作る。その過程の中で今の音楽業界で本当に必要とされる制作能力、プロデュース能力、作曲能力、作詞能力、編曲能力、グループワークの実践力、コミュニケーション能力、などを身につける。						
評価方法と基準	3回のコンペの成績(優勝、準優勝、佳作、提出、未提出)+夏休み課題提出の合計点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容ガイダンス、第1クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2		講義・演習	第1クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3		講義・演習	第1クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
4		講義・演習	第1クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
5		講義・演習	第1クールコンペ、第2クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
6		講義・演習	第2クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
7		講義・演習	第2クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
8		講義・演習	第2クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
9		講義・演習	第2クールコンペ、第3クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
10		講義・演習	第3クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
11		講義・演習	第3クール実習2	コンペに向けて録音、ミックス、マスタリング作業
12		講義・演習	第3クールコンペ、夏休み課題発注、チーム分け	夏休み課題制作
13		講義・演習	夏休み課題発表	作品の管理とまとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に取り組む	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プリプロダクションゼミ(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝守理
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	実際にクライアントさんから発注を頂いた案件を少人数のグループを組み試行錯誤しながら政策を進めていき作品を完成させる。						
到達目標	発注を頂いたクライアントさんからの採用をコンペで勝ち取る作品を作る。その過程の中で今の音楽業界で本当に必要とされる制作能力、プロデュース能力、作曲能力、作詞能力、編曲能力、グループワークの実践力、コミュニケーション能力、などを身につける。						
評価方法と基準	3回のコンペの成績(優勝、準優勝、佳作、提出、未提出)+春休み課題提出の合計点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	第4クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2		講義・演習	第4クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3		講義・演習	第4クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
4		講義・演習	第4クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
5		講義・演習	第4クールコンペ、第5クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
6		講義・演習	第5クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
7		講義・演習	第5クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
8		講義・演習	第5クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
9		講義・演習	第5クールコンペ、第6クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
10		講義・演習	第6クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
11		講義・演習	第6クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
12		講義・演習	第6クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
13		講義・演習	第6クールコンペ、春休み課題発注、チーム分け	作品の管理とまとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に取り組む	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Broadway seminar advance(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	齊藤早春
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ミュージカルで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではミュージカルにおける基礎とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	ミュージカルで活躍していく為に必要な基礎とそのスキルを習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。	
2		講義・演習	イントネーションテクニックをを理解し実践できる。	イントネーションテクニックを理解し理解し動画にまとめる。	
3		講義・演習	即興演奏の基礎を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。	
4		講義・演習	ポエムを理解し実践できる。	ポエムを理解し動画にまとめる。	
5		講義・演習	ポエムで発声のやり方を理解し実践できる。	ポエムで発声のやり方を理解し動画にまとめる。	
6		講義・演習	即興演奏の基礎を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。	
7		講義・演習	リード曲のミュージカル研究を理解し実践できる。	リード曲のミュージカル研究を理解し動画にまとめる。	
8		講義・演習	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。	
9		講義・演習	ポエムを理解し実践できる。	ポエムを理解し動画にまとめる。	
10		講義・演習	ポエムで発声のやり方を理解し実践できる。	ポエムで発声のやり方を理解し動画にまとめる。	
11		講義・演習	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。	
12		講義・演習	より高度な即興演奏を理解し実践できる。 ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。 ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。	
13		講義・演習	発表会の流れで練習し実践する。	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			ミュージカルで必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Broadway seminar advance(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	齊藤早春
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ミュージカルで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではミュージカルにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	ミュージカルで活躍していく為に応用とそのスキルを習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
2		講義・演習	高度なイントネーションテクニックを理解し実践できる。	イントネーションテクニックを理解し理解し動画にまとめる。
3		講義・演習	高度な即興演奏を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。
4		講義・演習	より深いポエムを理解し実践できる。	ポエムを理解し動画にまとめる。
5		講義・演習	より深いポエムで発声のやり方を理解し実践できる。	ポエムで発声のやり方を理解し動画にまとめる。
6		講義・演習	高度な即興演奏を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。
7		講義・演習	高度なリード曲のミュージカル研究を理解し実践できる。	リード曲のミュージカル研究を理解し動画にまとめる。
8		講義・演習	応用のストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
9		講義・演習	応用のポエムを理解し実践できる。	ポエムを理解し動画にまとめる。
10		講義・演習	応用のポエムで発声のやり方を理解し実践できる。	ポエムで発声のやり方を理解し動画にまとめる。
11		講義・演習	応用のストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
12		講義・演習	より高度な即興演奏を理解し実践できる。 ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。 ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
13		講義・演習	発表会の流れで練習し実践する。	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ミュージカルで必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイティブワークショップ(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	金子勝洋
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業は、音楽理論の基礎を学びながら小作品を制作、発表する。それらを通して、ミュージシャンとしての基礎力向上と、自己表現力を育むことを目標としている。ヴォーカリストは耳を使って音楽をすることに長けており、音楽理論に触れる機会が少ない傾向にある。そのため、創作を通して、音楽理論やハーモニー楽器に触れて、広い視野で音楽を理解する力を養う。そして、他人の評価に挫けたり、全てを委ねてしまうことなく、自らの表現を恐れずに発信できるミュージシャンへと成長することを促す。						
到達目標	①小作品の制作を通して、音楽理論の基礎をより深く理解する。②自分の制作の経緯、意図、想いを言語化し発表する。③授業外で時間の調整を行い、多様なスケジュールの下でも、課題を期日までに創る。④定期的なプレゼンテーションを通して、自分の作品が他者の目に晒されることの緊張や不快感と向き合い、自分らしい対処法を見つける。⑤0から1を創る経験を通して、身の回りにある音楽に対して、尊ぶ気持ちを養う。						
評価方法と基準	①1学期を通して、最低3回のプレゼンテーションを行う。②学期末に1コーラス以上の作品を提出する。③授業が全ての生徒にとってセーフスペースになるよう貢献する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業の概要説明、イントロダクション	課題制作
2		講義・演習	インターバルの復習、Top Liningの実践	課題制作
3		講義・演習	テスト、Show vs Tellを理解する	課題制作
4		講義・演習	トライアドコードの復習、比喩のgroup work	課題制作
5		講義・演習	7thコードの復習、ここまでのまとめの小作曲	課題制作
6		講義・演習	メジャーコード、ワンコードの作曲	課題制作
7		講義・演習	マイナーコード、ワンコードの作曲2	課題制作
8		講義・演習	メジャーコード進行を作って小作曲	課題制作
9		講義・演習	マイナーコード進行を作って小作曲	課題制作
10		講義・演習	キーカラーを理解し小作曲	課題制作
11		講義・演習	期末課題に向けてQ&A	期末課題制作
12		講義・演習	作品提出、期末課題プレゼン1	期末課題制作
13		講義・演習	期末課題プレゼン2	期末課題制作
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
The Songwriter' s Workshop Melody, Harmony, Writing Better Lyrics, コード理論大全				

科目名	クリエイティブワークショップ(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	金子勝洋
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業は、音楽理論の基礎を学びながら小作品を制作、発表する。それらを通して、ミュージシャンとしての基礎力向上と、自己表現力を育むことを目標としている。ヴォーカリストは耳を使って音楽をすることに長けており、音楽理論に触れる機会が少ない傾向にある。そのため、創作を通して、音楽理論やハーモニー楽器に触れて、広い視野で音楽を理解する力を養う。そして、他人の評価に挫けたり、全てを委ねてしまうことなく、自らの表現を恐れずに発信できるミュージシャンへと成長することを促す。						
到達目標	①小作品の制作を通して、音楽理論の基礎をより深く理解する。②自分の制作の経緯、意図、想いを言語化し発表する。③授業外で時間の調整を行い、多様なスケジュールの下でも、課題を期日までに創る。④定期的なプレゼンテーションを通して、自分の作品が他者の目に晒されることの緊張や不快感と向き合い、自分らしい対処法を見つける。⑤0から1を創る経験を通して、身の回りにある音楽に対して、尊ぶ気持ちを養う。						
評価方法と基準	①1学期を通して3～4回以上プレゼンをする(回数はクラスによって異なる)②学期末にオリジナル曲をパフォーマンスする。③授業が全ての生徒にとってセーフスペースになるよう貢献する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	理論 テーマ作曲1 曲のトーン	課題制作
2		講義・演習	理論 Q&A	作品原案
3		講義・演習	テーマ作曲1プレゼンテーション	課題制作
4		講義・演習	理論 テーマ作曲2 韻を使った作詞	作品原案
5		講義・演習	理論 Q&A	課題制作
6		講義・演習	テーマ作曲2プレゼンテーション	課題制作
7		講義・演習	理論 テーマ作曲3 New Point of View	課題制作
8		講義・演習	理論 Q&A	作品原案
9		講義・演習	テーマ作曲3プレゼンテーション	課題制作
10		講義・演習	期末パフォーマンスについて	作品の完成
11		講義・演習	Q&A	作品の完成
12		講義・演習	プレゼンテーション group1 パフォーマンス	プレゼンテーション準備
13		講義・演習	プレゼンテーション group2 パフォーマンス	プレゼンテーション準備
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
The Songwriter's Workshop Melody, Harmony, Writing Better Lyrics, コード理論大全				

科目名	アーティストセルフプロデュース(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	上野新
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	サブスク・SNS・AIの進化により、現在のアーティストに必要とされているのは「自己発信力」=「セルフプロデュース能力」です。コンテンツ(楽曲など)のリリースを通して、セルフプロデュース能力を養うことがこの授業の目的です。学生の皆さんと一緒にアイデアを出し合いながら、①実践編として、学生の皆さんの「コンテンツ創り」のさらなる活性化をサポートし、その創ったコンテンツをリリース。そしてそのコンテンツのヒットを目指します。また、②座学編として、アーティスト活動を行なうために必要な知識を学びます(SNS/YouTube/サブスクの活用方法、著作権印税/原盤印税/アーティスト印税などの権利周り、ライブビジネス、グッズビジネス、ファンクラブビジネス、商標登録など)。数多くの新たなエンタメツールが生まれる中、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからのセルフプロデュースの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	コンテンツ発表を通して自らをヒットさせる アーティスト活動を行なうために必要な知識の習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 …出席率 …それぞれのキャラクターを大事にした能動的アティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション	好きなアーティストの活動(SNS・発信)を調べる
2		講義・演習	コンテンツ創りサポート/自分のアーティスト資料作成	自分の強み・好きな音楽を整理する
3		講義・演習	コンテンツ創りサポート/自分のアーティスト資料作成	参考にしたいアーティストを1組分析
4		講義・演習	コンテンツ創りサポート/活動プラン作成	将来やりたい活動を簡単に書き出す
5		講義・演習	コンテンツ創りサポート/活動プラン作成	ターゲット(誰に届けたいか)を考える
6		講義・演習	コンテンツ創りサポート/宣伝プラン作成	SNSで気になる投稿を保存・分析
7		講義・演習	コンテンツ創りサポート/宣伝プラン作成	発信内容(動画・画像)アイデアを考える
8		講義・演習	コンテンツ創りサポート/SNSの活用方法①	自分がよく使うSNSの特徴を整理
9		講義・演習	コンテンツ創りサポート/YouTube・サブスクの活用方法①	好きな動画・配信コンテンツの工夫を見る
10		講義・演習	コンテンツ創りサポート/CDやサブスクでいくら儲かるの? -1(権利ビジネス)	音楽の収益方法を調べる
11		講義・演習	コンテンツ創りサポート/CDやサブスクでいくら儲かるの? -2(権利ビジネス)	著作権・配信について調べる
12		講義・演習	音源発表	発表用コンテンツを整理する
13		講義・演習	振り返り	自分の活動を振り返りメモする
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アーティストセルフプロデュース(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	上野新
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	サブスク・SNS・AIの進化により、現在のアーティストに必要とされているのは「自己発信力」「セルフプロデュース能力」です。コンテンツ(楽曲など)のリリースを通して、セルフプロデュース能力を養うことがこの授業の目的です。学生の皆さんと一緒にアイデアを出し合いながら、①実践編として、学生の皆さんの「コンテンツ創り」のさらなる活性化をサポートし、その創ったコンテンツをリリース。そしてそのコンテンツのヒットを目指します。また、②座学編として、アーティスト活動を行なうために必要な知識を学びます(SNS/YouTube/サブスクの活用方法、著作権印税/原盤印税/アーティスト印税などの権利周り、ライブビジネス、グッズビジネス、ファンクラブビジネス、商標登録など)。数多くの新たなエンタメツールが生まれる中、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからのセルフプロデュースの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	コンテンツ発表を通して自らをヒットさせる アーティスト活動を行なうために必要な知識の習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・それぞれのキャラクターを大事にした能動的アティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	コンテンツ創りサポート/活動プラン作成	自分の活動目標(半年～1年)を書き出す
2		講義・演習	コンテンツ創りサポート/活動プラン作成	理想の活動スケジュールを簡単に考える
3		講義・演習	コンテンツ創りサポート/宣伝プラン作成	SNSで伸びている投稿を3つ調べる
4		講義・演習	コンテンツ創りサポート/宣伝プラン作成	自分が発信したい内容をリスト化
5		講義・演習	コンテンツ創りサポート/ファンクラブビジネス	好きなアーティストのファンクラブ内容を調べる
6		講義・演習	コンテンツ創りサポート/グッズビジネス	アーティストグッズの種類や価格を調べる
7		講義・演習	コンテンツ創りサポート/登録商標	アーティスト名・ロゴの重要性を考える
8		講義・演習	コンテンツ創りサポート/出演料の計算方法	ライブ出演の仕組み(チケット・ギャラ)を調べる
9		講義・演習	コンテンツ創りサポート/ライブ制作	好きなライブ映像を見て構成を分析する
10		講義・演習	コンテンツ創りサポート/海外進出の仕方	海外で活動しているアーティストを調べる
11		講義・演習	音源発表	自分の作品(音源・動画)を整理する
12		講義・演習	振り返り	授業で学んだことをメモにまとめる
13		講義・演習	今後のエンタメビジネス	音楽業界の今後について気になるニュースを調べる
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントセルフプロデュース(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	上野新
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	サブスク・SNS・AIの進化により、現在のアーティストに必要とされているのは「自己発信力」=「セルフプロデュース能力」です。 イベント制作を通してセルフプロデュース能力を養うことがこの授業の目的です。 完全実践編として、学生の皆さん自らが自らをプロデュースするイベントを開催。 自らが出演しながらイベントの企画制作・宣伝・運営のすべてを学生の皆さんが行ない、イベントの成功と自らのヒットを目指します。 数多くの新たなエンタメツールが生まれる中、音楽業界は大きな転換期にあります。 過去に囚われないこれからのイベントセルフプロデュースの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	自らが出演するイベントの企画制作・宣伝・運営を通して、イベント＆自らをヒットさせる						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・それぞれのキャラクターを大事にした能動的アティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション	印象に残っているイベントを1つ思い出し内容を振り返る
2		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	やってみたいイベントのアイデアを3つ出す
3		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	ターゲット(誰向けか)を考える
4		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	イベントの目的(何を達成したいか)を整理する
5		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / SNS活用方法	集客が多いSNS投稿を調べる
6		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / YouTube活用方法	イベント動画やライブ映像を視聴する
7		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / サブスク活用方法	配信イベントやアーティスト事例を調べる
8		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / 宣伝プラン作成	告知方法(SNS・チラシ等)を考える
9		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / 宣伝プラン作成	投稿内容やスケジュールを考える
10		講義・演習	イベント開催に向けての準備	イベントに必要な要素(場所・人・機材)を書き出す
11		講義・演習	イベント開催に向けての準備	当日の流れ(タイムテーブル)を想像してみる
12		講義・演習	イベント開催(仮)	自分の役割や動きを整理する
13		講義・演習	振り返り	イベントの良かった点・改善点をまとめる
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントセルフプロデュース(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	上野新
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	サブスク・SNS・AIの進化により、現在のアーティストに必要とされているのは「自己発信力」=「セルフプロデュース能力」です。 イベント制作を通してセルフプロデュース能力を養うことがこの授業の目的です。 完全実践編として、学生の皆さん自らが自らをプロデュースするイベントを開催。 自らが出演しながらイベントの企画制作・宣伝・運営のすべてを学生の皆さんが行ない、イベントの成功と自らのヒットを目指します。 数多くの新たなエンタメツールが生まれる中、音楽業界は大きな転換期にあります。 過去に囚われないこれからのイベントセルフプロデュースの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	自らが出演するイベントの企画制作・宣伝・運営を通して、イベント＆自らをヒットさせる						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・それぞれのキャラクターを大事にした能動的アティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	興味のあるイベントを3つ挙げて内容を調べる
2		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	自分がやりたいイベントの方向性を決める
3		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	ターゲット(誰向けか)を具体化する
4		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	イベントの目的(何を達成したいか)を整理
5		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	イベント内容(ライブ・企画など)を考える
6		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	似たイベントと差別化できる点を考える
7		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	必要な要素(場所・出演者・機材)を書き出す
8		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / 宣伝プラン作成	SNSで集客が成功している事例を調べる
9		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / 宣伝プラン作成	告知投稿の内容アイデアを考える
10		講義・演習	イベント開催に向けての準備	当日の流れ(タイムテーブル)を想像する
11		講義・演習	イベント開催に向けての準備	自分の役割や動きを整理する
12		講義・演習	イベント開催(仮)	不安点や課題を事前書き出す
13		講義・演習	振り返り	イベント成功の条件を自分なりにまとめる
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	オーケストレーション (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	大貫和紀
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	2年時に履修した「インストゥルメンテーション」で学習した管弦打楽器の各種楽器についての理解をもとに、1年を通してビッグバンドとオーケストラのためのラージアンサンブルのための書法、そしてDAWでの制作における生楽器とサウンドデザイン(シンセや様々なFX)の素材とのハイブリッドな音の構造にも領域を広げていきます。前期では主にポップスやジャズにおけるブラスアンサンブル(2管編成～ビッグバンドまで)のスコアをひもときながら、基礎的な書法を学習し自己の作編曲作品にいかしていきます。						
到達目標	各種金管楽器の特性、アーティキュレーションについて理解がある。 コードネームから様々なボイスイングと、メロディラインを作る知識がある。 小編成(2～5管編成)のブラスアレンジができる。 ビッグバンドの基礎的な書法の理解があり、簡単なアレンジができる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	今後の授業の予定とガイダンス。インストゥルメンテーションとの違い、オーケストレーションの意義の確認。	今後の授業の予定とガイダンス。インストゥルメンテーションとの違い、オーケストレーションの意義の確認。振り返りと自習	
2		講義・演習	コードとスケールの理論、トランペット、トロンボーン、サクソ各種の楽器法、リズムセクションの書法をスコアで確認。	コードとスケールの理論、トランペット、トロンボーン、サクソ各種の楽器法、リズムセクションの書法をスコアで確認。振り返りと自習	
3		講義・演習	ユニゾンとハーモニーについて考察。ユニゾン、オクターブユニゾンによる楽器の重なりから音色の変化を感じ取ることができる。	ユニゾンとハーモニーについて考察。ユニゾン、オクターブユニゾンによる楽器の重なりから音色の変化を感じ取ることができる。振り返りと自習	
4		講義・演習	ハーモニーについての考察① 2～3管編成におけるアレンジのバリエーションと、ボイスイングの理解がある。	ハーモニーについての考察① 2～3管編成におけるアレンジのバリエーションと、ボイスイングの理解がある。振り返りと自習	
5		講義・演習	ハーモニーについての考察② 4～5管編成におけるアレンジのバリエーションと、ボイスイングの理解がある。	ハーモニーについての考察② 4～5管編成におけるアレンジのバリエーションと、ボイスイングの理解がある。振り返りと自習	
6		講義・演習	ビッグバンドにおけるトランペットセクションの書法について考察。そのアレンジ、ボイスイングについて基礎理解がある。	ビッグバンドにおけるトランペットセクションの書法について考察。そのアレンジ、ボイスイングについて基礎理解がある。振り返りと自習	
7		講義・演習	ビッグバンドにおけるトロンボーンセクションの書法について考察。そのアレンジ、ボイスイングについて基礎理解がある。	ビッグバンドにおけるトロンボーンセクションの書法について考察。そのアレンジ、ボイスイングについて基礎理解がある。振り返りと自習	
8		講義・演習	ビッグバンドにおける8ブラス(トランペットとトロンボーン)について考察。そのアレンジ、ボイスイングについて基礎理解がある。	ビッグバンドにおける8ブラス(トランペットとトロンボーン)について考察。そのアレンジ、ボイスイングについて基礎理解がある。振り返りと自習	
9		講義・演習	ビッグバンドにおけるサクソセクションの書法について考察。そのアレンジ、ボイスイングについて基礎理解がある。	ビッグバンドにおけるサクソセクションの書法について考察。そのアレンジ、ボイスイングについて基礎理解がある。振り返りと自習	
10		講義・演習	ビッグバンドにおけるフルアンサンブルの書法について考察。そのアレンジ、ボイスイングについて基礎理解がある。	ビッグバンドにおけるフルアンサンブルの書法について考察。そのアレンジ、ボイスイングについて基礎理解がある。振り返りと自習	
11		講義・演習	スコアリーディング① ビッグバンドの作品分析、そのアレンジやボイスイングについて理解がある。	スコアリーディング① ビッグバンドの作品分析、そのアレンジやボイスイングについて理解がある。振り返りと自習	
12		講義・演習	スコアリーディング② ビッグバンドの作品分析、そのアレンジやボイスイングについて理解がある。	試験準備	
13		講義・演習	これまで学習したビッグバンドの基礎的な処方について確認する試験を実施するとともに、アレンジ作品の提出。	テスト	
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	オーケストレーション (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	大貫和紀
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	前期に学習したプラスアンサンプルの知識と理解のうえに、後期では主にクラシックのオーケストラスコアをひもときながら、オーケストレーションの基礎的な書法を学習するとともに、ポップス、劇版、サウンドデザインなどのジャンルにおいてDAWでのハイブリッドなオーケストレーションを作品に反映できることを目指します。						
到達目標	木管楽器と弦楽器、打楽器の特性、アーティキュレーションについて理解がある。 コードネームから様々なボイシングと、メロディラインを作る知識がある。 オーケストラの書法について基礎的な理解があり、譜面を書くことができる。 DAWでのオーケストラサウンド、サウンドデザイン要素とのハイブリッドな作品を制作できる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	クラシック、フィルムスコア、サウンドデザインの作品をひもときながら、オーケストレーションの意義と学習についてディスカッション。	クラシック、フィルムスコア、サウンドデザインの作品をひもときながら、オーケストレーションの意義と学習についてディスカッション。振り返りと自習	
2		講義・演習	弦楽器各種の楽器法についてふりかえり、書法をスコアで確認。	弦楽器各種の楽器法についてふりかえり、書法をスコアで確認。振り返りと自習	
3		講義・演習	弦楽器のボイシング、アレンジについて考察、その理解をもとにサウンドの分析ができる。	弦楽器のボイシング、アレンジについて考察、その理解をもとにサウンドの分析ができる。振り返りと自習	
4		講義・演習	金管楽器各種の楽器法についてふりかえり、オーケストラにおける書法をスコアで確認。	金管楽器各種の楽器法についてふりかえり、オーケストラにおける書法をスコアで確認。振り返りと自習	
5		講義・演習	金管楽器のボイシング、アレンジについて考察、その理解をもとにサウンドの分析ができる。	金管楽器のボイシング、アレンジについて考察、その理解をもとにサウンドの分析ができる。振り返りと自習	
6		講義・演習	パーカッション各種の楽器法についてふりかえり、オーケストラにおける書法をスコアで確認。	パーカッション各種の楽器法についてふりかえり、オーケストラにおける書法をスコアで確認。振り返りと自習	
7		講義・演習	パーカッションのアレンジについて考察、その理解をもとにサウンドの分析ができる。	パーカッションのアレンジについて考察、その理解をもとにサウンドの分析ができる。振り返りと自習	
8		講義・演習	木管各種の楽器法についてふりかえり、オーケストラにおける書法をスコアで確認。	木管各種の楽器法についてふりかえり、オーケストラにおける書法をスコアで確認。振り返りと自習	
9		講義・演習	木管楽器のアレンジについて考察、その理解をもとにサウンドの分析ができる。	木管楽器のアレンジについて考察、その理解をもとにサウンドの分析ができる。振り返りと自習	
10		講義・演習	サウンドデザインの考察① 生楽器以外のシンセやサウンドFXの素材について知識と理解があり、曲中でのサウンド分析ができる。	サウンドデザインの考察① 生楽器以外のシンセやサウンドFXの素材について知識と理解があり、曲中でのサウンド分析ができる。振り返りと自習	
11		講義・演習	サウンドデザインの考察② オーケストラサウンドとサウンドデザイン素材とのハイブリッドなサウンドの分析ができる。	サウンドデザインの考察② オーケストラサウンドとサウンドデザイン素材とのハイブリッドなサウンドの分析ができる。振り返りと自習	
12		講義・演習	サウンドデザインの考察③ サウンドデザインの素材のみで作られたトラックの分析ができる。	試験準備	
13		講義・演習	これまで学習したオーケストラの基礎的な処方について確認する試験を実施するとともに、アレンジ作品の提出。	テスト	
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	サウンドプロデュース (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	今関 邦裕
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ミキシングの基礎知識、応用、ミキシングの観点からアレンジやレコーディングの重要性を学ぶ。作曲コースのコンペ授業での反省とアドバイス、実演を交えてミキシングによる伝え方を学ぶ。ジャンルという枠にとらわれず、音楽の聴き方を学び様々な音楽に触れる。						
到達目標	楽曲の在り方をミキシングの視点から感じる。 楽曲が伝えたい事を作り手の立場になって一・制作者になる。楽曲が持つ可能性を広げる。						
評価方法と基準	1)授業態度・姿勢100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	スタジオワークでの作法① ミックスルーティングの作り方①	授業内で扱うためのパラデータ作成
2		講義・演習	スタジオワークでの作法② ミックスルーティングの作り方②	授業内で扱うためのパラデータ作成
3		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践1	授業内で扱うためのパラデータ作成
4		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践2	授業内で扱うためのパラデータ作成
5		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践3	授業内で扱うためのパラデータ作成
6		講義・演習	マスタリング基礎	授業内で扱うためのパラデータ作成
7		講義・演習	マスタリング応用	授業内で扱うためのパラデータ作成
8		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践4	授業内で扱うためのパラデータ作成
9		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践5	授業内で扱うためのパラデータ作成
10		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践6	授業内で扱うためのパラデータ作成
11		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践7	授業内で扱うためのパラデータ作成
12		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践8	授業内で扱うためのパラデータ作成
13		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践9	授業内で扱うためのパラデータ作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	サウンドプロデュース (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	今関 邦裕
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ミキシングの基礎知識、応用、ミキシングの観点からアレンジやレコーディングの重要性を学ぶ。作曲コースのコンペ授業での反省とアドバイス、実演を交えてミキシングによる伝え方を学ぶ。ジャンルという枠にとらわれず、音楽の聴き方を学び様々な音楽に触れる。						
到達目標	楽曲の在り方をミキシングの視点から感じる。 楽曲が伝えたい事を作り手の立場になって一・制作者になる。楽曲が持つ可能性を広げる。						
評価方法と基準	1)授業態度・姿勢100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践10	授業内で扱うためのパラデータ作成
2		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践11	授業内で扱うためのパラデータ作成
3		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践12	授業内で扱うためのパラデータ作成
4		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践13	授業内で扱うためのパラデータ作成
5		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践14	授業内で扱うためのパラデータ作成
6		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践15	授業内で扱うためのパラデータ作成
7		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践16	授業内で扱うためのパラデータ作成
8		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践17	授業内で扱うためのパラデータ作成
9		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践18	授業内で扱うためのパラデータ作成
10		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践19	授業内で扱うためのパラデータ作成
11		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践20	授業内で扱うためのパラデータ作成
12		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践21	授業内で扱うためのパラデータ作成
13		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践22	授業内で扱うためのパラデータ作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ネットアーティスト ゼミ A (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	蒔万澤倫 子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	VTuberやVsingerとして配信活動を行うにあたっての実践的な内容と戦い方、心構えなどを学んでもらいます。伝達方法の違いはあれど、発信者として必要不可欠となってくる、機材、ソフトウェアの知識とリスナーの付け方と接し方、そして、メンタルの強さを養うのが目的です。レッドオーシャンと化した配信界を舞台に、その中でも外でも折れない心を持ち1人歩いていく力を身につけていきます。						
到達目標	継続する力、諦めない心を身につける。配信の基礎的知識を身につける。自身の向き不向きを知り、それに合わせた戦い方が出来るようになる。						
評価方法と基準	小テスト 50% レポート50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介 オリエンテーション	匿名アーティストとしての「名前」「キャラ設定」「自己紹介文」を作成し提出(200～300字)
2		講義・演習	配信の基本の基本	好きなVTuberまたは配信者1人を選び、活動スタイルや工夫をまとめたレポート(A4 1枚)提出
3		講義・演習	VTuberの基礎知識	自分のVTuber像(性格・設定・声質など)を整理した「キャラクター設計シート」を作成
4		講義・演習	VTubeスタジオ実習①	VTube Studioでの立ち上げ／基本操作画面のスクショと操作感の感想を提出
5		講義・演習	VTubeスタジオ実習②	表情／動きのバリエーションを研究し、「配信で使いたい動きTOP3」を動画 or シートでまとめて提出
6		講義・演習	LIVE2Dの基礎知識	LIVE2Dの構造や使われ方について調べ、「自分の理想キャラの表情・動き案」提出(ラフ画OK)
7		講義・演習	配信準備① プラットフォームと立ち絵	配信する予定プラットフォームの比較表を作成(2～3種類)＋使いたい理由を書く
8		講義・演習	配信準備② デビューまでにやると良いこと	「VTuberデビュー準備チェックリスト(15項目)」を作成し提出
9		講義・演習	配信準備③ 機材・PCについて	自分が使う(または理想の)配信機材・PC環境のスペック表を作成
10		講義・演習	配信技術① 話題 雑談 話し方	雑談配信の台本(3分想定)を作成し、音声収録して提出(mp3形式など)
11		講義・演習	配信技術②ゲーム配信 歌枠 企画枠	「やってみたい配信枠」の企画シート(内容・時間・準備・サムネ案)を作成
12		講義・演習	配信技術③リスナーさんとの関わり方	コメント返しの練習として「リスナーの想定コメント」に対して返答文を10パターン作成
13		講義・演習	配信技術④収益化 職業ライバー	「収益化までのステップ表」を作成し、月1～3年の目標を数字で記入したプラン表を提出
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ネットアーティスト ゼミ A (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	蒔万澤倫子
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	VTuberやVsingerとして配信活動を行うにあたっての実践的な内容と戦い方、心構えなどを学んでもらいます。伝達方法の違いはあれど、発信者として必要不可欠となってくる、機材、ソフトウェアの知識とリスナーの付け方と接し方、そして、メンタルの強さを養うのが目的です。レッドオーシャンと化した配信界を舞台に、その中でも外でも折れない心を持ち1人歩いていく力を身につけていきます。						
到達目標	継続する力、諦めない心を身につける。配信の基礎的知識を身につける。自身の向き不向きを知り、それに合わせた戦い方が出来るようになる。						
評価方法と基準	小テスト 50% レポート50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り・後期の内容オリエンテーション	前期で制作した要素を振り返り、「今後の目標3つ」と「強化したいこと1つ」を記入して提出
2		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio使い方 仕組み	自宅または学校PCでOBSを立ち上げ、スクリーンショット付きの「操作レポート」を作成(基本設定・映像・音声)
3		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio 応用 プラグイン	実際に入れてみたいプラグイン1つを選び、使い方・用途をA4 1枚にまとめる(日本語可)
4		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio 配信画面の作り方	自分の配信用シーン構成を考え、シーン図(またはスライド)を提出(シーン名・用途・素材構成など)
5		講義・演習	配信者兼クリエイターのすすめ①	「歌・絵・動画・文章など、自分ができるorやってみたい表現」について1つ選び、具体例と実施方法をまとめる
6		講義・演習	配信者兼クリエイターのすすめ②	週1〜2で続けられそうな配信や投稿プランを立て、「1ヶ月スケジュール表」を提出
7		講義・演習	外部依頼・クリエイターとの関わり方	「他者にイラストや楽曲を依頼するときの連絡文」をテンプレート形式で作成(依頼目的・報酬・締切など)
8		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism① 基礎	Cubismをインストール(または動画視聴)し、機能の感想や気づきを記入して提出
9		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism② 角度と動き	モデリング用の「正面→左右の顔向きラフ案」を紙またはデジタルで作成・提出(簡易でOK)
10		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism③顔のパーツ	顔パーツ(目・口・眉)の動き案(分割・動き方・イメージ)をスライドまたは図解で提出
11		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism④ 体のパーツ	上半身または腕の動き案と、どの動きにどの用途があるかをセットで資料にして提出
12		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism⑤ 物理演算と機能	「髪」「アクセサリ」など、物理演算で動かしたい部分の演出案をスライドで作成・提出
13		講義・演習	総まとめ これまでの学習を踏まえて	自分の「VTuber活動企画書」(A4スライド5〜10枚程度)を作成して最終発表(匿名・仮想キャラでもOK)
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリアデザイン (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト(枠組みの大転換)に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日の話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。						
到達目標	講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日の話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、講義の目的や達成レベルを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
2		講義・演習	マーケティング基礎 その1 "4つのP"を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
3		講義・演習	マーケティング基礎 その2 "STP"を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
4		講義・演習	マーケティング基礎 その3 "3C分析"を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
5		講義・演習	戦略的情報発信 広報(PR)を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
6		講義・演習	イノベーションを起こす"デザイン思考"を身に着ける	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
7		講義・演習	飲食ビジネスの仕組みを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
8		講義・演習	成功企業の事例解説(ファッションブランド)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
9		講義・演習	成功企業の事例解説(エンターテインメント企業)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
10		講義・演習	成功企業の事例解説(興行ビジネス)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
11		講義・演習	情報爆発時代のメディアリテラシーを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
12		講義・演習	試験・レポート課題	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
13		講義・演習	これまでの授業のまとめ、質問と回答	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。				

科目名	キャリアデザイン (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト(枠組みの大転換)に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日の話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。						
到達目標	講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日の話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	デジタルマーケティングを学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
2		講義・演習	パラダイムシフトにおける”アート思考”を理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
3		講義・演習	アート系エンターテインメント施設訪問	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
4		講義・演習	事例解説／アート系エンターテインメント施設の運営	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
5		講義・演習	商品開発のビジネスモデルを学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
6		講義・演習	広告実務と広告代理店の機能を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
7		講義・演習	エンタメビジネスに必須のスポンサー制度を理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
8		講義・演習	SDGsのビジネス展開を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
9		講義・演習	Society 5.0 未来社会の展望を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
10		講義・演習	企業研究の手法を事例で学ぶ(食品会社)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
11		講義・演習	企業研究の手法を事例で学ぶ(ファッションブランド)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
12		講義・演習	試験・レポート課題	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
13		講義・演習	これまでの授業のまとめ、質問と回答	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。				

科目名	Global Communication (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	池末信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	be動詞(am, are)を使って自己紹介(国籍や出身)する、または出身地を尋ねる会話を練習する、疑問代名詞(who)を使って自分の個人情報を尋ねる、個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	新しい人に出会う」 be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	be動詞(are)を使って家族構成について話す、be動詞の否定文を使って、家族や居住地について説明する	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak: 前期発表	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Global Communication (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	池末信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「現在進行形」肯定文を使って、家事や自宅での行動について話す 「現在進行形」疑問文を使って、旅行について質問する、または答える	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	電話で情報を共有する会話を練習する、今起こっていることについてのブログを読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「最近の生活について」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	[Can / Can't] (能力) を使って、自分の能力や才能について話す [Can / Can't] (可能性) を使って、職場や学校でできること、できないことについて話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する、インターネット上で自分の考えをコメントする	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	[this] と [these] を使って、休暇、旅行について話す [like to, want to, need to, have to] を使って、旅行計画を立てる	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する場所についての説明を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	[be going to] を使って、週末のアウトドア（野外）プランについて話す、[be going to]（疑問文）を使って、異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する オンラインでの招待状を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画する」・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す、be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、記憶にある色について話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	自分の記憶を表現し、映画、俳優について話す 過去の思い出として保管している物についてEメールを書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak:後期発表	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	日本語講座 (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	神田智子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職・デビュー活動に必要な日本語能力を養います。 * 前期は、日本の就職活動の概要理解、業界・企業・職種研究、企業担当者やOB・OG訪問、インターンシップ準備などを行い、日本で働くことをイメージできるようにします。また日本語能力試験の対策を行います。 * 後期は、日本語能力試験対策及び、就職・デビューに関わる面接対策等を行います。						
到達目標	1. 日本の企業や業界について理解する。 2. OB・OG訪問やインターンシップを通じて日本での就業を体験し、就職への具体的なイメージを掴む。 3. 日本語で履歴書が書けるようになる。 4. 面接に対応できる日本語力やビジネスマナーを身に付ける。 5. 日本語能力試験N1への合格、または同等の日本語力を身につける。						
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)と前期・後期末試験について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	日本の就職・デビュー活動の概要	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
2		講義・演習	履歴書①基本情報の書き方	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
3		講義・演習	業界研究 調査①	業界の自主研究及び資料作成
4		講義・演習	業界研究 調査②	業界の自主研究及び資料作成
5		講義・演習	企業研究 調査① 好きなアーティストの所属先	企業の自主研究及び資料作成
6		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	企業の自主研究及び資料作成
7		講義・演習	N1の試験についての心構え～ 例題①	〈課題〉資料作成
8		講義・演習	レベルチェックテスト(20～30分)テスト答え合わせ解説 N1 状況状態に関する語彙	建前、矛盾 チームワークなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
9		講義・演習	N1文法 導入文型 ～とあって、～ならではの、～にもまして、～からして 例文作成、会話練習 N1語彙 人を見て思う感情表現語彙	あさましい めざましい 根拠り業掘りなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
10		講義・演習	N1文法 導入文型 ～を余儀なくされる ～たりとも ～きらいがある ～あつての 例文作成会話練習 N1相手を気遣う語彙	あいにく 何気ない 独自の などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
11		講義・演習	N1文法 導入文型 ～をよそに ～なりに ～ないでもない ～すら～なかった 例文作成、会話練習 N1困惑する感情の語彙 実践問題	不審な 閉口する 反発する などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
12		講義・演習	N1文法 導入文型 文法～とは(驚き)～がはやいか ～そばから ～ずにはおかない 例文作成、会話練習 N1時間 時期の語彙 。夏休みに向けて	適宜、時折 古参の などの語彙を使う状況を挙げ例文作成 読解問題宿題。夏休み課題の取り組み
13		講義・演習	振り返り。N1 試験について	夏休み課題の復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	日本語講座 (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	神田智子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職に有利なJLPTN1取得を目標とし、特に出題されやすい接続詞を抜粋して導入、定着を目指す。併せてすべての基礎となる語彙力向上も目標とする。またN1レベルの文法や語彙の使い分けも身につける * 講習ごとに語彙テストを行い、また「使える」語彙力を前提に積極的に会話練習を行う * わかりやすく導入するために例文提示と例文作成を行う						
到達目標	1. JLPTN1合格を目指す 2. 正しい接続詞の使い方を学び、実際に使えるようにする 3. 実際に使える語彙を増やす 読める漢字を増やす						
評価方法と基準	1・前期 期末試験の得点 2・N1レベル文法の習得度 N1レベル語彙の実践問題 正解率 3・出席率 授業態度 以上を基準として総合的に評価する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	N1文法 導入文型 ～ともなると ～もさることながら ～に即した ～を おいて他にない 例文作成、会話練習 N1相手に対応する語彙	報いる 用心する 勘違い などの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解 問題宿題
2		講義・演習	N1文法 導入文型 ～までもなく ～いかな ～とは言えないまでも ～とい い～といい 例文作成、会話練習 N1将来未来の語彙	果てしなく 遠からず 粘り強く などの語彙を使う状況を考え 例文作成 読 解問題宿題
3		講義・演習	N1文法 導入文型～のをいいことに ～にもほどがある ～ならまだしも ～ 以前の 例文作成、会話練習 N1物に働きかける語彙	活性化 正常化 目に見えて などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読 解問題宿題
4		講義・演習	N1文法 導入文型 ～たら～たで ～ようものなら ～ならいざしらず ～に こしたことはない 例文作成、会話練習 N1経済の語彙	不況 不振 盛況などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
5		講義・演習	N1文法 導入文型～とはいえ ～といったところだ ～に～ない ～にかこつ けて 例文作成、会話練習 N1仕事の語彙	打ち込んでいる 立て込んでいる 乗り切る などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
6		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 語彙	文法例文作成 + 読解問題宿題
7		講義・演習	N1模擬試験問題 語彙 漢字	語彙例文作成 + 読解問題宿題
8		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 漢字	文法例文作成 + 読解問題宿題
9		講義・演習	N1試験対策	レポート提出
10		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	レポート提出
11		講義・演習	インターンシップ② プロフィールシート作成	〈課題〉資料作成
12		講義・演習	企業に入ってからのこと。OB OGIに聞きたいこと。	レポート提出
13		講義・演習	1年のまとめをプレゼンテーションする。	レポート提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語Optional(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	徐慧精
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) ハングルの表記を覚える。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、目標設定	プリントで練習する。
2		講義・演習	基本母音を知る。	書く練習と発音の練習をする。
3		講義・演習	子音 + 母音 の組み合わせを読む。	書く練習と単語を覚える。
4		講義・演習	激音について	書く練習と発音の練習をする。
5		講義・演習	濃音について	書く練習と発音の練習をする。
6		講義・演習	バッチム	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
7		講義・演習	合成母音	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
8		講義・演習	発音の変化	発音の練習をする。
9		講義・演習	簡単な会話	会話の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	単語や簡単な会話を覚える。
11		講義・演習	-입니다 / -입니까?	文章を作る練習をする。
12		講義・演習	韓国語で自己紹介をする。	自己紹介を書く。
13		講義・演習	発表会と話し合い	聴いて書く。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅰ & ワークブック、プリント。				

科目名	韓国語Optional(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	徐慧精
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習をする。	プリントでの復習。
2		講義・演習	-이 / 가 아닙니다.	否定文の練習をする。
3		講義・演習	職業について	会話の練習をする。
4		講義・演習	部屋の中を観察してみよう。	新しい単語を学ぶ。
5		講義・演習	簡単な質問ができる。	相手の話を聞いて返答をする。
6		講義・演習	家族関係が分かる。	文章を作る。授業内容の復習をする。
7		講義・演習	地名や場所名を覚える。	プリントで単語を覚える。
8		講義・演習	約束について会話する。	会話の練習をする。
9		講義・演習	位置に関する説明ができる。	作文の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	復習をする。
11		講義・演習	動画をみて見よう。	聴いて書く練習をする。
12		講義・演習	学んだ単語を確認しよう。	学んだ単語の復習をする。
13		講義・演習	一年間を振り返る。	会話の練習をする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プリプロダクションゼミ(7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	勝守理
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	実際にクライアントさんから発注を頂いた案件を少人数のグループを組み試行錯誤しながら政策を進めていき作品を完成させる。						
到達目標	発注を頂いたクライアントさんからの採用をコンペで勝ち取る作品を作る。その過程の中で今の音楽業界で本当に必要とされる制作能力、プロデュース能力、作曲能力、作詞能力、編曲能力、グループワークの実践力、コミュニケーション能力、などを身につける。						
評価方法と基準	3回のコンペの成績(優勝、準優勝、佳作、提出、未提出)+夏休み課題提出の合計点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容ガイダンス、第1クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2		講義・演習	第1クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3		講義・演習	第1クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
4		講義・演習	第1クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
5		講義・演習	第1クールコンペ、第2クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
6		講義・演習	第2クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
7		講義・演習	第2クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
8		講義・演習	第2クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
9		講義・演習	第2クールコンペ、第3クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
10		講義・演習	第3クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
11		講義・演習	第3クール実習2	コンペに向けて録音、ミックス、マスタリング作業
12		講義・演習	第3クールコンペ、夏休み課題発注、チーム分け	夏休み課題制作
13		講義・演習	夏休み課題発表	作品の管理とまとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に取り組む	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プリプロダクションゼミ(8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	勝守理
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	実際にクライアントさんから発注を頂いた案件を少人数のグループを組み試行錯誤しながら政策を進めていき作品を完成させる。						
到達目標	発注を頂いたクライアントさんからの採用をコンペで勝ち取る作品を作る。その過程の中で今の音楽業界で本当に必要とされる制作能力、プロデュース能力、作曲能力、作詞能力、編曲能力、グループワークの実践力、コミュニケーション能力、などを身につける。						
評価方法と基準	3回のコンペの成績(優勝、準優勝、佳作、提出、未提出)+春休み課題提出の合計点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	第4クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
2		講義・演習	第4クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
3		講義・演習	第4クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
4		講義・演習	第4クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
5		講義・演習	第4クールコンペ、第5クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
6		講義・演習	第5クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
7		講義・演習	第5クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
8		講義・演習	第5クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
9		講義・演習	第5クールコンペ、第6クール課題発注、チーム分け	実習1に向けて作曲作業
10		講義・演習	第6クール実習1	実習2に向けて作詞、編曲作業
11		講義・演習	第6クール実習2	実習3に向けて録音、編集作業
12		講義・演習	第6クール実習3	コンペに向けてミックス、マスタリング作業
13		講義・演習	第6クールコンペ、春休み課題発注、チーム分け	作品の管理とまとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に取り組む	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントセルフプロデュース(7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	上野新
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	サブスク・SNS・AIの進化により、現在のアーティストに必要とされているのは「自己発信力」=「セルフプロデュース能力」です。 イベント制作を通してセルフプロデュース能力を養うことがこの授業の目的です。 完全実践編として、学生の皆さん自らが自らをプロデュースするイベントを開催。 自らが出演しながらイベントの企画制作・宣伝・運営のすべてを学生の皆さんが行ない、イベントの成功と自らのヒットを目指します。 数多くの新たなエンタメツールが生まれる中、音楽業界は大きな転換期にあります。 過去に囚われないこれからのイベントセルフプロデュースの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	自らが出演するイベントの企画制作・宣伝・運営を通して、イベント＆自らをヒットさせる						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・それぞれのキャラクターを大事にした能動的アティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション	印象に残っているイベントを1つ思い出し内容を振り返る
2		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	やってみたいイベントのアイデアを3つ出す
3		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	ターゲット(誰向けか)を考える
4		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	イベントの目的(何を達成したいか)を整理する
5		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / SNS活用方法	集客が多いSNS投稿を調べる
6		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / YouTube活用方法	イベント動画やライブ映像を視聴する
7		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / サブスク活用方法	配信イベントやアーティスト事例を調べる
8		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / 宣伝プラン作成	告知方法(SNS・チラシ等)を考える
9		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / 宣伝プラン作成	投稿内容やスケジュールを考える
10		講義・演習	イベント開催に向けての準備	イベントに必要な要素(場所・人・機材)を書き出す
11		講義・演習	イベント開催に向けての準備	当日の流れ(タイムテーブル)を想像してみる
12		講義・演習	イベント開催(仮)	自分の役割や動きを整理する
13		講義・演習	振り返り	イベントの良かった点・改善点をまとめる
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントセルフプロデュース(8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	上野新
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	サブスク・SNS・AIの進化により、現在のアーティストに必要とされているのは「自己発信力」=「セルフプロデュース能力」です。 イベント制作を通してセルフプロデュース能力を養うことがこの授業の目的です。 完全実践編として、学生の皆さん自らが自らをプロデュースするイベントを開催。 自らが出演しながらイベントの企画制作・宣伝・運営のすべてを学生の皆さんが行ない、イベントの成功と自らのヒットを目指します。 数多くの新たなエンタメツールが生まれる中、音楽業界は大きな転換期にあります。 過去に囚われないこれからのイベントセルフプロデュースの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	自らが出演するイベントの企画制作・宣伝・運営を通して、イベント＆自らをヒットさせる						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 …出席率 …それぞれのキャラクターを大事にした能動的アティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	興味のあるイベントを3つ挙げて内容を調べる
2		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	自分がやりたいイベントの方向性を決める
3		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	ターゲット(誰向けか)を具体化する
4		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	イベントの目的(何を達成したいか)を整理
5		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	イベント内容(ライブ・企画など)を考える
6		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	似たイベントと差別化できる点を考える
7		講義・演習	イベント開催に向けての企画立案	必要な要素(場所・出演者・機材)を書き出す
8		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / 宣伝プラン作成	SNSで集客が成功している事例を調べる
9		講義・演習	イベント開催に向けての準備 / 宣伝プラン作成	告知投稿の内容アイデアを考える
10		講義・演習	イベント開催に向けての準備	当日の流れ(タイムテーブル)を想像する
11		講義・演習	イベント開催に向けての準備	自分の役割や動きを整理する
12		講義・演習	イベント開催(仮)	不安点や課題を事前書き出す
13		講義・演習	振り返り	イベント成功の条件を自分なりにまとめる
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ビジネスファイナンス(7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界における収益構造(ライブ・配信・著作権等)を理解し、活動を継続するための収支管理・基礎的な資金計画の考え方を身につける。						
到達目標	音楽活動における収益源とコスト構造を説明できる 簡単な収支計算(ライブ・制作費)ができる 著作権収入や配信収益の基本を理解できる 赤字・黒字の判断ができる						
評価方法と基準	実習課題(40%):収支計算・現実性 ケース分析(30%):音楽事例への理解 レポート(30%):自己活動への応用力						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス／音楽活動とお金の関係	好きなアーティストの収益源を考える
2		講義・演習	音楽業界の収益構造(ライブ・配信・物販)	収益パターン調査
3		講義・演習	ライブ収支の仕組み	チケット価格・動員調査
4		講義・演習	制作費の内訳(レコーディング・MV等)	制作事例を見る
5		講義・演習	配信収益の基本(サブスク)	Spotify等の仕組み確認
6		講義・演習	著作権の基礎(印税・JASRAC)	著作権用語整理
7		講義・演習	収支計算演習①(ライブ)	仮ライブ計画作成
8		講義・演習	収支計算演習②(リリース)	制作予算を考える
9		講義・演習	赤字・黒字の考え方	損益分岐点の理解
10		講義・演習	小規模活動の資金管理	自分の活動費整理
11		講義・演習	ケース分析(成功／失敗例)	事例リサーチ
12		講義・演習	ミニ企画収支作成	自分の企画案作成
13		講義・演習	前期まとめ／提出	全体振り返り
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ビジネスファイナンス(8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽活動・アーティスト活動における資金調達・投資判断・事業計画を学び、持続可能な活動設計ができる力を養う。						
到達目標	音楽活動の簡易事業計画を立てられる 投資(制作費・広告費)の判断ができる 資金調達(自己資金・支援)の選択ができる 自身の活動戦略を財務視点で説明できる						
評価方法と基準	企画課題(40%)：実現性・収益設計 グループワーク(30%)：企画力・貢献度 最終発表(30%)：説得力・論理性						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期復習／音楽活動と計画	前期課題見直し
2		講義・演習	アーティストの事業モデル(インディー/メジャー)	事例調査
3		講義・演習	資金調達(自己資金・クラファン)	クラファン事例を見る
4		講義・演習	投資判断(制作費かけるべきか)	MV等の費用調査
5		講義・演習	プロモーションと費用対効果	宣伝事例分析
6		講義・演習	グッズ・物販戦略	グッズ例収集
7		講義・演習	収益最大化の考え方	成功例分析
8		講義・演習	ケース①(インディー戦略)	データ整理
9		講義・演習	ケース②(ライブ主軸戦略)	比較分析
10		講義・演習	ケース③(配信重視戦略)	分析準備
11		講義・演習	自己活動の事業計画作成①	企画書作成
12		講義・演習	自己活動の事業計画作成②	発表準備
13		講義・演習	最終発表・講評	レポート提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ライブ企画・演出プロデュース (7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ライブイベントの企画立案から演出設計までの基礎を学び、コンセプトに基づいたライブ構成力を養う。						
到達目標	ライブの企画意図(コンセプト)を明確にできる セットリスト・演出の構成を考えられる ターゲット・集客の考え方を理解できる 実現可能な企画書を作成できる						
評価方法と基準	企画課題(50%) : 構成力・独自性・実現性 ワーク・発表(30%) : 発想力・参加度 レポート(20%) : 企画意図の言語化						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス／ライブ企画とは	印象に残ったライブを振り返る
2		講義・演習	ライブの種類と目的(ワンマン・フェス等)	ライブ事例収集
3		講義・演習	コンセプト設計(世界観づくり)	好きな演出調査
4		講義・演習	ターゲット設定と集客視点	想定観客を考える
5		講義・演習	セットリスト設計の基礎	楽曲リスト準備
6		講義・演習	演出要素①(照明・映像)	演出動画視聴
7		講義・演習	演出要素②(MC・流れ)	MC構成案作成
8		講義・演習	ステージ進行と構成	タイムテーブル確認
9		講義・演習	企画書の作り方	企画書フォーマット確認
10		講義・演習	小規模ライブ企画演習	企画案作成
11		講義・演習	企画ブラッシュアップ	修正
12		講義・演習	企画発表	発表準備
13		講義・演習	講評・前期まとめ	振り返り
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ライブ企画・演出プロデュース (8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ライブ制作の実務(運営・進行・演出)を実践的に学び、企画を現場で実現できるプロデュース力を養う。						
到達目標	ライブ制作の流れ(準備～本番)を理解できる スタッフ視点でイベントを運営できる トラブル対応や調整ができる 自身の企画を実践レベルに落とし込める						
評価方法と基準	制作プロジェクト(50%):実行力・完成度 チーム活動(30%):役割遂行・協働性 最終レポート(20%):分析・改善提案						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期振り返り／制作の全体像	前期企画見直し
2		講義・演習	ライブ制作の流れ(準備～本番)	制作手順確認
3		講義・演習	役割分担(制作・演出・PA等)	興味ある役割検討
4		講義・演習	スケジュール管理	タイムライン作成
5		講義・演習	会場・機材・技術の基礎	会場情報調査
6		講義・演習	リハーサル設計	リハ手順確認
7		講義・演習	トラブル対応(遅延・機材)	事例調査
8		講義・演習	制作プロジェクト①(企画確定)	企画修正
9		講義・演習	制作プロジェクト②(準備進行)	作業分担
10		講義・演習	制作プロジェクト③(通し確認)	リハ準備
11		講義・演習	本番想定実習(シミュレーション)	最終調整
12		講義・演習	成果発表表(模擬ライブ/発表)	発表準備
13		講義・演習	講評・振り返り	レポート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vocal Recording(7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	近藤章裕
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	スタジオ収録におけるヴォーカリストとしての基礎技術(発声・マイクワーク・リズム・ピッチ)を実践を通して習得するとともに、レコーディング環境への適応力を養う。						
到達目標	マイク特性を理解し、適切な距離・角度で歌唱できる ピッチ・リズムの自己修正ができる レコーディング時の表現コントロールができる ディレクションに対応した歌唱ができる						
評価方法と基準	実技課題(50%):録音作品の完成度(ピッチ・リズム・音質・表現) 授業内パフォーマンス(30%):成長度・取り組み姿勢・修正力 振り返りレポート(20%):課題分析・改善点の言語化						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス／レコーディングの基礎理解	好きな歌の録音音源を1つ分析してくる
2		講義・演習	発声と録音時の声の違い	自分の声をスマホ録音して確認
3		講義・演習	マイクの種類と特性／距離・角度	マイク使用動画を調査
4		講義・演習	マイクワーク実習①(基本)	指定曲の歌詞・メロディ暗記
5		講義・演習	ピッチトレーニング(録音活用)	チューナーアプリで練習
6		講義・演習	リズムトレーニング(クリック使用)	メトロノーム練習
7		講義・演習	短フレーズレコーディング実習	指定フレーズ反復練習
8		講義・演習	ダイナミクス表現と音量調整	強弱をつけた練習
9		講義・演習	ディレクション対応①(基本指示)	指示に沿った歌唱準備
10		講義・演習	テイク管理とセルフ修正	自分の録音を分析
11		講義・演習	1コーラス録音実習	楽曲練習
12		講義・演習	修正録音・改善演習	前回録音の振り返り
13		講義・演習	まとめ録音／講評	自己評価レポート
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vocal Recording(8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	近藤章裕
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	実際のレコーディング制作プロセスを踏まえ、複数テイクの管理・表現の深化・作品完成までを経験し、現場レベルの対応力を養う。						
到達目標	楽曲全体を通じた歌唱表現を構築できる 複数テイクから最適なパフォーマンスを再現できる 制作意図に応じた歌唱ができる 完成音源として成立する録音ができる						
評価方法と基準	最終作品(60%):完成度(音質・表現・一貫性) 制作プロセス(20%):改善・試行の過程 レポート(20%):自己分析・制作意図の言語化						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期復習／後期目標設定	前期録音を聞き直す
2		講義・演習	楽曲分析と表現設計	歌詞解釈をまとめる
3		講義・演習	フルサイズ構成理解	曲の構造分析
4		講義・演習	レコーディング実習①(ラフ録音)	通し練習
5		講義・演習	テイク重ね録音①	フレーズ練習
6		講義・演習	テイク重ね録音②(改善)	前回の課題修正
7		講義・演習	ハーモニー・ダブル録音	コーラス準備
8		講義・演習	表現深化(ニュアンス強化)	表現パターン研究
9		講義・演習	ディレクション対応②(応用)	指示対応練習
10		講義・演習	修正・補完録音	不足パート確認
11		講義・演習	仮完成音源チェック	客観的試聴
12		講義・演習	最終録音・仕上げ	調整
13		講義・演習	最終発表・講評	レポート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	サウンドプロデュース(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	今関 邦裕
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ミキシングの基礎知識、応用、ミキシングの観点からアレンジやレコーディングの重要性を学ぶ。作曲コースのコンペ授業での反省とアドバイス、実演を交えてミキシングによる伝え方を学ぶ。ジャンルという枠にとらわれず、音楽の聴き方を学び様々な音楽に触れる。						
到達目標	楽曲の在り方をミキシングの視点から感じる。 楽曲が伝えたい事を作り手の立場になって一・制作者になる。楽曲が持つ可能性を広げる。						
評価方法と基準	1)授業態度・姿勢100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	スタジオワークでの作法① ミックスルーティングの作り方①	授業内で扱うためのパラデータ作成
2		講義・演習	スタジオワークでの作法② ミックスルーティングの作り方②	授業内で扱うためのパラデータ作成
3		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践1	授業内で扱うためのパラデータ作成
4		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践2	授業内で扱うためのパラデータ作成
5		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践3	授業内で扱うためのパラデータ作成
6		講義・演習	マスタリング基礎	授業内で扱うためのパラデータ作成
7		講義・演習	マスタリング応用	授業内で扱うためのパラデータ作成
8		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践4	授業内で扱うためのパラデータ作成
9		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践5	授業内で扱うためのパラデータ作成
10		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践6	授業内で扱うためのパラデータ作成
11		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践7	授業内で扱うためのパラデータ作成
12		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践8	授業内で扱うためのパラデータ作成
13		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践9	授業内で扱うためのパラデータ作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	サウンドプロデュース(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	今関 邦裕
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ミキシングの基礎知識、応用、ミキシングの観点からアレンジやレコーディングの重要性を学ぶ。作曲コースのコンペ授業での反省とアドバイス、実演を交えてミキシングによる伝え方を学ぶ。ジャンルという枠にとらわれず、音楽の聴き方を学び様々な音楽に触れる。						
到達目標	楽曲の在り方をミキシングの視点から感じる。 楽曲が伝えたい事を作り手の立場になって一・制作者になる。楽曲が持つ可能性を広げる。						
評価方法と基準	1)授業態度・姿勢100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践10	授業内で扱うためのパラデータ作成
2		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践11	授業内で扱うためのパラデータ作成
3		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践12	授業内で扱うためのパラデータ作成
4		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践13	授業内で扱うためのパラデータ作成
5		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践14	授業内で扱うためのパラデータ作成
6		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践15	授業内で扱うためのパラデータ作成
7		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践16	授業内で扱うためのパラデータ作成
8		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践17	授業内で扱うためのパラデータ作成
9		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践18	授業内で扱うためのパラデータ作成
10		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践19	授業内で扱うためのパラデータ作成
11		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践20	授業内で扱うためのパラデータ作成
12		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践21	授業内で扱うためのパラデータ作成
13		講義・演習	ミキシングの応用技術習得・実践22	授業内で扱うためのパラデータ作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Broadway seminar advance(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	齊藤早春
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ミュージカルで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではミュージカルにおける基礎とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	ミュージカルで活躍していく為に必要な基礎とそのスキルを習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
2		講義・演習	イントネーションテクニックをを理解し実践できる。	イントネーションテクニックを理解し理解し動画にまとめる。
3		講義・演習	即興演奏の基礎を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。
4		講義・演習	ポエムを理解し実践できる。	ポエムを理解し動画にまとめる。
5		講義・演習	ポエムで発声のやり方を理解し実践できる。	ポエムで発声のやり方を理解し動画にまとめる。
6		講義・演習	即興演奏の基礎を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。
7		講義・演習	リード曲のミュージカル研究を理解し実践できる。	リード曲のミュージカル研究を理解し動画にまとめる。
8		講義・演習	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
9		講義・演習	ポエムを理解し実践できる。	ポエムを理解し動画にまとめる。
10		講義・演習	ポエムで発声のやり方を理解し実践できる。	ポエムで発声のやり方を理解し動画にまとめる。
11		講義・演習	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
12		講義・演習	より高度な即興演奏を理解し実践できる。 ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。 ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
13		講義・演習	発表会の流れで練習し実践する。	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ミュージカルに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Broadway seminar advance(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	齊藤早春
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ミュージカルで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではミュージカルにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	ミュージカルで活躍していく為に応用とそのスキルを習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
2		講義・演習	高度なイントネーションテクニックを理解し実践できる。	イントネーションテクニックを理解し理解し動画にまとめる。
3		講義・演習	高度な即興演奏を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。
4		講義・演習	より深いポエムを理解し実践できる。	ポエムを理解し動画にまとめる。
5		講義・演習	より深いポエムで発声のやり方を理解し実践できる。	ポエムで発声のやり方を理解し動画にまとめる。
6		講義・演習	高度な即興演奏を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。
7		講義・演習	高度なリード曲のミュージカル研究を理解し実践できる。	リード曲のミュージカル研究を理解し動画にまとめる。
8		講義・演習	応用のストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
9		講義・演習	応用のポエムを理解し実践できる。	ポエムを理解し動画にまとめる。
10		講義・演習	応用のポエムで発声のやり方を理解し実践できる。	ポエムで発声のやり方を理解し動画にまとめる。
11		講義・演習	応用のストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
12		講義・演習	より高度な即興演奏を理解し実践できる。 ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し実践できる。	即興演奏の基礎を理解し動画にまとめる。 ストレッチ、ダンスのリズム、発声を理解し動画にまとめる。
13		講義・演習	発表会の流れで練習し実践する。	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイティブワークショップ(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	金子勝洋
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業は、音楽理論の基礎を学びながら小作品を制作、発表する。それらを通して、ミュージシャンとしての基礎力向上と、自己表現力を育むことを目標としている。ヴォーカリストは耳を使って音楽をすることに長けており、音楽理論に触れる機会が少ない傾向にある。そのため、創作を通して、音楽理論やハーモニー楽器に触れて、広い視野で音楽を理解する力を養う。そして、他人の評価に挫けたり、全てを委ねてしまうことなく、自らの表現を恐れずに発信できるミュージシャンへと成長することを促す。						
到達目標	①小作品の制作を通して、音楽理論の基礎をより深く理解する。②自分の制作の経緯、意図、想いを言語化し発表する。③授業外で時間の調整を行い、多様なスケジュールの下でも、課題を期日までに創る。④定期的なプレゼンテーションを通して、自分の作品が他者の目に晒されることの緊張や不快感と向き合い、自分らしい対処法を見つける。⑤0から1を創る経験を通して、身の回りにある音楽に対して、尊ぶ気持ちを養う。						
評価方法と基準	①1学期を通して、最低3回のプレゼンテーションを行う。②学期末に1コーラス以上の作品を提出する。③授業が全ての生徒にとってセーフスペースになるよう貢献する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業の概要説明、イントロダクション	課題制作
2		講義・演習	インターバルの復習、Top Liningの実践	課題制作
3		講義・演習	テスト、Show vs Tellを理解する	課題制作
4		講義・演習	トライアドコードの復習、比喩のgroup work	課題制作
5		講義・演習	7thコードの復習、ここまでのまとめの小作曲	課題制作
6		講義・演習	メジャーコード、ワンコードの作曲	課題制作
7		講義・演習	マイナーコード、ワンコードの作曲2	課題制作
8		講義・演習	メジャーコード進行を作って小作曲	課題制作
9		講義・演習	マイナーコード進行を作って小作曲	課題制作
10		講義・演習	キーカラーを理解し小作曲	課題制作
11		講義・演習	期末課題に向けてQ&A	期末課題制作
12		講義・演習	作品提出、期末課題プレゼン1	期末課題制作
13		講義・演習	期末課題プレゼン2	期末課題制作
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
The Songwriter's Workshop Melody, Harmony, Writing Better Lyrics, コード理論大全				

科目名	クリエイティブワークショップ(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	金子勝洋
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	この授業は、音楽理論の基礎を学びながら小作品を制作、発表する。それらを通して、ミュージシャンとしての基礎力向上と、自己表現力を育むことを目標としている。ヴォーカリストは耳を使って音楽をすることに長けており、音楽理論に触れる機会が少ない傾向にある。そのため、創作を通して、音楽理論やハーモニー楽器に触れて、広い視野で音楽を理解する力を養う。そして、他人の評価に挫けたり、全てを委ねてしまうことなく、自らの表現を恐れずに発信できるミュージシャンへと成長することを促す。						
到達目標	①小作品の制作を通して、音楽理論の基礎をより深く理解する。②自分の制作の経緯、意図、想いを言語化し発表する。③授業外で時間の調整を行い、多様なスケジュールの下でも、課題を期日までに創る。④定期的なプレゼンテーションを通して、自分の作品が他者の目に晒されることの緊張や不快感と向き合い、自分らしい対処法を見つける。⑤0から1を創る経験を通して、身の回りにある音楽に対して、尊ぶ気持ちを養う。						
評価方法と基準	①1学期を通して3～4回以上プレゼンをする(回数はクラスによって異なる)②学期末にオリジナル曲をパフォーマンスする。③授業が全ての生徒にとってセーフスペースになるよう貢献する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	理論 テーマ作曲1 曲のトーン	課題制作
2		講義・演習	理論 Q&A	作品原案
3		講義・演習	テーマ作曲1プレゼンテーション	課題制作
4		講義・演習	理論 テーマ作曲2 韻を使った作詞	作品原案
5		講義・演習	理論 Q&A	課題制作
6		講義・演習	テーマ作曲2プレゼンテーション	課題制作
7		講義・演習	理論 テーマ作曲3 New Point of View	課題制作
8		講義・演習	理論 Q&A	作品原案
9		講義・演習	テーマ作曲3プレゼンテーション	課題制作
10		講義・演習	期末パフォーマンスについて	作品の完成
11		講義・演習	Q&A	作品の完成
12		講義・演習	プレゼンテーション group1 パフォーマンス	プレゼンテーション準備
13		講義・演習	プレゼンテーション group2 パフォーマンス	プレゼンテーション準備
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
The Songwriter' s Workshop Melody, Harmony, Writing Better Lyrics, コード理論大全				

科目名	ポートフォリオ作成(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	宮澤拓也
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	楽器を使ったシンガーソングライター的な作曲、DTMを使った作曲など学生の行いたい方法で 作曲をします。毎週学生の作業に合わせて講師からアドバイスを受けながら進めて行きます。月1曲を目標に3曲の作成を目指します。						
到達目標	講師との制作過程でどんなことを考えるといいのか経験的に学び、一人でもブラッシュアップできる視点をもつ						
評価方法と基準	受講態度50課題提出50						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス／作曲方法の確認と目標設定	目標と自分の制作スタイルを記入(作曲方法・使う機材など)
2		講義・演習	楽曲制作①: アイデア出しと方向性の決定	「1曲目」のテーマ、仮タイトル、参考楽曲などを提出
3		講義・演習	楽曲制作②: コード進行・メロディ構築	Aメロ～サビなど、構成案を作成(手書き・DAW画面でもOK)
4		講義・演習	楽曲制作③: 歌詞またはモチーフの制作	歌詞またはコンセプト解説をテキストで提出
5		講義・演習	楽曲制作④: 録音・アレンジ作業	仮音源提出(mp3など)＋講師からのフィードバック
6		講義・演習	楽曲制作⑤: 1曲目完成 & 発表会(中間)	第1曲完成版(音源＋タイトル＋制作コメント)を提出 & 発表
7		講義・演習	楽曲制作⑥: 2曲目の構想と制作スタート	テーマ・雰囲気・参考ジャンルをレポート形式で提出
8		講義・演習	楽曲制作⑦: コード進行・メロ・構成	2曲目の構成案と制作中音源の一部を提出(30秒～1分)
9		講義・演習	楽曲制作⑧: アレンジ・録音	アレンジ方針と使っている音源・機材についてまとめる
10		講義・演習	楽曲制作⑨: 2曲目完成 & 講評会	2曲目完成版(音源＋コメント)を発表・提出
11		講義・演習	楽曲制作⑩: 3曲目スタート(自由課題)	自由テーマによる構想メモ提出(楽器中心でもDTMでもOK)
12		講義・演習	楽曲制作⑪: 最終調整と作品まとめ	全3曲のうち未完成部分を仕上げる／制作メモをまとめる
13		講義・演習	最終発表会 & ポートフォリオ提出	3曲の音源・タイトル・解説をまとめたポートフォリオ提出(USB、Web共有など)
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ポートフォリオ作成(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	宮澤拓也
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	楽器を使ったシンガーソングライター的な作曲、DTMを使った作曲など学生の行いたい方法で 作曲をします。毎週学生の作業に合わせて講師からアドバイスを受けながら進めて行きます。月1曲を目標に3曲の作成を目指します。						
到達目標	講師との制作過程でどんなことを考えるといいのか経験的に学び、一人でもブラッシュアップできる視点をもつ						
評価方法と基準	受講態度50課題提出50						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り／後期の目標設定	前期の楽曲をふまえて「自分の音楽的強み」「改善点」「後期の目標(例:もっとバンド感を出す)」を記入
2		講義・演習	楽曲制作①: 4曲目構想スタート	新曲のテーマ・方向性・参考曲などをまとめて提出(A4半分程度)
3		講義・演習	楽曲制作②: 構成とメロディ設計	曲構成(Aメロ・Bメロ・サビなど)とモチーフメロを録音 or 楽譜で提出
4		講義・演習	楽曲制作③: 録音・打ち込み作業	中間音源を提出(1分程度)し講師からフィードバックを受ける
5		講義・演習	楽曲制作④: 4曲目完成&ミニ発表	4曲目完成音源＋タイトル＋一言解説を提出・プレゼン
6		講義・演習	楽曲制作⑤: 5曲目スタート(自由課題)	自由テーマの構想メモ(使いたい楽器、アレンジ案など)を提出
7		講義・演習	楽曲制作⑥: 試作と音作り研究	5曲目の「音色」「雰囲気」「音数」などを意識して1分デモを提出
8		講義・演習	楽曲制作⑦: 仕上げ・ブラッシュアップ	完成に向けて修正ポイントをリストアップ&講師コメント記入
9		講義・演習	発信準備①: 作品紹介文を書く	自作曲を紹介する文章(各曲50～100字)を提出
10		講義・演習	発信準備②: アートワーク・ビジュアル案	各曲に合うジャケット・サムネイル案を考える(ラフでOK)
11		講義・演習	ポートフォリオ組み立て①: 選曲・並び順	最終提出する作品リスト(4～5曲)を選定し、並び順と理由を記入
12		講義・演習	ポートフォリオ組み立て②: 資料整理	タイトル／紹介文／歌詞／画像／音源をまとめ、プレゼン資料(PDFやスライド形式)を作成
13		講義・演習	最終発表会(プレゼン＋作品提出)	ポートフォリオを発表・提出。発表形式は自由(口頭／録音／スライドなど)
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アーティストセルフプロデュース(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	上野新
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	サブスク・SNS・AIの進化により、現在のアーティストに必要とされているのは「自己発信力」「セルフプロデュース能力」です。コンテンツ(楽曲など)のリリースを通して、セルフプロデュース能力を養うことがこの授業の目的です。学生の皆さんと一緒にアイデアを出し合いながら、①実践編として、学生の皆さんの「コンテンツ創り」のさらなる活性化をサポートし、その創ったコンテンツをリリース。そしてそのコンテンツのヒットを目指します。また、②座学編として、アーティスト活動を行なうために必要な知識を学びます(SNS/YouTube/サブスクの活用方法、著作権印税/原盤印税/アーティスト印税などの権利周り、ライブビジネス、グッズビジネス、ファンクラブビジネス、商標登録など)。数多くの新たなエンタメツールが生まれる中、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからのセルフプロデュースの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	コンテンツ発表を通して自らをヒットさせる アーティスト活動を行なうために必要な知識の習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・それぞれのキャラクターを大事にした能動的アティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション	好きなアーティストの活動(SNS・発信)を調べる
2		講義・演習	コンテンツ創りサポート/自分のアーティスト資料作成	自分の強み・好きな音楽を整理する
3		講義・演習	コンテンツ創りサポート/自分のアーティスト資料作成	参考にしたいアーティストを1組分析
4		講義・演習	コンテンツ創りサポート/活動プラン作成	将来やりたい活動を簡単に書き出す
5		講義・演習	コンテンツ創りサポート/活動プラン作成	ターゲット(誰に届けたいか)を考える
6		講義・演習	コンテンツ創りサポート/宣伝プラン作成	SNSで気になる投稿を保存・分析
7		講義・演習	コンテンツ創りサポート/宣伝プラン作成	発信内容(動画・画像)アイデアを考える
8		講義・演習	コンテンツ創りサポート/SNSの活用方法①	自分がよく使うSNSの特徴を整理
9		講義・演習	コンテンツ創りサポート/YouTube・サブスクの活用方法①	好きな動画・配信コンテンツの工夫を見る
10		講義・演習	コンテンツ創りサポート/CDやサブスクでいくら儲かるの? -1(権利ビジネス)	音楽の収益方法を調べる
11		講義・演習	コンテンツ創りサポート/CDやサブスクでいくら儲かるの? -2(権利ビジネス)	著作権・配信について調べる
12		講義・演習	音源発表	発表用コンテンツを整理する
13		講義・演習	振り返り	自分の活動を振り返りメモする
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アーティストセルフプロデュース(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	上野新
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	サブスク・SNS・AIの進化により、現在のアーティストに必要とされているのは「自己発信力」「セルフプロデュース能力」です。コンテンツ(楽曲など)のリリースを通して、セルフプロデュース能力を養うことがこの授業の目的です。学生の皆さんと一緒にアイデアを出し合いながら、①実践編として、学生の皆さんの「コンテンツ創り」のさらなる活性化をサポートし、その創ったコンテンツをリリース。そしてそのコンテンツのヒットを目指します。また、②座学編として、アーティスト活動を行なうために必要な知識を学びます(SNS/YouTube/サブスクの活用方法、著作権印税/原盤印税/アーティスト印税などの権利周り、ライブビジネス、グッズビジネス、ファンクラブビジネス、商標登録など)。数多くの新たなエンタメツールが生まれる中、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからのセルフプロデュースの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	コンテンツ発表を通して自らをヒットさせる アーティスト活動を行なうために必要な知識の習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・それぞれのキャラクターを大事にした能動的アティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	コンテンツ創りサポート/活動プラン作成	自分の活動目標(半年～1年)を書き出す
2		講義・演習	コンテンツ創りサポート/活動プラン作成	理想の活動スケジュールを簡単に考える
3		講義・演習	コンテンツ創りサポート/宣伝プラン作成	SNSで伸びている投稿を3つ調べる
4		講義・演習	コンテンツ創りサポート/宣伝プラン作成	自分が発信したい内容をリスト化
5		講義・演習	コンテンツ創りサポート/ファンクラブビジネス	好きなアーティストのファンクラブ内容を調べる
6		講義・演習	コンテンツ創りサポート/グッズビジネス	アーティストグッズの種類や価格を調べる
7		講義・演習	コンテンツ創りサポート/登録商標	アーティスト名・ロゴの重要性を考える
8		講義・演習	コンテンツ創りサポート/出演料の計算方法	ライブ出演の仕組み(チケット・ギャラ)を調べる
9		講義・演習	コンテンツ創りサポート/ライブ制作	好きなライブ映像を見て構成を分析する
10		講義・演習	コンテンツ創りサポート/海外進出の仕方	海外で活動しているアーティストを調べる
11		講義・演習	音源発表	自分の作品(音源・動画)を整理する
12		講義・演習	振り返り	授業で学んだことをメモにまとめる
13		講義・演習	今後のエンタメビジネス	音楽業界の今後について気になるニュースを調べる
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Private Lesson(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	日高優貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ミュージシャン、アーティストにとって必要不可欠な音階を学び、ソロアプローチ法やそのテクニックを学ぶ。						
到達目標	メジャースケールの5パターン、メジャーペンタトニックスケールの5パターン、ダイアトニカルペジオの使い方、ソロ奏法ができるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点:100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	メジャー・スケールのハーモニーを理解する。	メジャー・スケールのハーモニーの復習を行い実演する。
2		講義・演習	1、3、5度のコード・トーンからスケールを始める方法を理解し実演できる。	1、3、5度のコード・トーンから始める方法の復習を行い実演する。
3		講義・演習	メジャー・スケールパターン・トライアド・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン4のトライアド・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
4		講義・演習	1、3、5度のコード・トーンから始める方法を理解し実演できる。	1、3、5度のコード・トーンから始める方法の復習を行い実演する。
5		講義・演習	メジャー・スケールパターン2のトライアド・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン2のトライアド・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
6		講義・演習	1、3、5度のコード・トーンから始める方法を理解し実演できる。	1、3、5度のコード・トーンから始める方法の復習を行い実演する。
7		講義・演習	メジャー・スケールパターン1のトライアド・アルペジオの使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン1のトライアド・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
8		講義・演習	1、3、5度のコード・トーンから始める方法を理解し実演できる。	1、3、5度のコード・トーンから始める方法の復習を行い実演する。
9		講義・演習	メジャー・スケールパターン3のトライアド・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン3のトライアド・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
10		講義・演習	メジャー・スケールパターン5のトライアド・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン5のトライアド・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
11		講義・演習	メジャー、マイナー、ディミニッシュ、sus4、オーギュメントアルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー、マイナー、ディミニッシュ、sus4、オーギュメントアルペジオ使い方の復習を行い実演する。
12		講義・演習	メジャー・スケールパターン4の7th・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン4の7th・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
13		講義・演習	メジャー・スケールパターン2の7th・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン2の7th・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各スケール練習、コードワーク復習を1日1時間を基本に繰り返す。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Private Lesson(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	日高優貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	アンサンブルコミュニケーション力と、インスト楽曲での各楽器の演奏バリエーションを学ぶ。						
到達目標	ミュージシャンにとって必要な読譜力を学び、様々なスタイルの楽曲を様々なキーで演奏する。						
評価方法と基準	実技による採点:100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	譜面の読み方、パート作りを行い書く写すことができる。	譜面の読み方、パート作りを行い書く写し譜面作成する。	
2		講義・演習	ブルースのコード進行の理解し演奏できる。	ブルースのコード進行の復習をし演奏を録音する。	
3		講義・演習	パートのバリエーションとソロの応用を行い実演する。	パートのバリエーションとソロの応用を復習をし演奏を録音する。	
4		講義・演習	ブルースのシャッフルスタイルの理解し12小節、8ビートブルースの演奏する。	ブルースのシャッフルスタイルの復習をし演奏を録音する。	
5		講義・演習	ブルースのシャッフルスタイルの理解しブルースのシャッフルスタイル曲の演奏する。	ブルースのシャッフルスタイルの復習をし演奏を録音する。	
6		講義・演習	8小節ブルース＋ブリッジの理解しブルースのシャッフルスタイル曲の演奏する。	8小節ブルース＋ブリッジ復習をし演奏を録音する。	
7		講義・演習	8小節ブルース＋ブリッジの理解し、ブルースのシャッフルスタイル曲の演奏する。	8小節ブルース＋ブリッジ復習をし演奏を録音する。	
8		講義・演習	シンコペーションと分数コードの理解しブルース＋ブリッジ構成曲の演奏する。	シンコペーションと分数コードの復習をし演奏を録音する。	
9		講義・演習	シンコペーションと分数コードの理解しシンコペーションと分数コード曲の演奏する。	シンコペーションと分数コードの理解をし復習をし演奏を録音する。	
10		講義・演習	シンコペーションと分数コードを理解しシンコペーションと分数コード曲の演奏。	シンコペーションと分数コードを理解し復習をし演奏を録音する。	
11		講義・演習	シンコペーション、分数コードの理解しロックスタイルのシンコペーションと分数コード曲の演奏する。	シンコペーション、分数コードの理解し復習をし演奏を録音する。	
12		講義・演習	レゲエスタイルの理解とロックスタイルのシンコペーションと分数コード曲の演奏する。	レゲエスタイルの理解復習をし演奏を録音する。	
13		講義・演習	レゲエスタイルの理解しレゲエスタイル曲の演奏する。	レゲエスタイルの理解復習をし演奏を録音する。	
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			各スケール練習、コードワーク復習を1日1時間を基本に繰り返す。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	ネットアーティスト ゼミ A (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	蒔万澤倫子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	VTuberやVsingerとして配信活動を行うにあたっての実践的な内容と戦い方、心構えなどを学んでもらいます。伝達方法の違いはあれど、発信者として必要不可欠となってくる、機材、ソフトウェアの知識とリスナーの付け方と接し方、そして、メンタルの強さを養うのが目的です。レッドオーシャンと化した配信界を舞台に、その中でも外でも折れない心を持ち1人歩いていく力を身につけていきます。						
到達目標	継続する力、諦めない心を身につける。配信の基礎的知識を身につける。自身の向き不向きを知り、それに合わせた戦い方が出来るようになる。						
評価方法と基準	小テスト 50% レポート50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介 オリエンテーション	匿名アーティストとしての「名前」「キャラ設定」「自己紹介文」を作成し提出(200～300字)
2		講義・演習	配信の基本の基本	好きなVTuberまたは配信者1人を選び、活動スタイルや工夫をまとめたレポート(A4 1枚)提出
3		講義・演習	VTuberの基礎知識	自分のVTuber像(性格・設定・声質など)を整理した「キャラクター設計シート」を作成
4		講義・演習	VTubeスタジオ実習①	VTube Studioでの立ち上げ／基本操作画面のスクショと操作感の感想を提出
5		講義・演習	VTubeスタジオ実習②	表情／動きのバリエーションを研究し、「配信で使いたい動きTOP3」を動画 or シートでまとめて提出
6		講義・演習	LIVE2Dの基礎知識	LIVE2Dの構造や使われ方について調べ、「自分の理想キャラの表情・動き案」提出(ラフ画OK)
7		講義・演習	配信準備① プラットフォームと立ち絵	配信する予定プラットフォームの比較表を作成(2～3種類)＋使いたい理由を書く
8		講義・演習	配信準備② デビューまでにやると良いこと	「VTuberデビュー準備チェックリスト(15項目)」を作成し提出
9		講義・演習	配信準備③ 機材・PCについて	自分が使う(または理想の)配信機材・PC環境のスペック表を作成
10		講義・演習	配信技術① 話題 雑談 話し方	雑談配信の台本(3分想定)を作成し、音声収録して提出(mp3形式など)
11		講義・演習	配信技術②ゲーム配信 歌枠 企画枠	「やってみたい配信枠」の企画シート(内容・時間・準備・サムネ案)を作成
12		講義・演習	配信技術③リスナーさんとの関わり方	コメント返しの練習として「リスナーの想定コメント」に対して返答文を10パターン作成
13		講義・演習	配信技術④収益化 職業ライバー	「収益化までのステップ表」を作成し、月1～3年の目標を数字で記入したプラン表を提出
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ネットアーティスト ゼミ A (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	蒔万澤倫子
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	VTuberやVsingerとして配信活動を行うにあたっての実践的な内容と戦い方、心構えなどを学んでもらいます。伝達方法の違いはあれど、発信者として必要不可欠となってくる、機材、ソフトウェアの知識とリスナーの付け方と接し方、そして、メンタルの強さを養うのが目的です。レッドオーシャンと化した配信界を舞台に、その中でも外でも折れない心を持ち1人歩いていく力を身につけていきます。						
到達目標	継続する力、諦めない心を身につける。配信の基礎的知識を身につける。自身の向き不向きを知り、それに合わせた戦い方が出来るようになる。						
評価方法と基準	小テスト 50% レポート50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り・後期の内容オリエンテーション	前期で制作した要素を振り返り、「今後の目標3つ」と「強化したいこと1つ」を記入して提出
2		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio使い方 仕組み	自宅または学校PCでOBSを立ち上げ、スクリーンショット付きの「操作レポート」を作成(基本設定・映像・音声)
3		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio 応用 プラグイン	実際に入れてみたいプラグイン1つを選び、使い方・用途をA4 1枚にまとめる(日本語可)
4		講義・演習	【ソフトウェア演習】OBS Studio 配信画面の作り方	自分の配信用シーン構成を考え、シーン図(またはスライド)を提出(シーン名・用途・素材構成など)
5		講義・演習	配信者兼クリエイターのすすめ①	「歌・絵・動画・文章など、自分ができるorやってみたい表現」について1つ選び、具体例と実施方法をまとめる
6		講義・演習	配信者兼クリエイターのすすめ②	週1〜2で続けられそうな配信や投稿プランを立て、「1ヶ月スケジュール表」を提出
7		講義・演習	外部依頼・クリエイターとの関わり方	「他者にイラストや楽曲を依頼するときの連絡文」をテンプレート形式で作成(依頼目的・報酬・締切など)
8		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism① 基礎	Cubismをインストール(または動画視聴)し、機能の感想や気づきを記入して提出
9		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism② 角度と動き	モデリング用の「正面→左右の顔向きラフ案」を紙またはデジタルで作成・提出(簡易でOK)
10		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism③顔のパーツ	顔パーツ(目・口・眉)の動き案(分割・動き方・イメージ)をスライドまたは図解で提出
11		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism④ 体のパーツ	上半身または腕の動き案と、どの動きにどの用途があるかをセットで資料にして提出
12		講義・演習	【ソフトウェア演習】LIVE2DCubism⑤ 物理演算と機能	「髪」「アクセサリ」など、物理演算で動かしたい部分の演出案をスライドで作成・提出
13		講義・演習	総まとめ これまでの学習を踏まえて	自分の「VTuber活動企画書」(A4スライド5〜10枚程度)を作成して最終発表(匿名・仮想キャラでもOK)
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリアデザイン (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト(枠組みの大転換)に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日の話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。						
到達目標	講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日の話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、講義の目的や達成レベルを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
2		講義・演習	マーケティング基礎 その1 "4つのP"を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
3		講義・演習	マーケティング基礎 その2 "STP"を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
4		講義・演習	マーケティング基礎 その3 "3C分析"を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
5		講義・演習	戦略的情報発信 広報(PR)を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
6		講義・演習	イノベーションを起こす"デザイン思考"を身に着ける	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
7		講義・演習	飲食ビジネスの仕組みを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
8		講義・演習	成功企業の事例解説(ファッションブランド)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
9		講義・演習	成功企業の事例解説(エンターテインメント企業)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
10		講義・演習	成功企業の事例解説(興行ビジネス)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
11		講義・演習	情報爆発時代のメディアリテラシーを理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
12		講義・演習	試験・レポート課題	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
13		講義・演習	これまでの授業のまとめ、質問と回答	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。				

科目名	キャリアデザイン (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	関口陽介
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト(枠組みの大転換)に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日の話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。						
到達目標	講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日の話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	デジタルマーケティングを学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
2		講義・演習	パラダイムシフトにおける”アート思考”を理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
3		講義・演習	アート系エンターテインメント施設訪問	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
4		講義・演習	事例解説／アート系エンターテインメント施設の運営	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
5		講義・演習	商品開発のビジネスモデルを学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
6		講義・演習	広告実務と広告代理店の機能を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
7		講義・演習	エンタメビジネスに必須のスポンサー制度を理解する	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
8		講義・演習	SDGsのビジネス展開を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
9		講義・演習	Society 5.0 未来社会の展望を学ぶ	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
10		講義・演習	企業研究の手法を事例で学ぶ(食品会社)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
11		講義・演習	企業研究の手法を事例で学ぶ(ファッションブランド)	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
12		講義・演習	試験・レポート課題	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
13		講義・演習	これまでの授業のまとめ、質問と回答	配布資料の復習、疑問点に関する質問準備
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。				

科目名	韓国語Opcional(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	徐慧精
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) ハングルの表記を覚える。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、目標設定	プリントで練習する。
2		講義・演習	基本母音を知る。	書く練習と発音の練習をする。
3		講義・演習	子音 + 母音 の組み合わせを読む。	書く練習と単語を覚える。
4		講義・演習	激音について	書く練習と発音の練習をする。
5		講義・演習	濃音について	書く練習と発音の練習をする。
6		講義・演習	バッチム	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
7		講義・演習	合成母音	書く練習と発音の練習、単語を覚える。
8		講義・演習	発音の変化	発音の練習をする。
9		講義・演習	簡単な会話	会話の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	単語や簡単な会話を覚える。
11		講義・演習	-입니다 / -입니까?	文章を作る練習をする。
12		講義・演習	韓国語で自己紹介をする。	自己紹介を書く。
13		講義・演習	発表会と話し合い	聴いて書く。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅰ & ワークブック、プリント。				

科目名	韓国語Opcional(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	徐慧精
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。						
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。						
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習をする。	プリントでの復習。
2		講義・演習	-이 / 가 아닙니다.	否定文の練習をする。
3		講義・演習	職業について	会話の練習をする。
4		講義・演習	部屋の中を観察してみよう。	新しい単語を学ぶ。
5		講義・演習	簡単な質問ができる。	相手の話を聞いて返答をする。
6		講義・演習	家族関係が分かる。	文章を作る。授業内容の復習をする。
7		講義・演習	地名や場所名を覚える。	プリントで単語を覚える。
8		講義・演習	約束について会話する。	会話の練習をする。
9		講義・演習	位置に関する説明ができる。	作文の練習をする。
10		講義・演習	定期試験	復習をする。
11		講義・演習	動画をみて見よう。	聴いて書く練習をする。
12		講義・演習	学んだ単語を確認しよう。	学んだ単語の復習をする。
13		講義・演習	一年間を振り返る。	会話の練習をする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			予習・復習・日記・作文を書く	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級Ⅰ & ワークブック、プリント。				

科目名	日本語講座(7)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	神田智子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職・デビュー活動に必要な日本語能力を養います。 * 前期は、日本の就職活動の概要理解、業界・企業・職種研究、企業担当者やOB・OG訪問、インターンシップ準備などを行い、日本で働くことをイメージできるようにします。また日本語能力試験の対策を行います。 * 後期は、日本語能力試験対策及び、就職・デビューに関わる面接対策等を行います。						
到達目標	1. 日本の企業や業界について理解する。 2. OB・OG訪問やインターンシップを通じて日本での就業を体験し、就職への具体的なイメージを掴む。 3. 日本語で履歴書が書けるようになる。 4. 面接に対応できる日本語力やビジネスマナーを身に付ける。 5. 日本語能力試験N1への合格、または同等の日本語力を身につける。						
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)と前期・後期末試験について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	日本の就職・デビュー活動の概要	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
2		講義・演習	履歴書①基本情報の書き方	〈準備〉学歴、資格取得年月の整理
3		講義・演習	業界研究 調査①	業界の自主研究及び資料作成
4		講義・演習	業界研究 調査②	業界の自主研究及び資料作成
5		講義・演習	企業研究 調査① 好きなアーティストの所属先	企業の自主研究及び資料作成
6		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	企業の自主研究及び資料作成
7		講義・演習	N1の試験についての心構え～ 例題①	〈課題〉資料作成
8		講義・演習	レベルチェックテスト(20～30分)テスト答え合わせ解説 N1 状況状態に関する語彙	建前、矛盾 チームワークなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
9		講義・演習	N1文法 導入文型 ～とあって、～ならではの、～にもまして、～からして 例文作成、会話練習 N1語彙 人を見て思う感情表現語彙	あさましい めざましい 根拠り業掘りなどの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解問題宿題
10		講義・演習	N1文法 導入文型 ～を余儀なくされる ～たりとも ～きらいがある ～あつての 例文作成会話練習 N1相手を気遣う語彙	あいにく 何気ない 独自の などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
11		講義・演習	N1文法 導入文型 ～をよそに ～なりに ～ないでもない ～すら～なかった 例文作成、会話練習 N1困惑する感情の語彙 実践問題	不審な 閉口する 反発する などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読解問題宿題
12		講義・演習	N1文法 導入文型 文法～とは(驚き)～がはやいか ～そばから ～ずにはおかない 例文作成、会話練習 N1時間 時期の語彙 。夏休みに向けて	適宜、時折 古参の などの語彙を使う状況を挙げ例文作成 読解問題宿題。夏休み課題の取り組み
13		講義・演習	振り返り。N1 試験について	夏休み課題の復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	日本語講座 (8)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	神田智子
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本国内での就職に有利なJLPTN1取得を目標とし、特に出題されやすい接続詞を抜粋して導入、定着を目指す。併せてすべての基礎となる語彙力向上も目標とする。またN1レベルの文法や語彙の使い分けも身につける * 講習ごとに語彙テストを行い、また「使える」語彙力を前提に積極的に会話練習を行う * わかりやすく導入するために例文提示と例文作成を行う						
到達目標	1. JLPTN1合格を目指す 2. 正しい接続詞の使い方を学び、実際に使えるようにする 3. 実際に使える語彙を増やす 読める漢字を増やす						
評価方法と基準	1・前期 期末試験の得点 2・N1レベル文法の習得度 N1レベル語彙の実践問題 正解率 3・出席率 授業態度 以上を基準として総合的に評価する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	N1文法 導入文型 ～ともなると ～もさることながら ～に即した ～を～ て他にない 例文作成、会話練習 N1相手に対応する語彙	報いる 用心する 勘違い などの語彙を使う状況を挙げ、例文作成 読解 問題宿題
2		講義・演習	N1文法 導入文型 ～までもなく ～いかな ～とは言えないまでも ～とい い～といい 例文作成、会話練習 N1将来未来の語彙	果てしなく 遠からず 粘り強く などの語彙を使う状況を考え 例文作成 読 解問題宿題
3		講義・演習	N1文法 導入文型～のをいいことに ～にもほどがある ～ならまだしも ～ 以前の 例文作成、会話練習 N1物に働きかける語彙	活性化 正常化 目に見えて などの語彙を使う状況を挙げ 例文作成 読 解問題宿題
4		講義・演習	N1文法 導入文型 ～たら～たで ～ようものなら ～ならいざしらず ～に こしたことはない 例文作成、会話練習 N1経済の語彙	不況 不振 盛況などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
5		講義・演習	N1文法 導入文型～とはいえ ～といったところだ ～に～ない ～にかこつ けて 例文作成、会話練習 N1仕事の語彙	打ち込んでいる 立て込んでいる 乗り切る などの語彙を使う状況を挙げ 例文を作成 読解問題宿題
6		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 語彙	文法例文作成 + 読解問題宿題
7		講義・演習	N1模擬試験問題 語彙 漢字	語彙例文作成 + 読解問題宿題
8		講義・演習	N1模擬試験問題 文法 漢字	文法例文作成 + 読解問題宿題
9		講義・演習	N1試験対策	レポート提出
10		講義・演習	企業研究 調査② 好みの企業BEST 5	レポート提出
11		講義・演習	インターンシップ② プロフィールシート作成	〈課題〉資料作成
12		講義・演習	企業に入ってからのこと。OB OGIに聞きたいこと。	レポート提出
13		講義・演習	1年のまとめをプレゼンテーションする。	レポート提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Global Communication (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	池末信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	be 動詞(am, are)を使って自己紹介(国籍や出身)する、または出身地を尋ねる会話を練習、疑問代名詞[What]を使って、自分の個人情報や相手に伝え、また相手の情報を聞く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	ホテルにチェックインする際の会話を練習する、個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	新しい人に出会う」 前期発表と連動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	be 動詞を使って、家族構成について話す、be 動詞の否定文を使って、友達や家族について説明する		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	年齢や誕生日について聞く、話す、写真に写っている友達のことについて話す、友達についての紹介文を書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	家族についての情報を比較する」 前期発表と連動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	名詞の所有を表す[is]と[isn't]を使って、自分の家について話す、[it is]を使って、家具について話す		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する、分からない単語について質問する、ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	「ハロウィーン」について」 前期発表と連動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	一般動詞「現在形」を使って、お気に入りの物について話す、一般動詞の「現在形」の疑問文を使って、どのようにテクノロジーを使用しているのかを話す		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	コミュニケーション手段について話す、相手の話を聞いていることを示す、商品のレビューを読む、書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	「ハロウィーン」について比較する」 前期発表と連動する内容		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	「現在形」肯定文、否定文を使って、平日、週末の行動について話す、 「現在形」疑問文を使って、時間・自分のルーティン(日課)について話す		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する、自分の行動についてのレポートを読む、書く		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak: 前期発表		オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Global Communication (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	池末信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「現在進行形」肯定文を使って、家事や自宅での行動について話す 「現在進行形」疑問文を使って、旅行について質問する、または答える	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
2		講義・演習	電話で情報を共有する会話を練習する、今起こっていることについてのブログを読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
3		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「最近の生活について」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
4		講義・演習	[Can / Can' t](能力)を使って、自分の能力や才能について話す [Can / Can' t](可能性)を使って、職場や学校でできること、できないことについて話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
5		講義・演習	自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する、インターネット上で自分の考えをコメントする	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
6		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
7		講義・演習	[this] と [these]を使って、休暇、旅行について話す [like to, want to, need to, have to]を使って、旅行計画を立てる	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
8		講義・演習	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話する場所についての説明を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
9		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「休暇の計画をたてる」 ・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
10		講義・演習	[be going to]を使って、週末のアウトドア(野外)プランについて話す、[be going to](疑問文)を使って、異なる様々な旅で何を着るかについて話し合う	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
11		講義・演習	夕方出かける計画を提案するなど、相手を誘う時の表現を練習する オンラインでの招待状を読む、書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
12		講義・演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画する」・後期発表と運動する内容	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
13		講義・演習	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す、be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、記憶にある色について話す	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
14		講義・演習	自分の記憶を表現し、映画、俳優について話す 過去の思い出として保管している物についてEメールを書く	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
15		講義・演習	Time to Speak: 後期発表	オンデマンド動画を視聴し、課題に取り組む
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				